

R と RStudio のインストール手順

はじめに

R とは統計解析に有用なプログラミング言語です。RStudio は R を利用するためのアプリケーションであり、R を実行するための便利な機能が集約されています。R だけでも統計解析および可視化はできますが、RStudio を利用することでより簡便に作業できます。

インストール方法は PC の OS によって異なりますので下記リンクをクリックしてください。

- Windows ユーザーは [こちら](#)へ
- Mac ユーザーは [こちら](#)へ

Windows 版のインストール手順

0. はじめる前に

1. R のインストール

2. RStudio のインストール

3. Rtools のインストール

4. 動作確認

5. 環境設定（Encoding 設定・ペインレイアウト）

6. R プロジェクトの作成

7. パッケージのインストール

8. Rscript の保存

9. R プロジェクトと Rscript の起動

0. はじめる前に（重要！！）

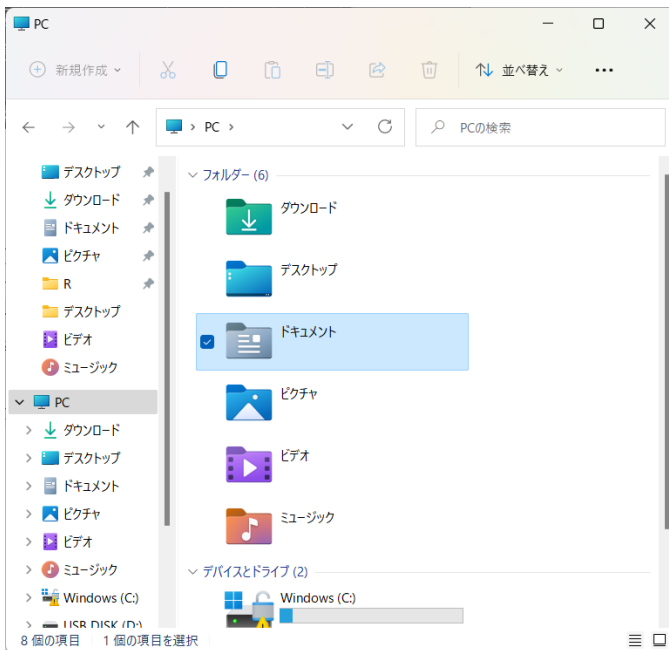
まず、Rのインストールを開始する前に“ユーザー名”と“OneDrive 使用有無”を確認してください。

ユーザー名がアルファベットでない方（日本語を使っている方）はRが動作しない可能性があります。

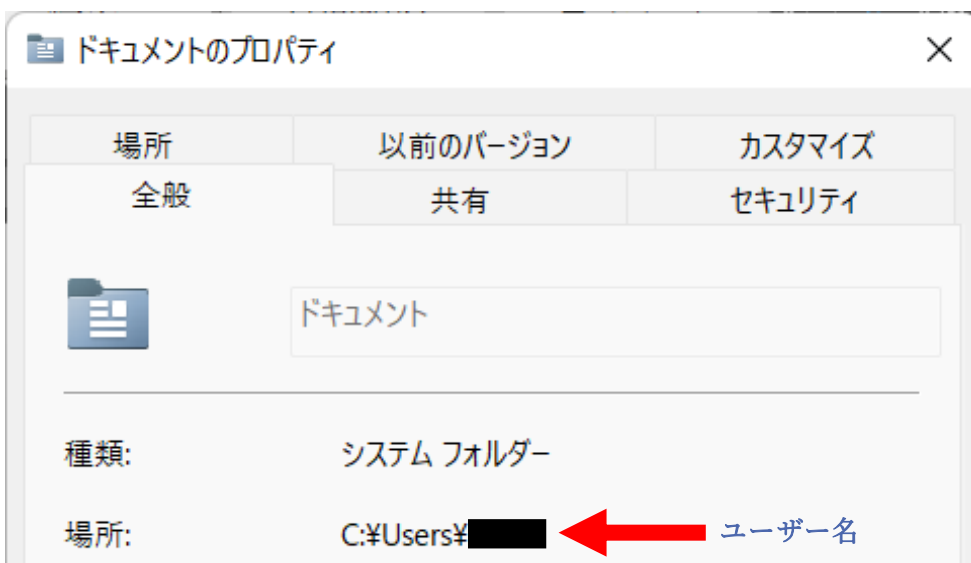
また、OneDrive ユーザーは不具合が生じやすく設定変更を推奨します。

<ユーザー名と Onedrive 使用有無の確認方法>

① ドキュメントを右クリックしプロパティを開いてください。



② 場所に C:\Users\「ユーザー名」が記載されています。



R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

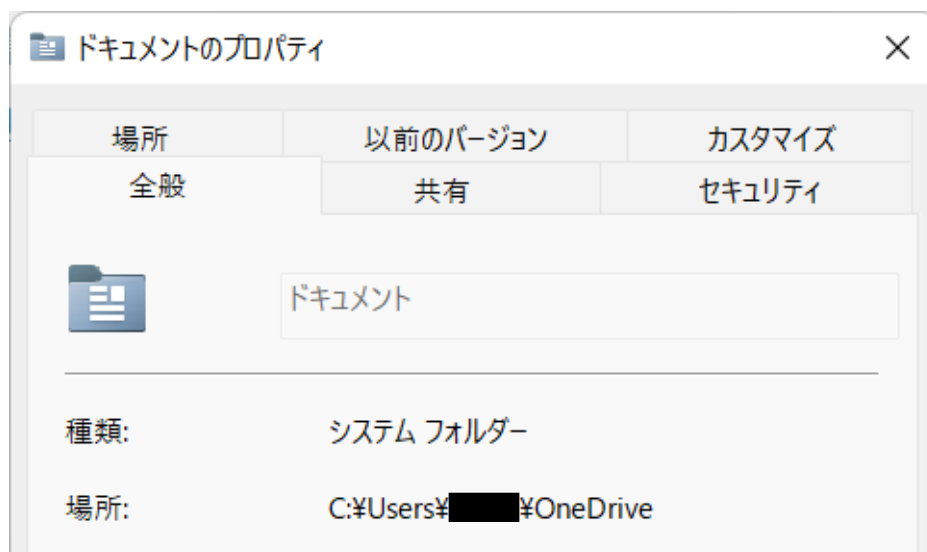
➤ 「ユーザー名」の部分が日本語になっている方

ユーザー名は全てアルファベットに変更してください。例「Kashika」「kashika」など。
「かしか」、「カシカ」、「可視化」などは避けてください。

現在使用しているユーザー名を変更することは難しいため「PCを初期化させ新しくアカウントを作成し直す」あるいは「英語名のローカルアカウントを追加し管理者権限を付与させる」手段があります。後者の方が簡便ですのでそちらをおすすめします（方法は[こちら](#)）。

➤ 「ユーザー名」の後に OneDrive と記載されている方

（例：C:\Users\「ユーザー名」\OneDrive）



変更方法を 2 種類紹介します（[方法①](#)・[方法②](#)）。

それぞれ利点欠点がありますので各自適した方を選択してください。

R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

方法① パッケージのインストール先を変更する。

利点：簡便かつこれまで通り OneDrive を使用できる。

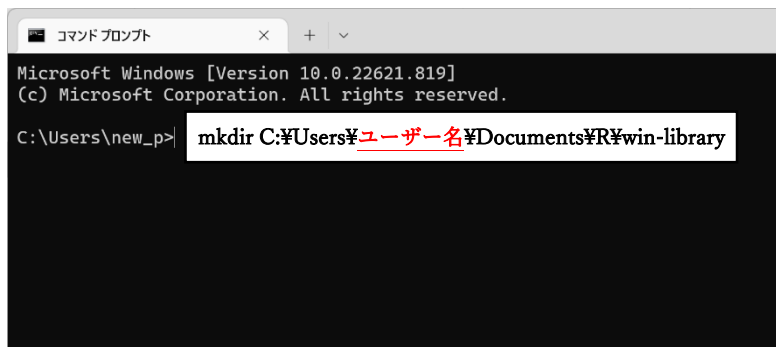
欠点：RStudio で毎度警告が表示される（はずです）。

1. コマンドプロンプトを起動する。



2. 下記画面が表示されるため以下のコードを入力し Enter。
ユーザー名は各自変更してください。

```
mkdir C:¥Users¥ユーザー名¥Documents¥R¥win-library
```



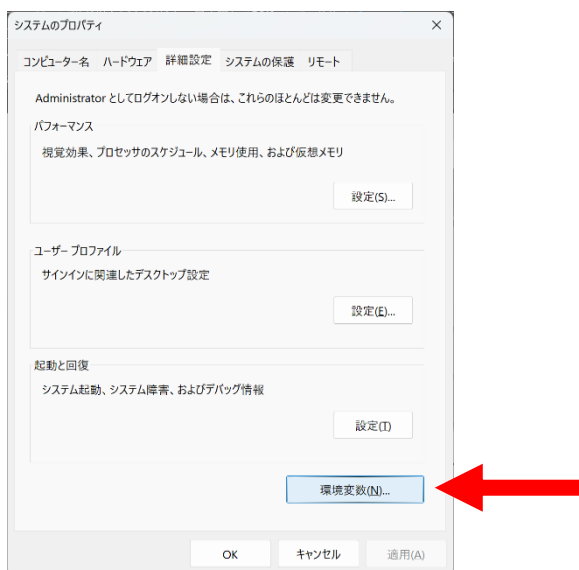
3. コマンドプロンプトを閉じる。

RとRStudioのインストール手順 ～Windows版～

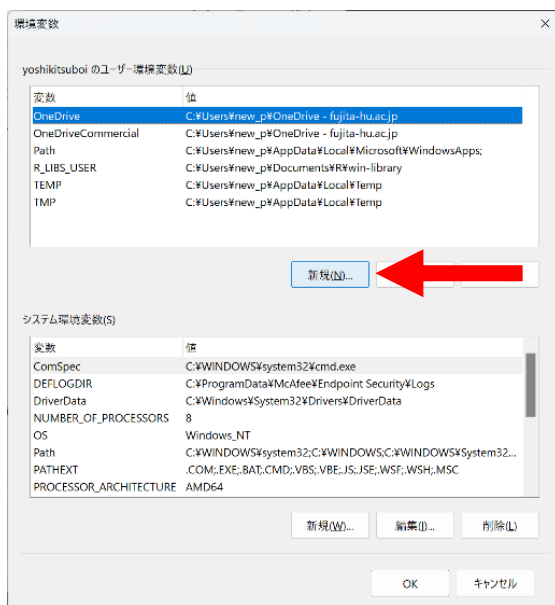
4. 「env」と検索しシステム環境変数の編集を開く。



5. 環境変数をクリック。



6. 新規をクリック。

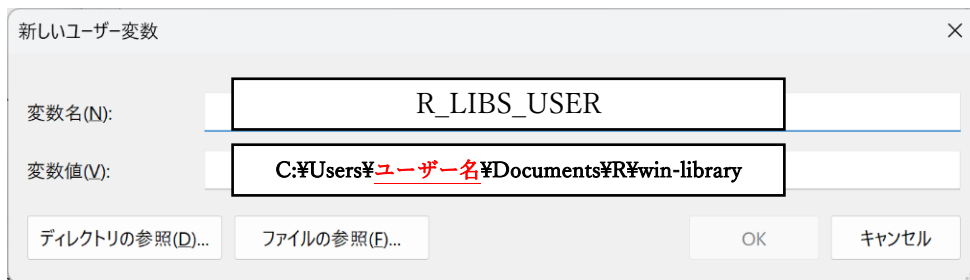


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

7. 変数名と変数値を入力し OK をクリック。

変数名：「R_LIBS_USER」

変数値：「C:¥Users¥ユーザー名¥Documents¥R¥win-library」



8. 環境変数に新しく追加されていることを確認し「OK」をクリック。

方法② OneDrive のフォルダ位置を移動させる。

(ドキュメントの上流の OneDrive を別の場所に移動させる方法です。)

利点：RStudio の利用時にエラー等の表示がなくなる。

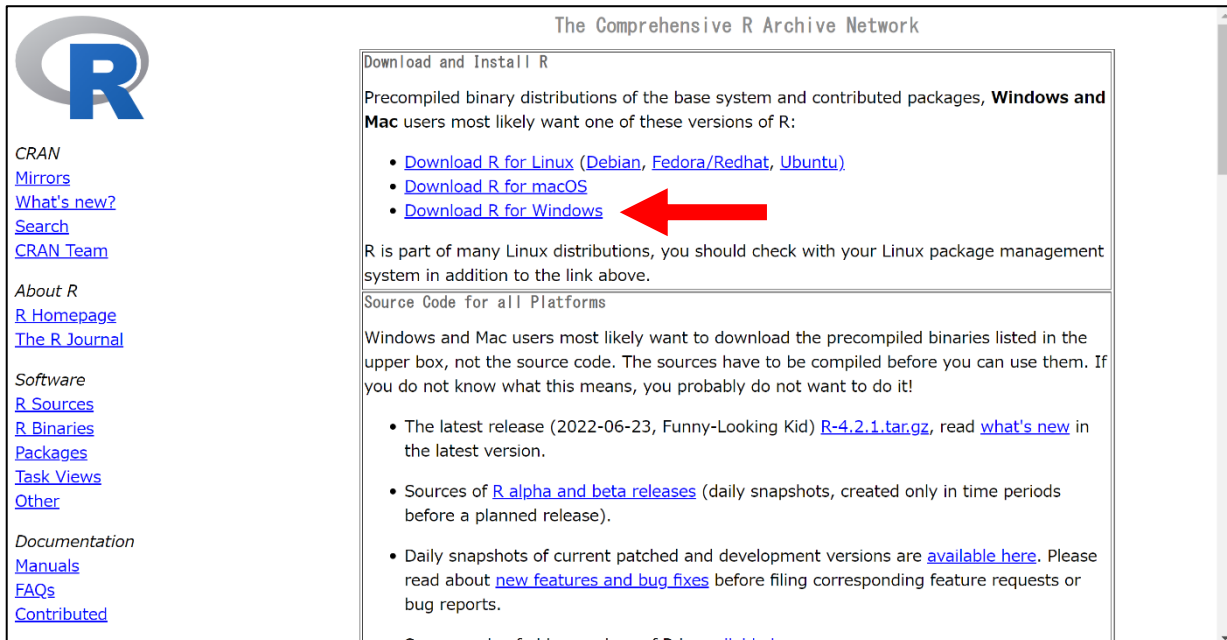
欠点：OneDrive で自動バックアップを実施している方は使用できなくなる。

方法は[こちら](#)の「5. Onedrive 同期フォルダの変更方法のやり方」を参照ください。

1. R のインストール

① ダウンロードサイトへアクセスする (<https://cran.ism.ac.jp/>)。

② 「[Download R for Windows](#)」をクリックする。



The screenshot shows the CRAN website interface. On the left, there is a navigation menu with links for CRAN, Mirrors, What's new?, Search, CRAN Team, About R, R Homepage, The R Journal, Software, R Sources, R Binaries, Packages, Task Views, Other, and Documentation. The main content area is titled 'The Comprehensive R Archive Network' and contains a section 'Download and Install R'. This section states that precompiled binary distributions are available for Windows and Mac users. A list of links is provided: 'Download R for Linux (Debian, Fedora/Redhat, Ubuntu)', 'Download R for macOS', and 'Download R for Windows'. A red arrow points to the 'Download R for Windows' link. Below this, there is a section for 'Source Code for all Platforms' which explains that Windows and Mac users should download precompiled binaries instead of source code.

R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

③ 「Install R for the first time」をクリックする。

The screenshot shows the 'R for Windows' website. On the left is a navigation menu with links for CRAN, About R, Software, and Documentation. The main content area is titled 'R for Windows' and lists subdirectories: 'base', 'contrib', 'old contrib', and 'Rtools'. The 'base' link is highlighted with a red arrow. Below the subdirectories, there is a note about submitting binaries to CRAN and a link to the 'R FAQ'.

④ 「Download R-4.2.1 for Windows」をクリック（2022年10月20日時点）する。

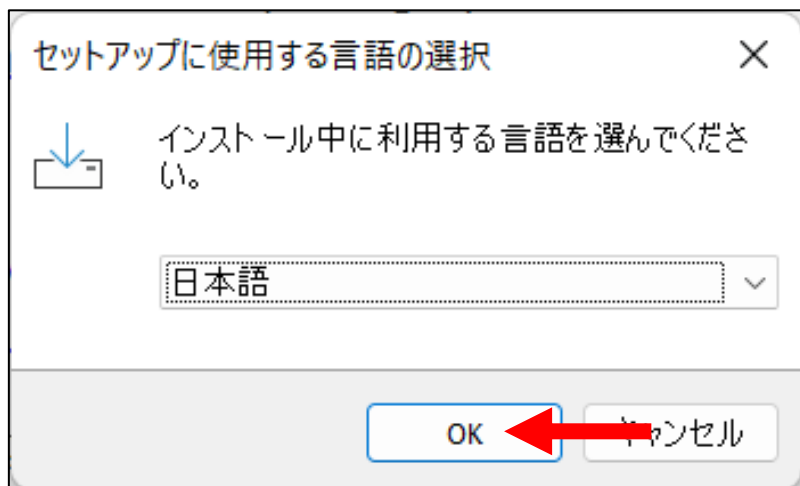
クリックするとインストーラー（R-4.2.1-win.exe）がダウンロードされます（画面左下）。

「4.2.1」はRのバージョン番号であり、随時更新されています。

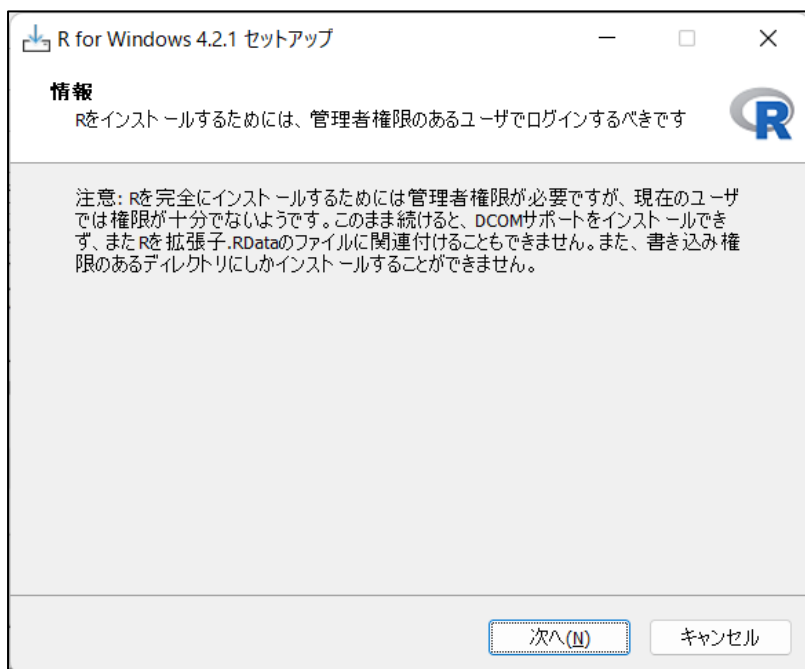
The screenshot shows the 'R-4.2.1 for Windows' website. The main heading is 'R-4.2.1 for Windows'. A prominent link 'Download R-4.2.1 for Windows (70-bit)' is highlighted with a red arrow. Below this, there are links for 'README on the Windows binary distribution' and 'New features in this version'. The text explains that the build requires UCRT and provides instructions for older systems. There are also links for 'Frequently asked questions' and 'Other builds'. At the bottom, there is a note for webmasters and a 'Last change' date of 2022-06-23. The browser window title is 'R-4.2.1-win.exe'.

R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑤ インストーラー (R-4.2.1-win.exe) を起動する。
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されるため「はい」を選択
- ⑥ セットアップ言語の選択画面が表示されるため「日本語」を選択し「OK」をクリック。

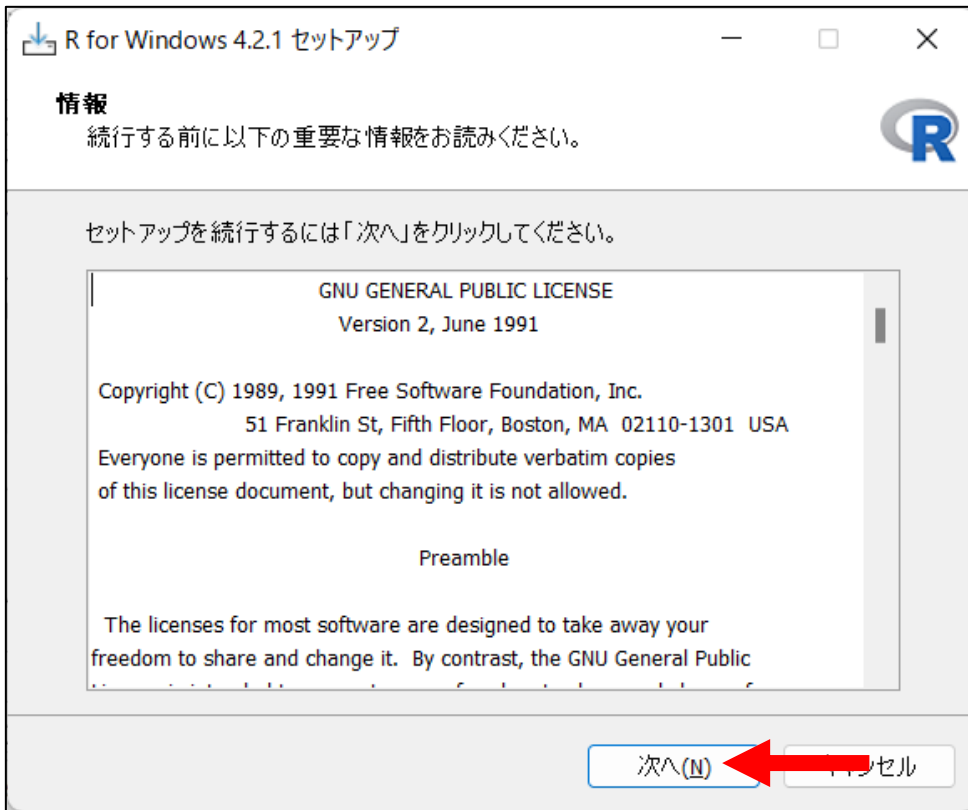


注意) PC の管理者でない場合は下記の画面が表示されます。
管理者アカウントでインストールすることをおすすめします。

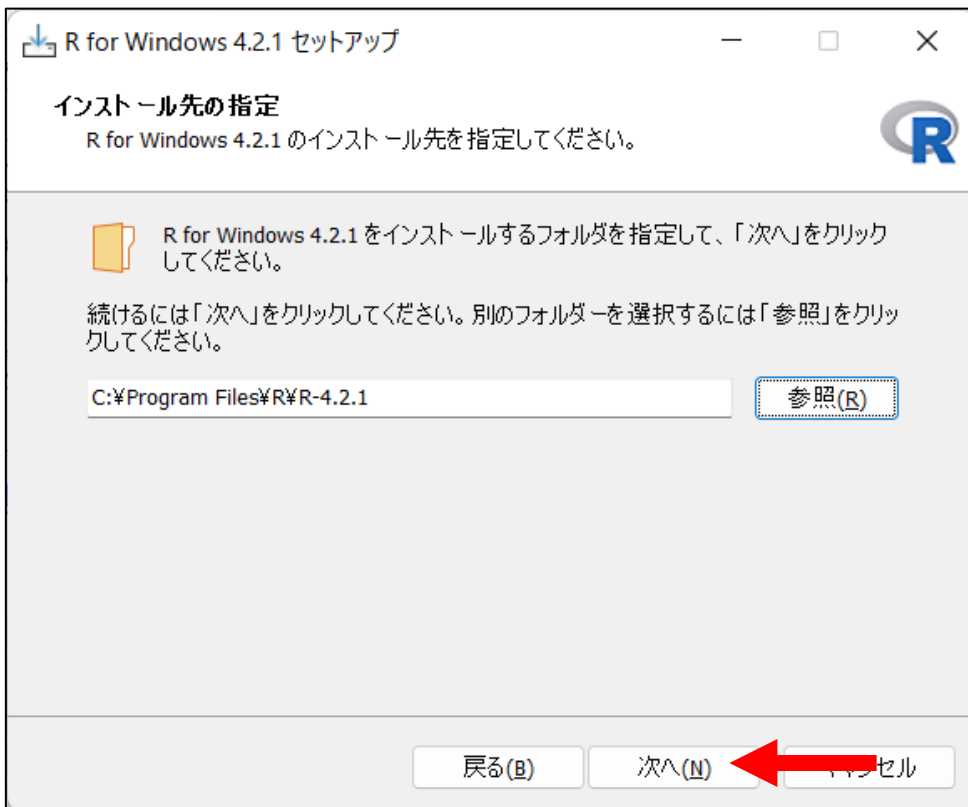


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑦ 「次へ」をクリックする。

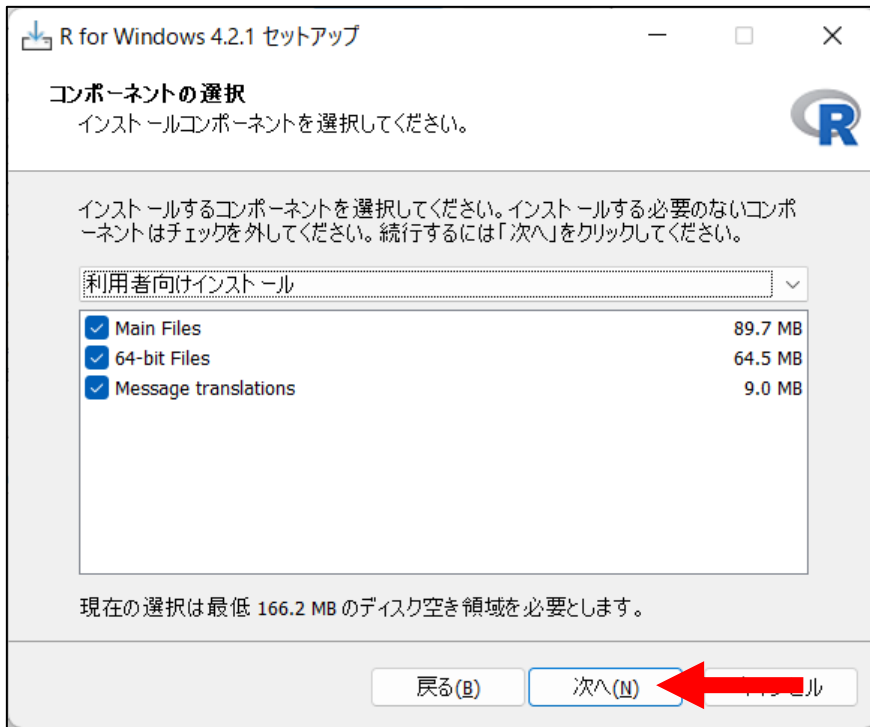


- ⑧ インストール先を指定し「次へ」をクリックする。
デフォルト設定は Program Files にインストールされます。

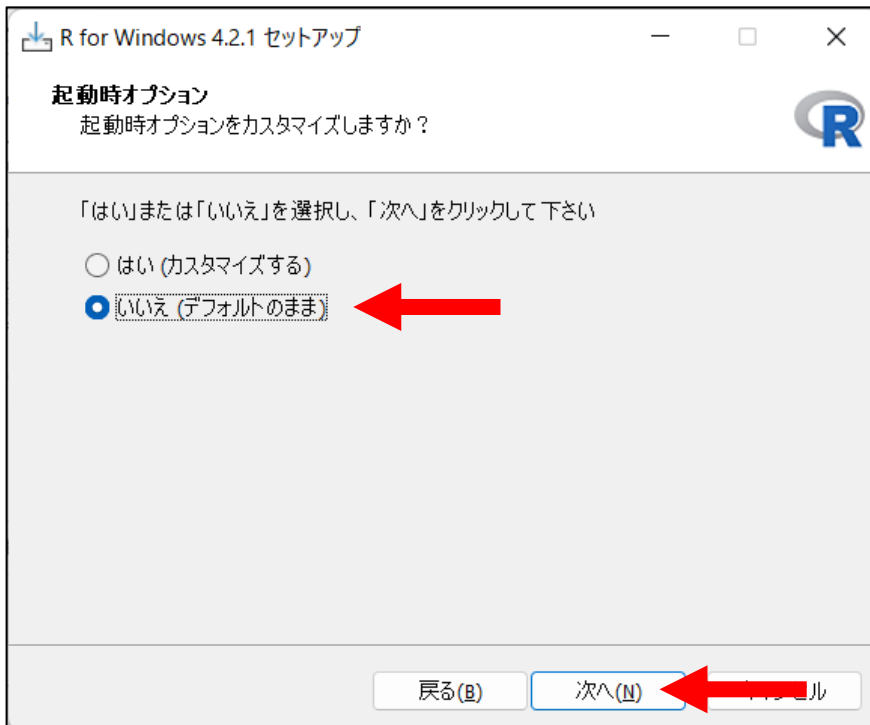


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑨ インストールするファイルを選択する。
すべてチェックされていることを確認し「次へ」をクリックする。

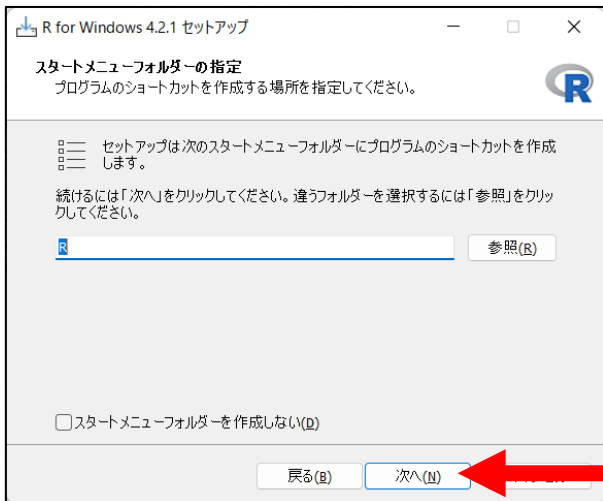


- ⑩ 起動時のオプション選択画面が表示されるため「いいえ」を選択し「次へ」をクリックする。



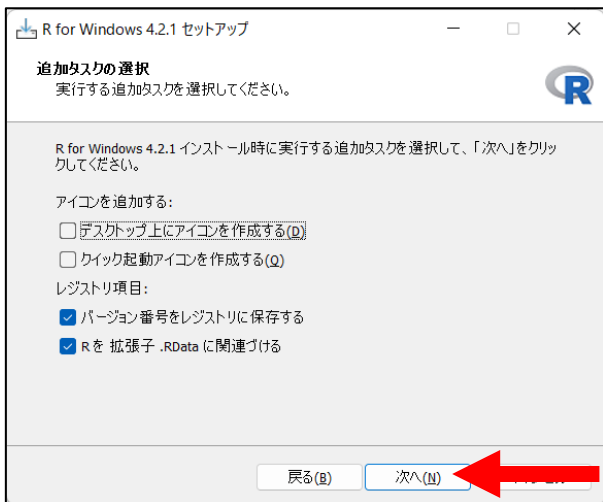
R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

⑪ 「次へ」をクリックする。



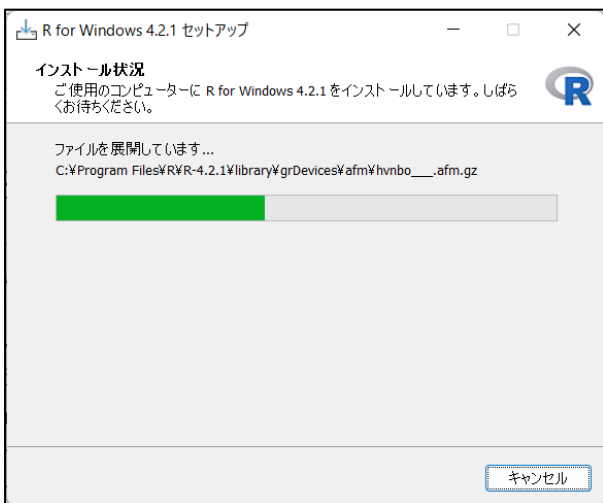
⑫ 下記の画面が表示されます。

R のアイコンは不要なため 上 2 つのチェックをはずし、「次へ」をクリックする。



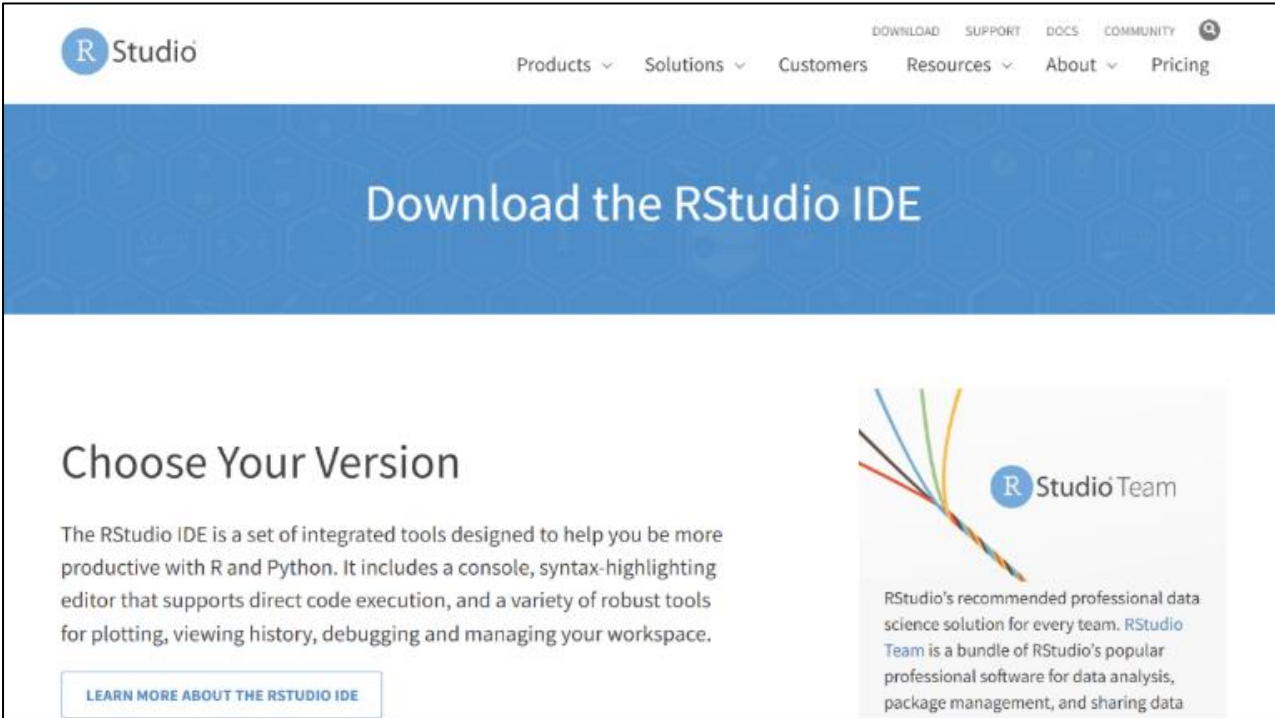
⑬ インストール状況が表示（左図）されるため終了まで待ちます。

インストール終了後、自動的に右図が表示されるため「完了」をクリックする。



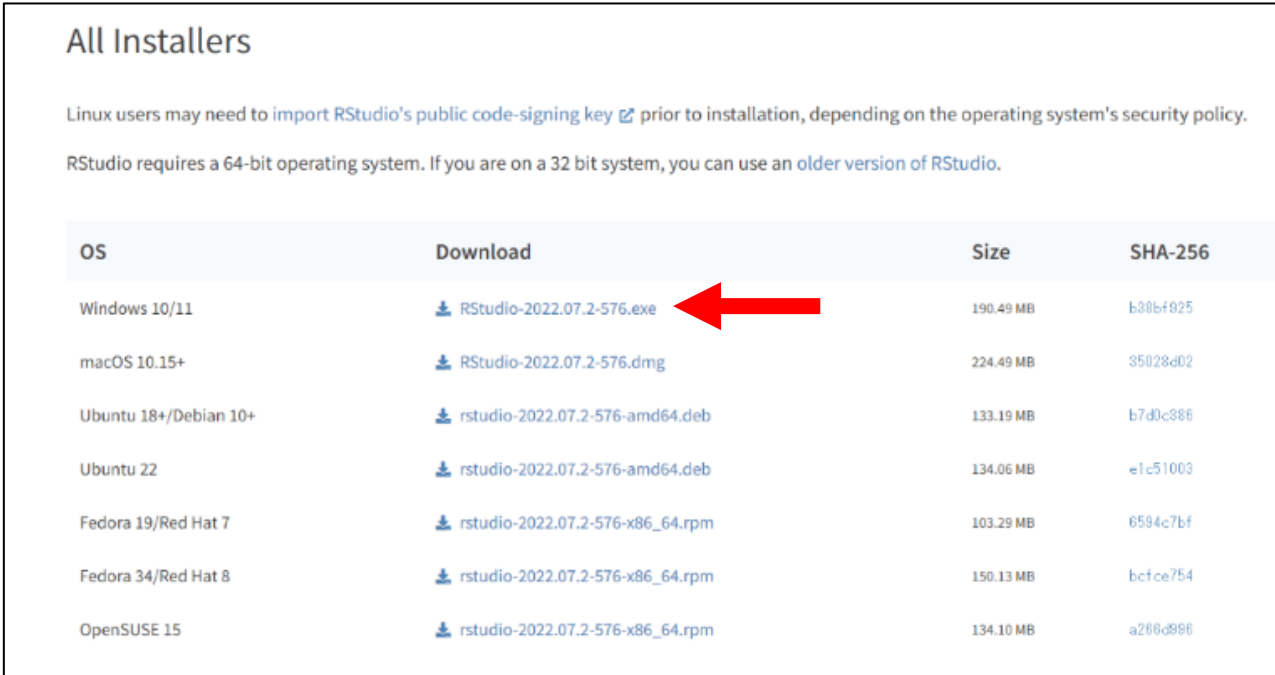
2. RStudio のインストール

- ① ダウンロードサイトへアクセスする (<https://www.rstudio.com/products/rstudio/download/>)。



The screenshot shows the RStudio website's download page. The header includes the RStudio logo and navigation links: Products, Solutions, Customers, Resources, About, Pricing, DOWNLOAD, SUPPORT, DOCS, and COMMUNITY. The main heading is "Download the RStudio IDE". Below this, there is a section titled "Choose Your Version" with a description of the IDE and a "LEARN MORE ABOUT THE RSTUDIO IDE" button. To the right, there is a graphic for "RStudio Team" with a description of their professional data science solution.

- ② 下にスクロールすると下記の画面が表示されます。
「Windows 10/11」を選択する。



The screenshot shows the "All Installers" page on the RStudio website. It lists various operating systems and their corresponding download links, sizes, and SHA-256 hashes. A red arrow points to the "Windows 10/11" row, which has a download link of "RStudio-2022.07.2-576.exe".

OS	Download	Size	SHA-256
Windows 10/11	RStudio-2022.07.2-576.exe	190.49 MB	b38bf825
macOS 10.15+	RStudio-2022.07.2-576.dmg	224.49 MB	35028d02
Ubuntu 18+/Debian 10+	rstudio-2022.07.2-576-amd64.deb	133.19 MB	b7d0c386
Ubuntu 22	rstudio-2022.07.2-576-amd64.deb	134.06 MB	e1c51003
Fedora 19/Red Hat 7	rstudio-2022.07.2-576-x86_64.rpm	103.29 MB	6594c7bf
Fedora 34/Red Hat 8	rstudio-2022.07.2-576-x86_64.rpm	150.13 MB	bcfce754
OpenSUSE 15	rstudio-2022.07.2-576-x86_64.rpm	134.10 MB	a266d896

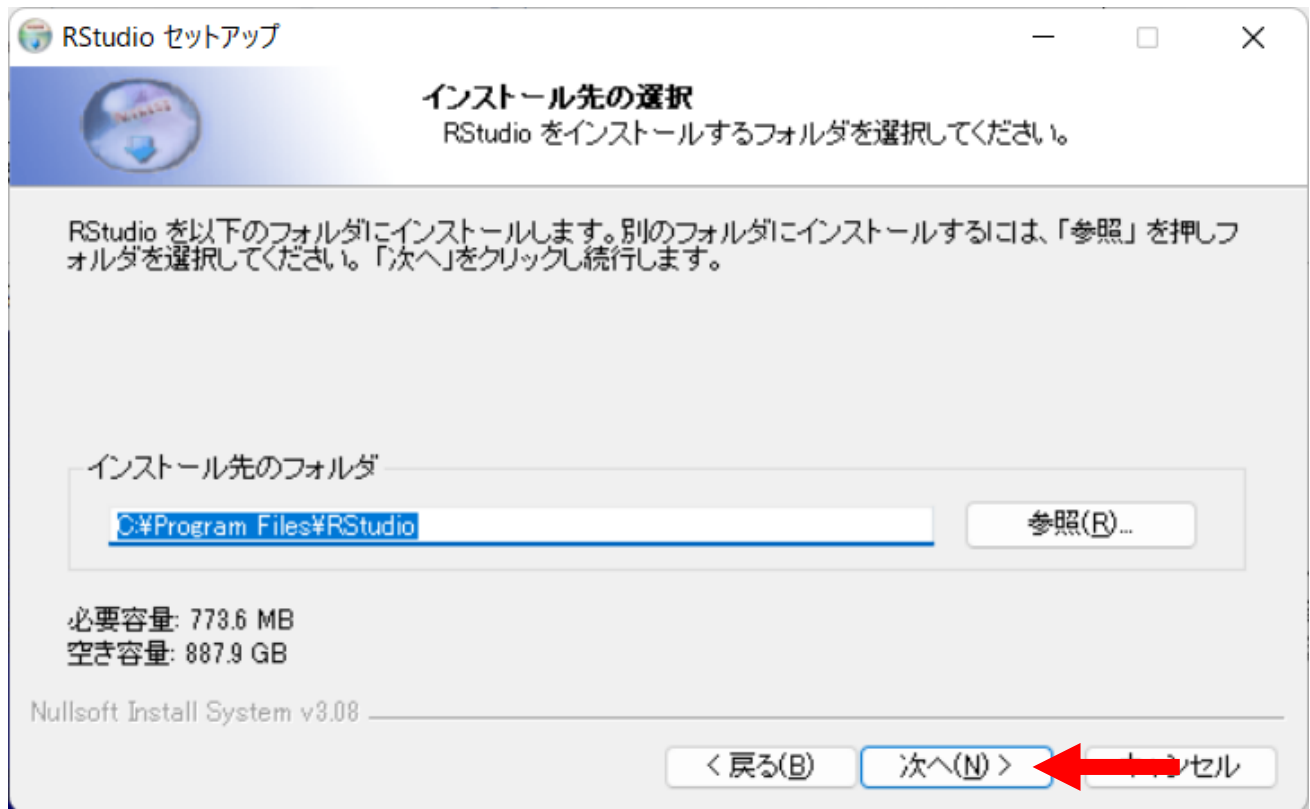
R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ③ インストーラー (RStudio-2022.07.2-576.exe) を起動する。
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されるため「はい」を選択する。
- ④ 「次へ」をクリックする。



R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑤ インストール先の選択画面が表示されるため「次へ」を選択する。
インストール先はデフォルトのままでも OK。



- ⑥ 下記の画面が表示されるため、そのまま「インストール」をクリックする。



⑦ 「完了」をクリックする。

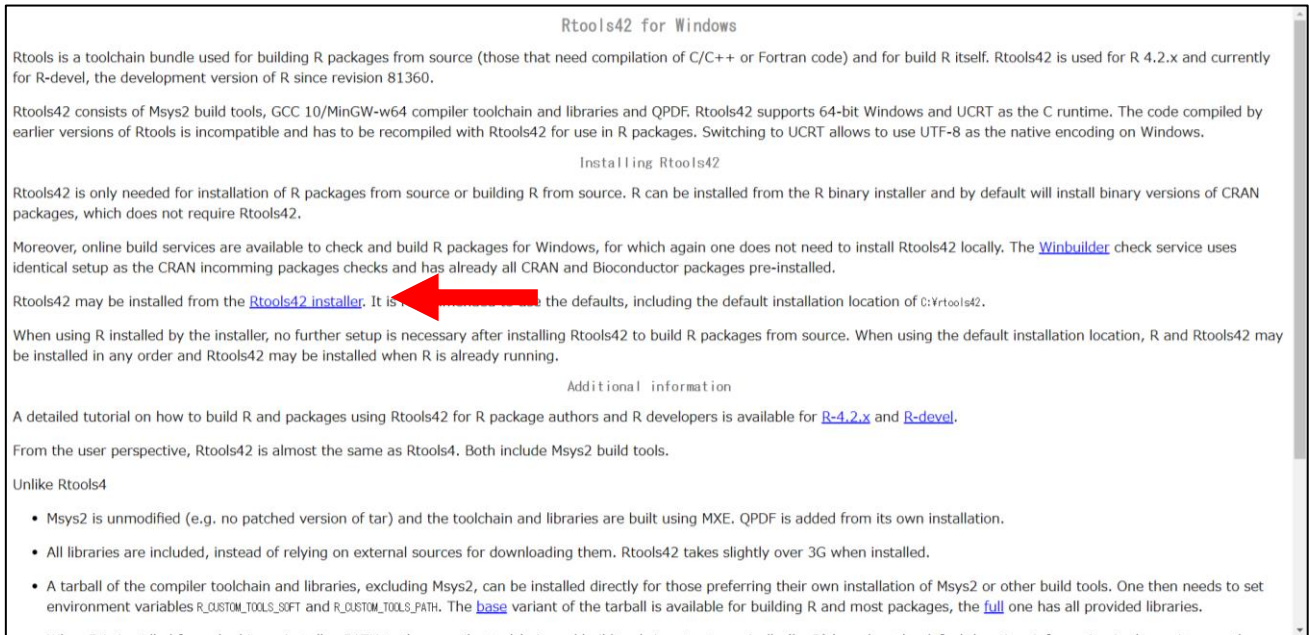


以上で RStudio のインストールが終了です。

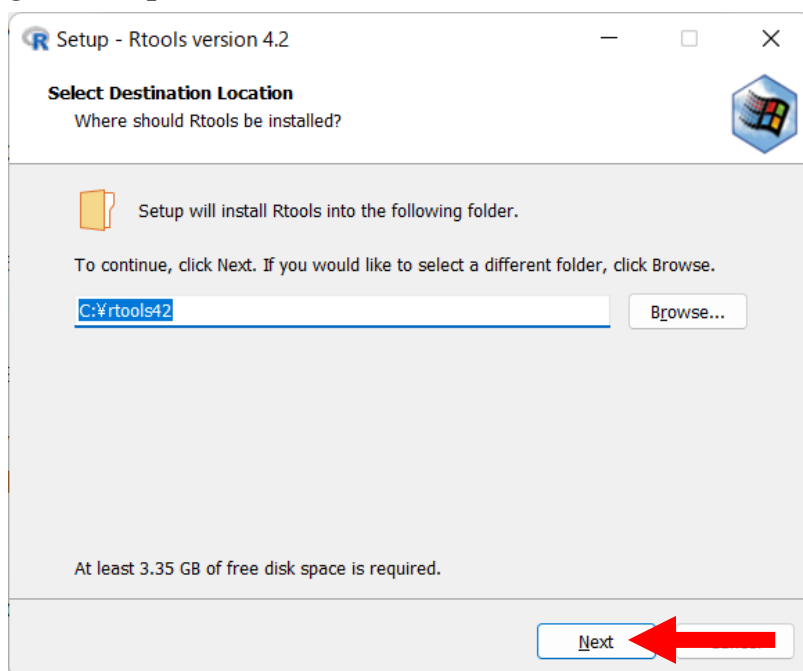
3. Rtools のインストール

Windows 版では Rtools がないとパッケージがインストールできない可能性があります。

- ① ダウンロードサイトへアクセスする (<https://cran.r-project.org/bin/windows/Rtools/>)。
- ② 「[Rtools42 installer](#)」をクリックする。

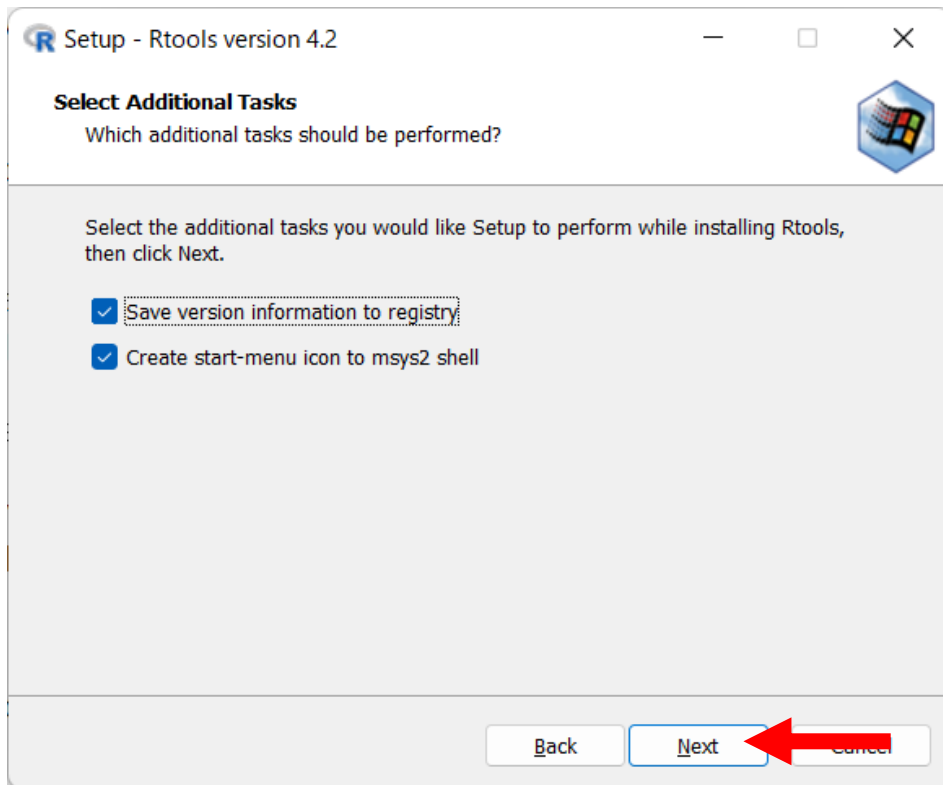


- ③ インストーラー ([rtools42-5355-5357.exe](#)) を起動する。
「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示されるため「はい」を選択
- ④ 「[Next](#)」をクリックする。

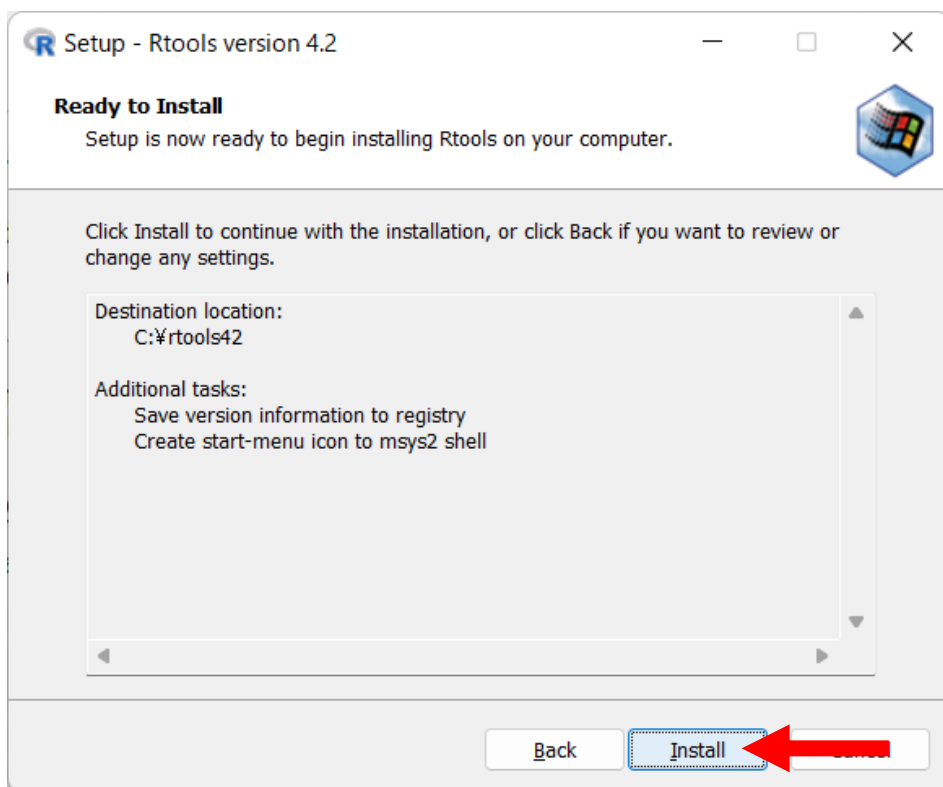


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

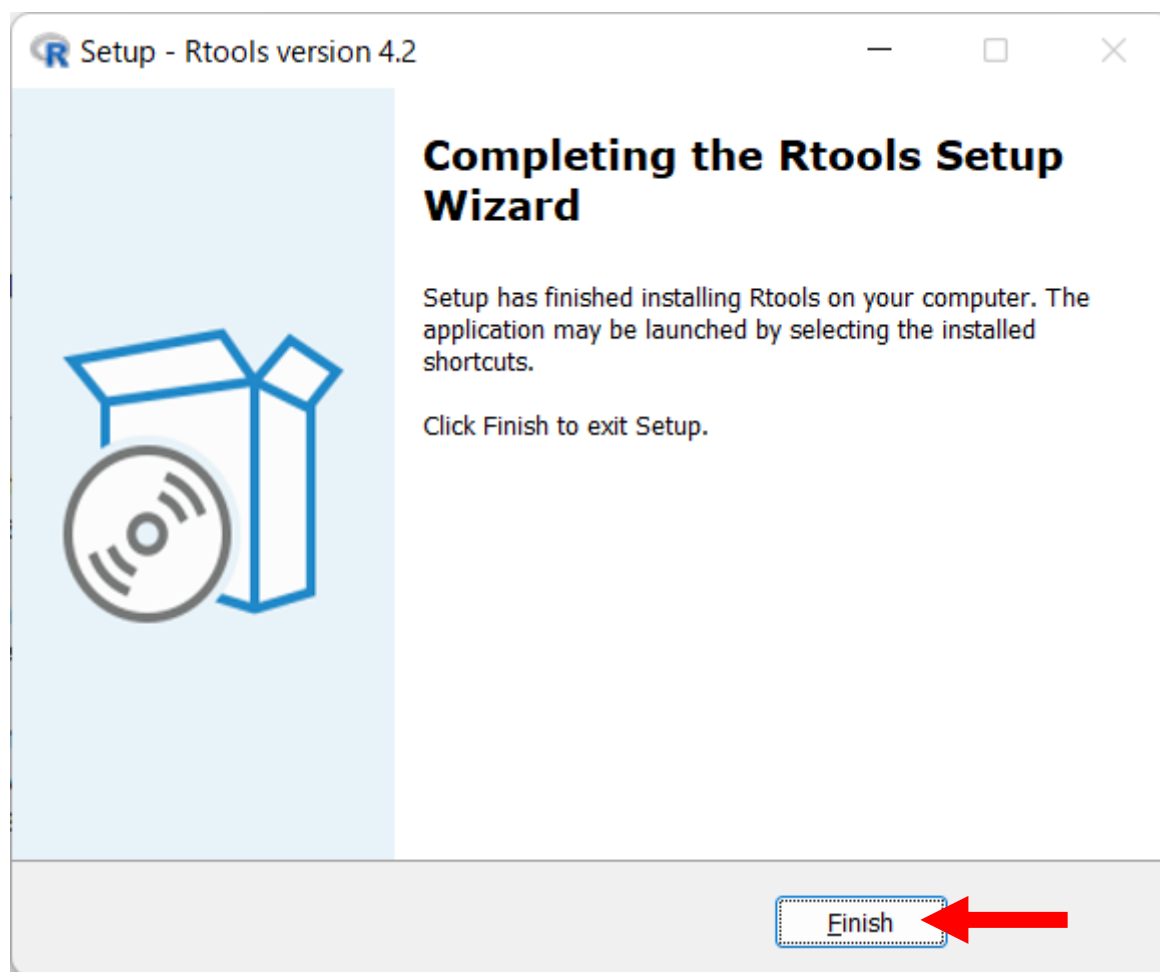
- ⑤ 「Next」をクリックする。
2つともチェックを入れた状態でOK。



- ⑥ 「Install」をクリックする。



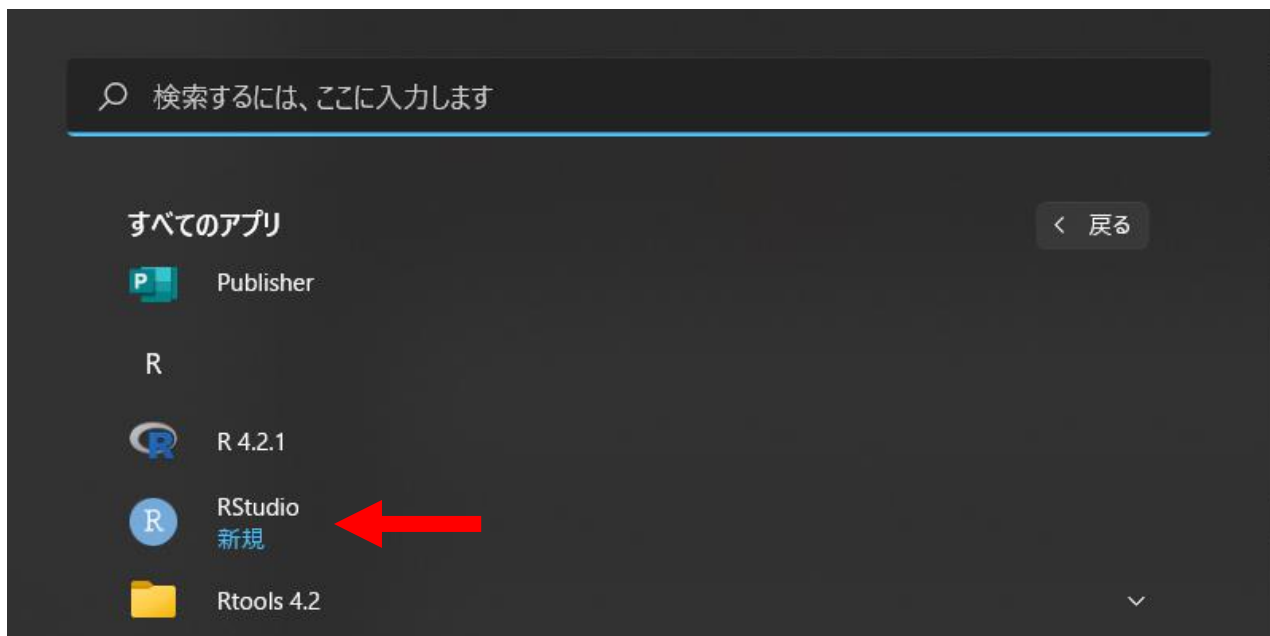
⑦ インストールが完了後、「Finish」をクリックする。



以上で Rtools のインストールが完了です。

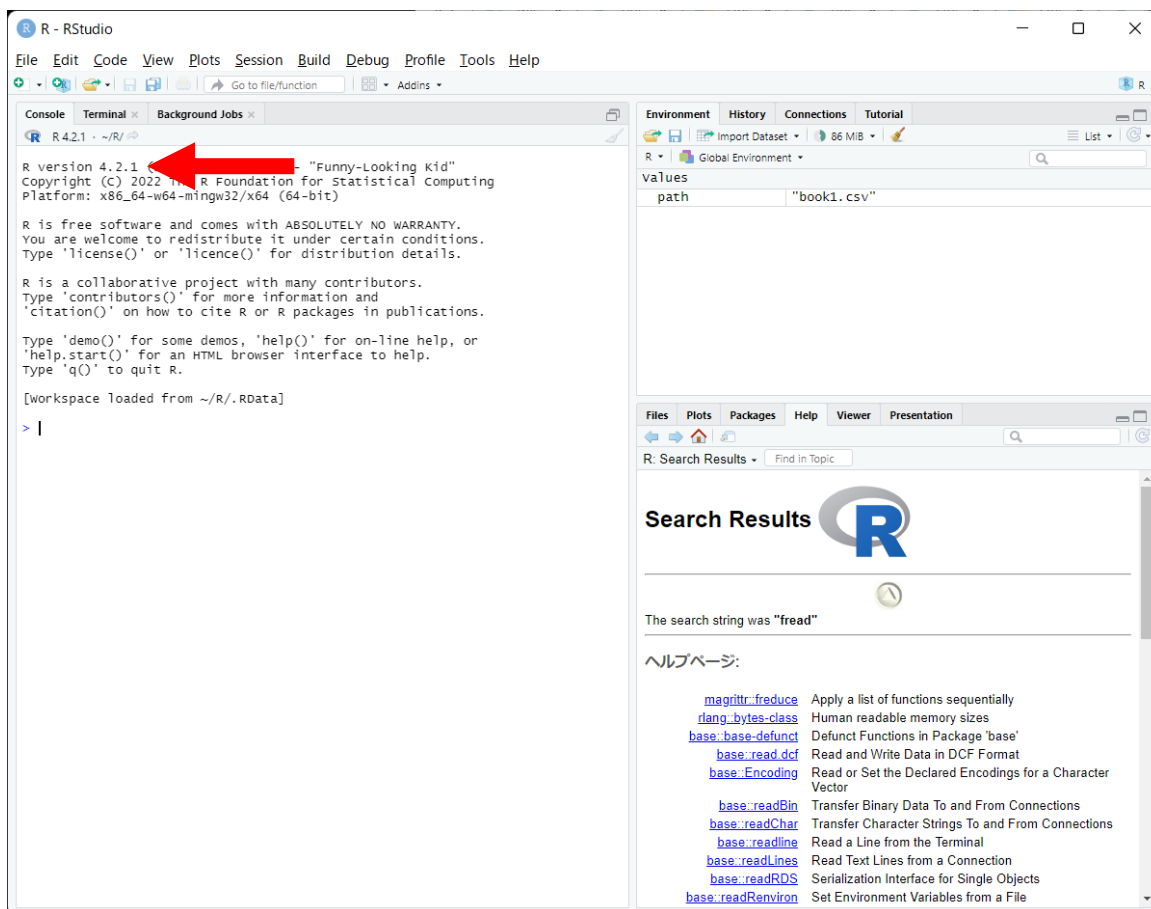
4. 動作確認

- ① ホームボタンの「すべてのアプリ」から RStudio を起動する。



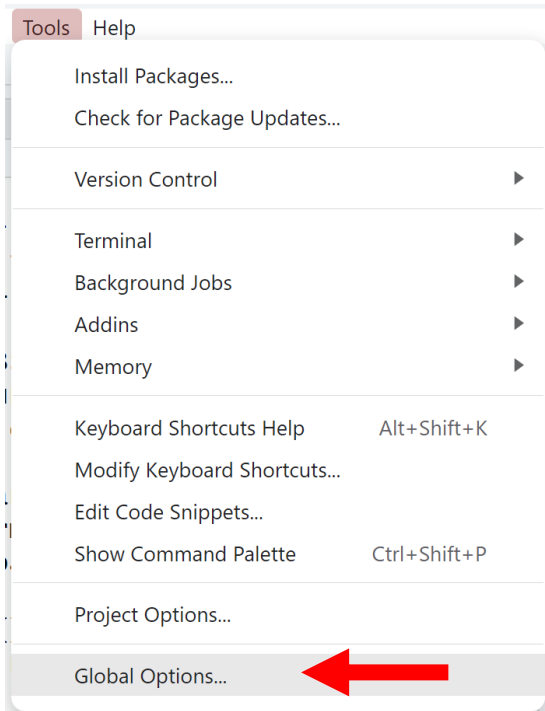
- ② 下記と同じ画面を開くことができれば OK。

console に「R version 4. 2. 1」が表示されているはずです。



5. 環境設定 (Encoding 設定・ペインレイアウト)

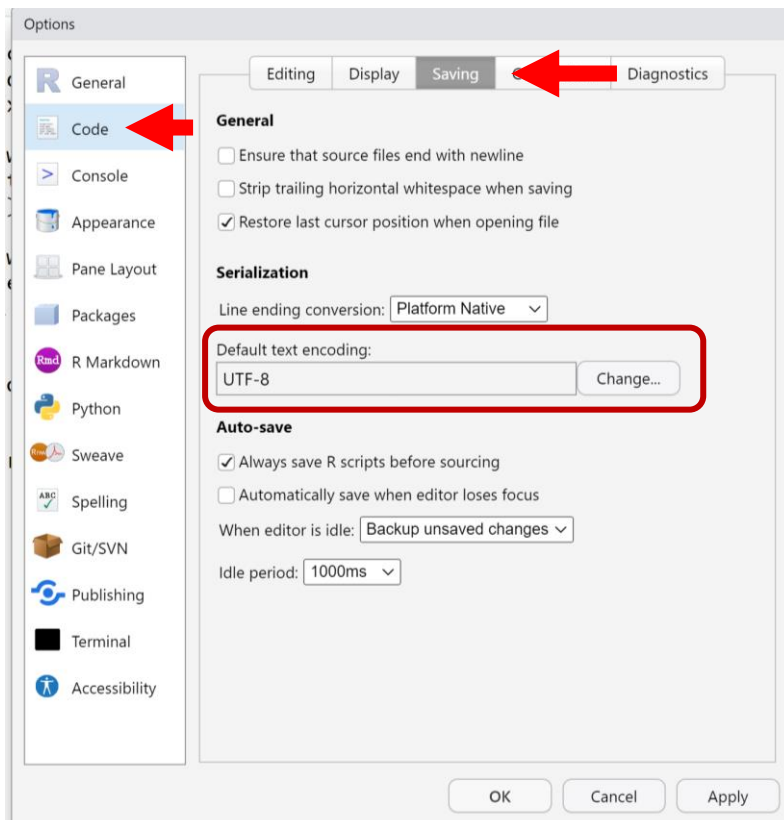
- ① 「Tools」の「Global Options...」をクリックします。



- ② 「Code」の「Saving」をクリックする。

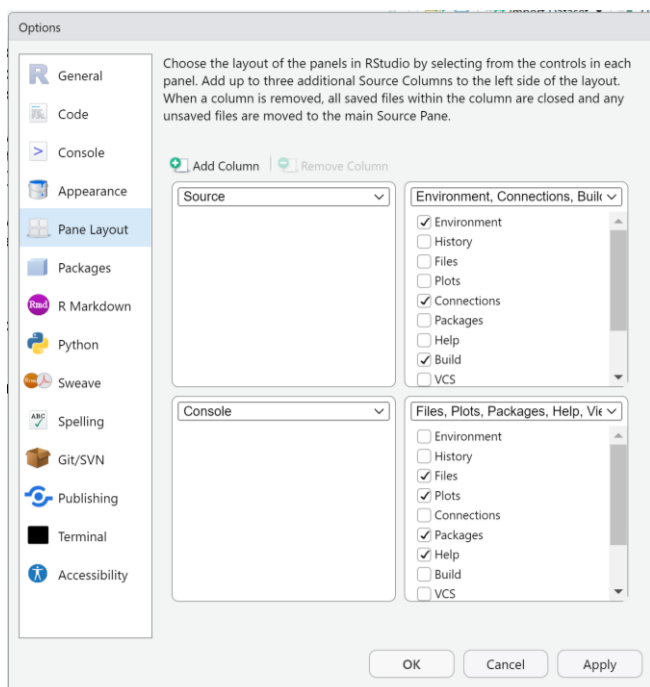
Default text encoding が **UTF-8** であることを確認してください。

UTF-8 でなかった場合は、「Change」から **UTF-8** を選択できます。

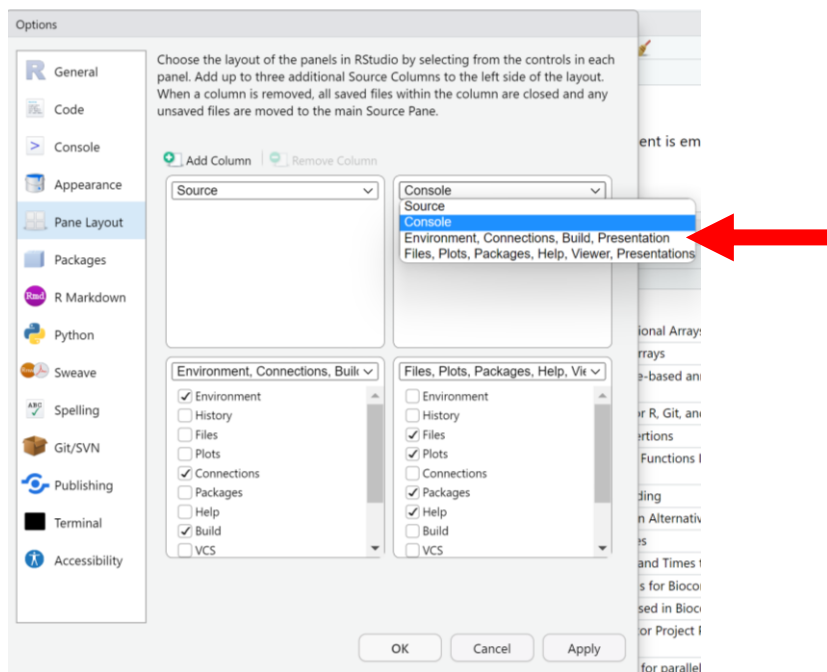


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ③ Pane Layout をクリックする。
4つのペインの配置を自由に設定できます。

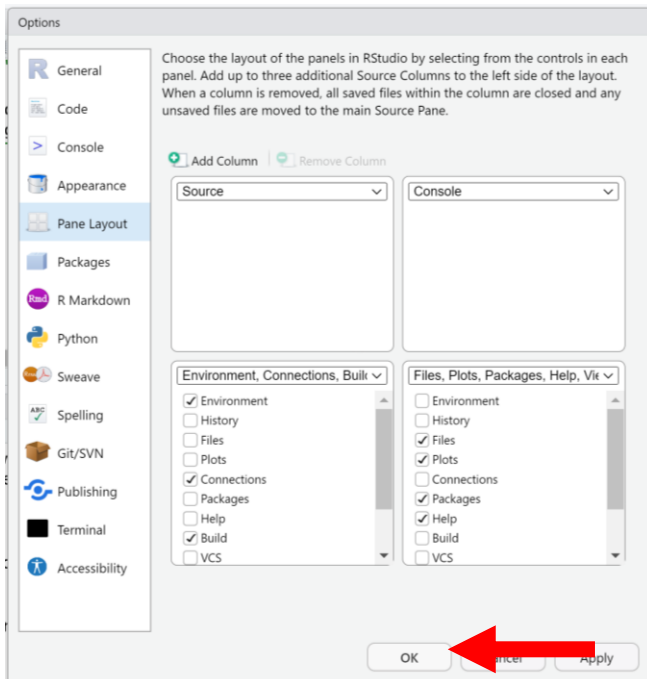


- ④ 右上のパネルを「Console」にしてください。



R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑤ 右上を「Console」に変更すると、左下が自動的に「Environment, History…」に変更されます。「OK」をクリックしてください。

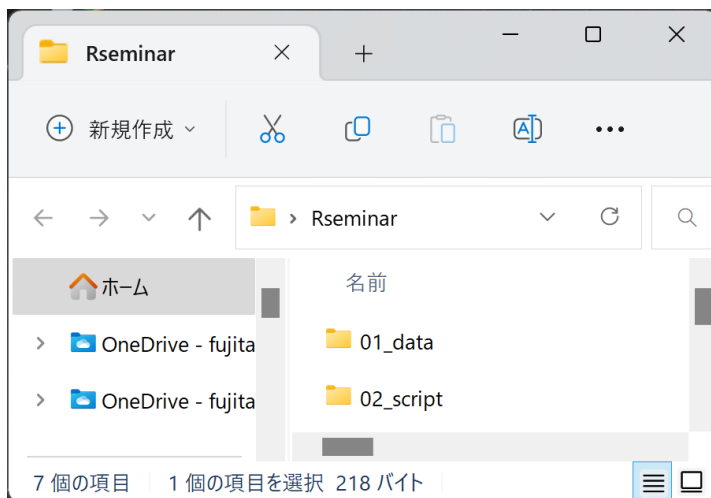


6. R プロジェクトの作成

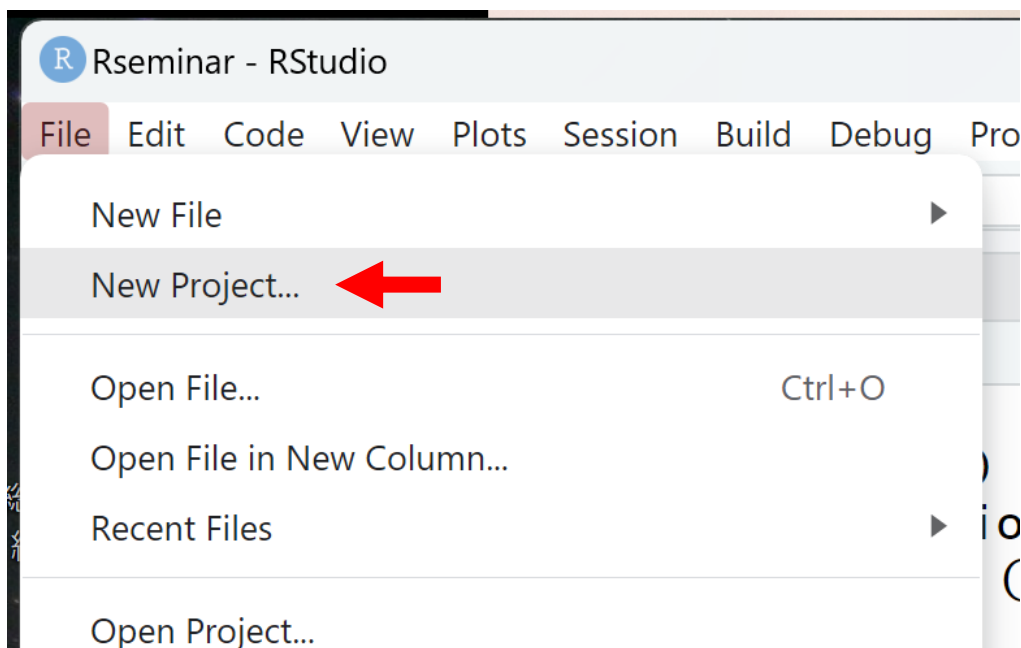
- ① デスクトップに本セミナー用に「Rseminar」フォルダを作成してください。



- ② ①で作成したフォルダの中に「01_data」フォルダと「02_script」フォルダを作成してください。

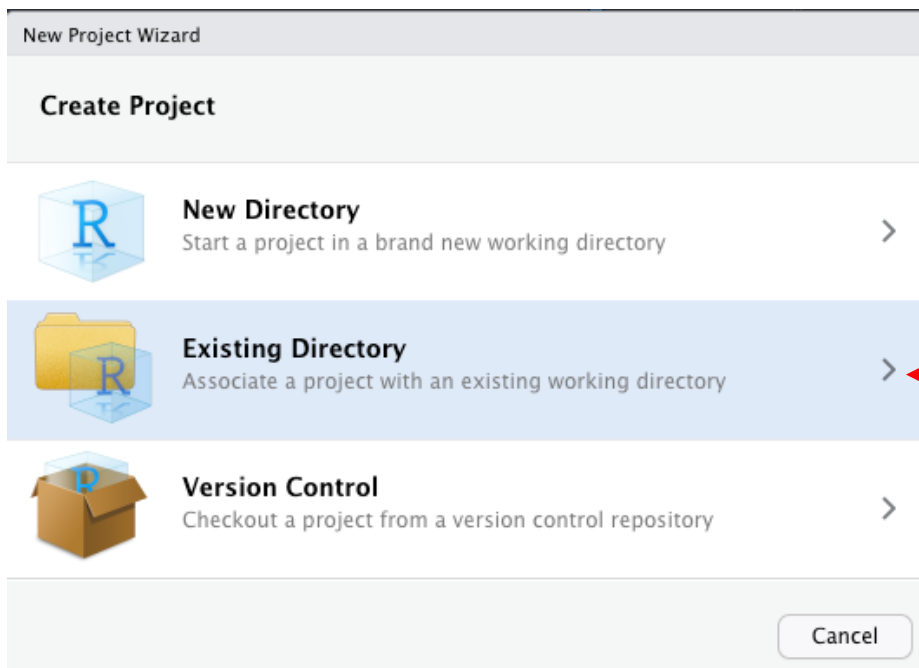


- ③ 「File」をクリックし、「New Project...」をクリックする。

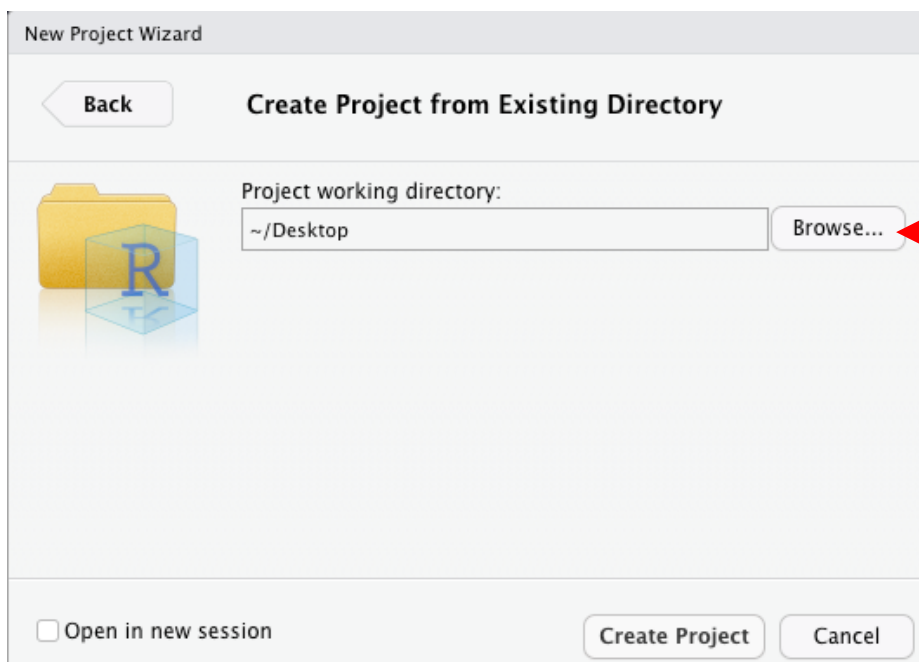


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

④ 「Existing Directory」をクリックする。

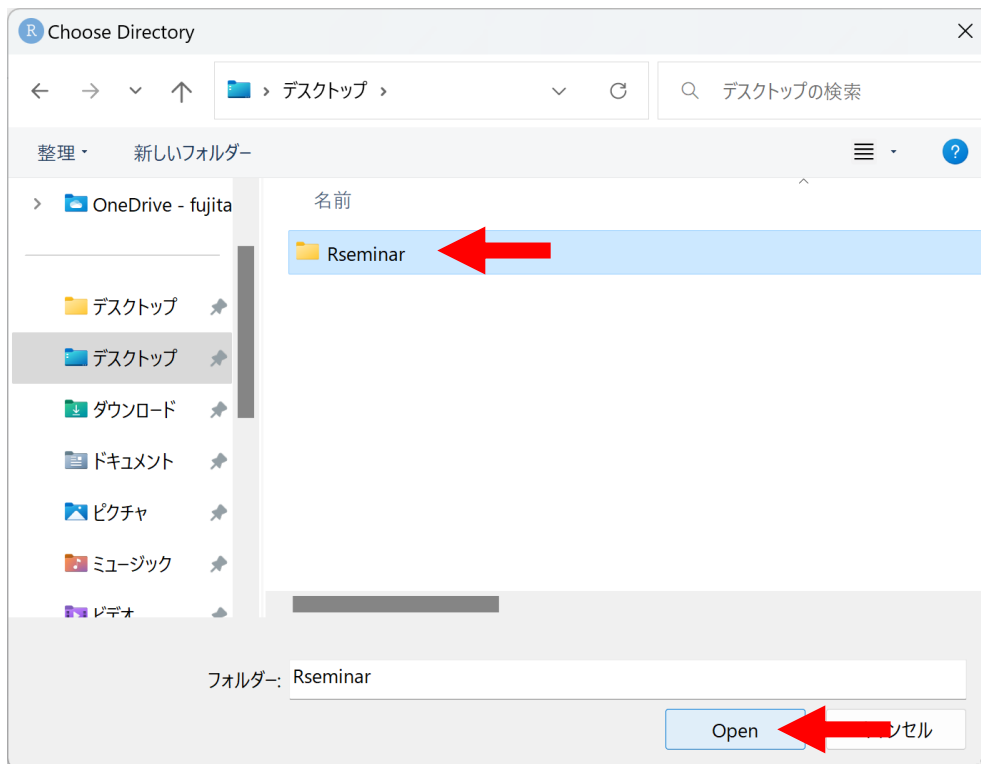


⑤ 「Browse...」をクリックする。

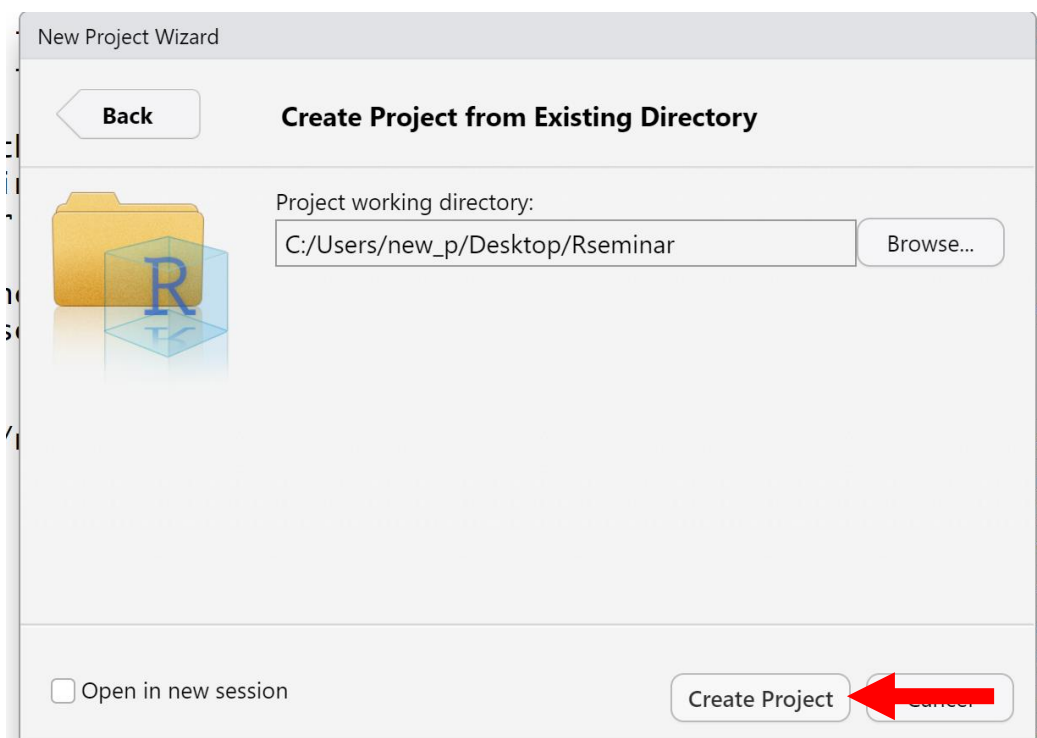


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

⑥ 「Rseminar」フォルダを選択し、「Open」をクリックする。

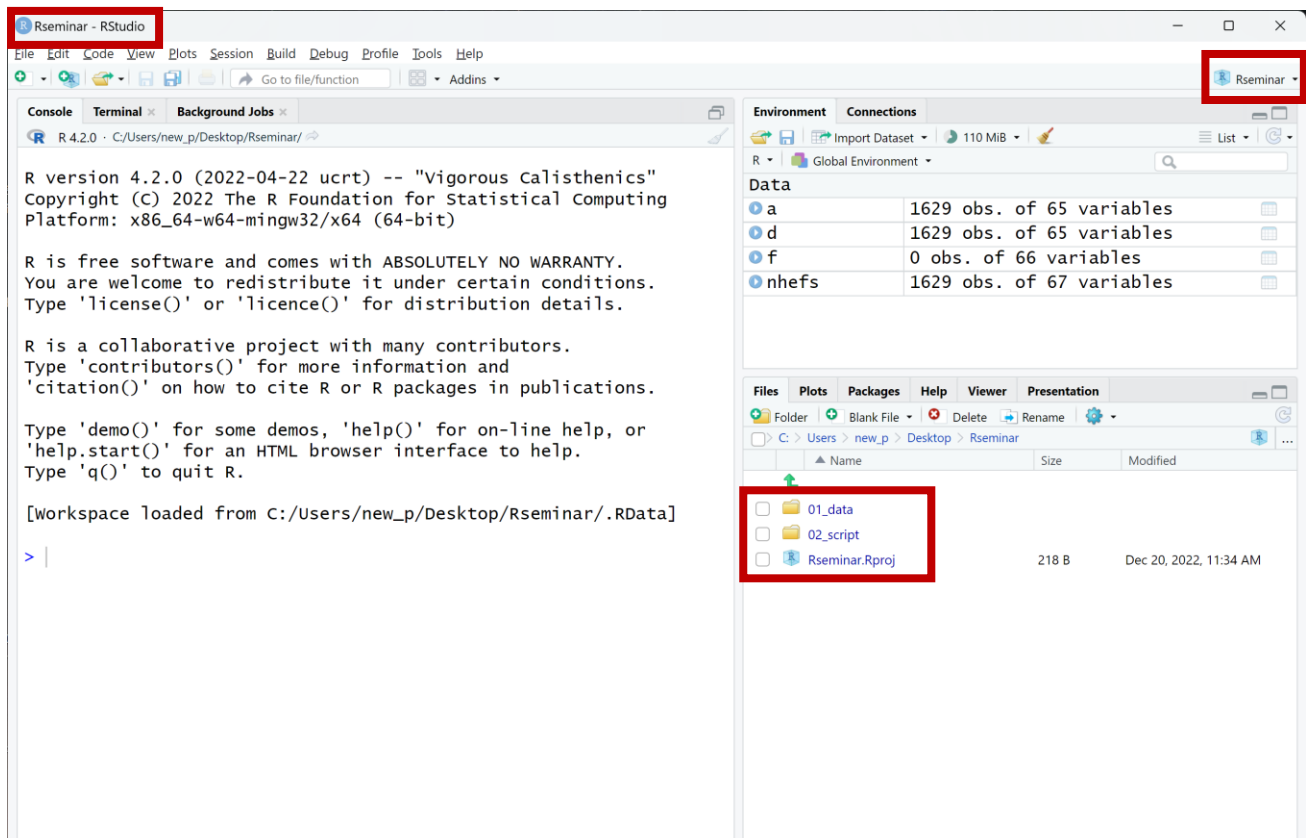


⑦ Project working directory: に①で作成した「Rseminar」フォルダが選択されていることを確認し、「Create Project」をクリックする。



R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

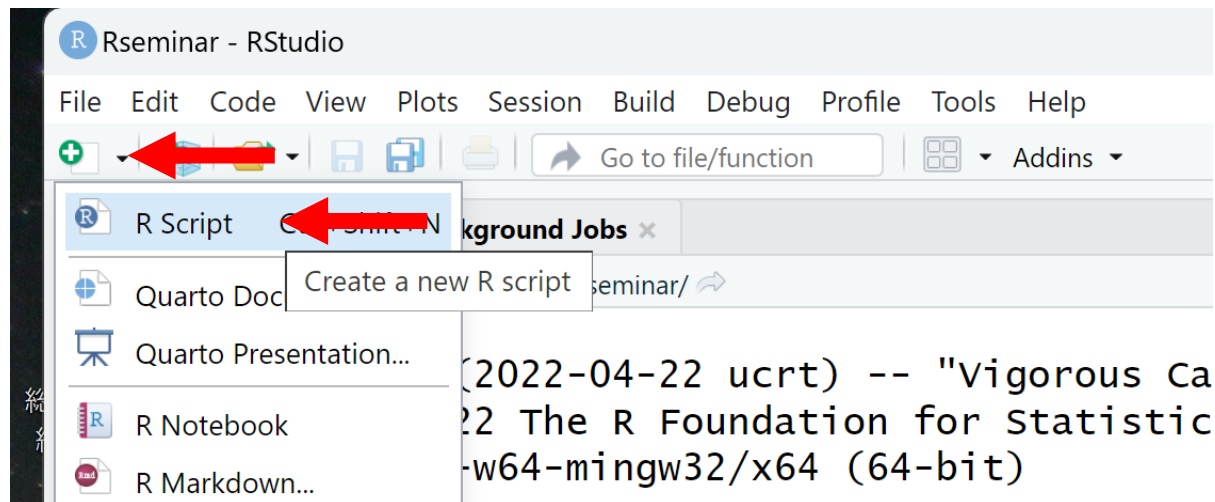
⑧ RStudio が「Rseminar」フォルダに紐付けられて開いていることを確認します。



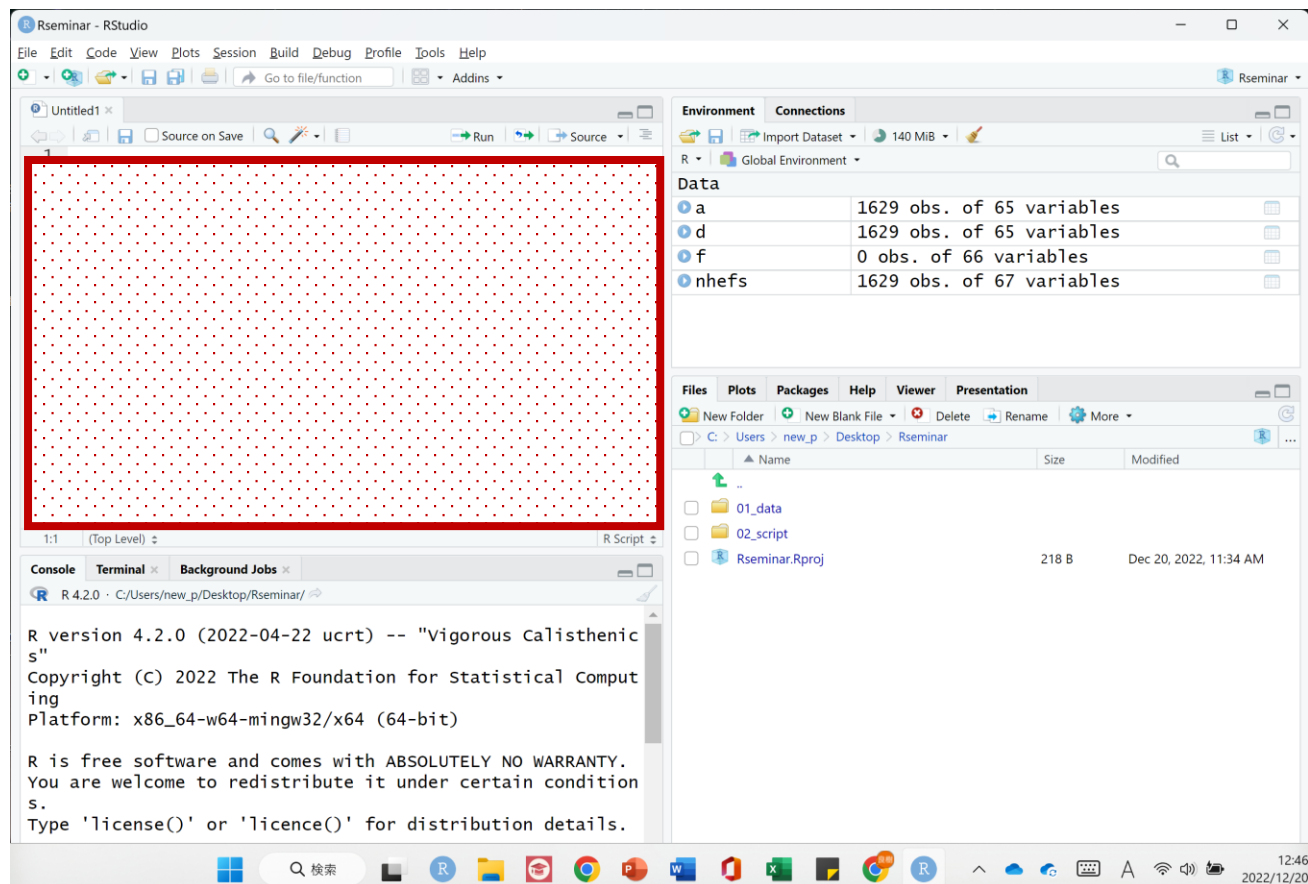
7. パッケージのインストール

本セミナーで利用するパッケージを予め準備しておきます。

- ① 左上にあるプルダウンをクリックし、「R Script」をクリックします。



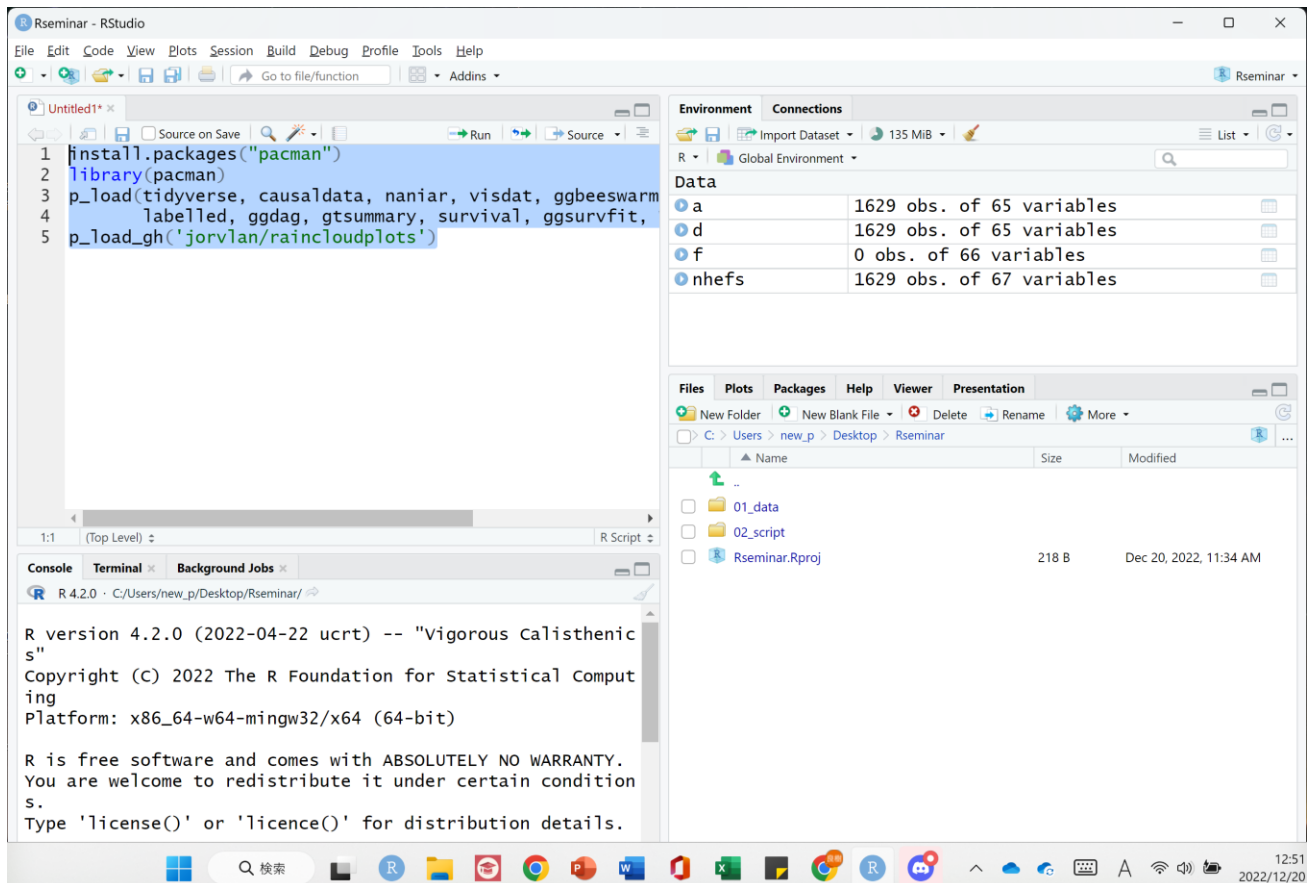
- ② Rscript が開きます。



R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

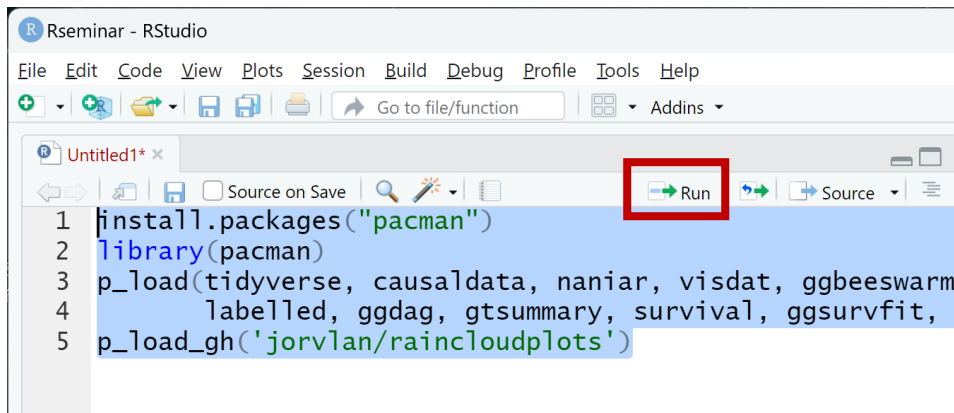
③ Rscript に下記のコードを貼り付けてください。

```
install.packages("pacman")
library(pacman)
p_load(tidyverse, causaldata, naniar, visdat, ggbeeswarm, GGally, lubridate,
       labelled, ggdag, gtsummary, survival, ggsurvfit, WeightIt, cobalt, broom)
p_load_gh("jorvlan/raincloudplots")
```

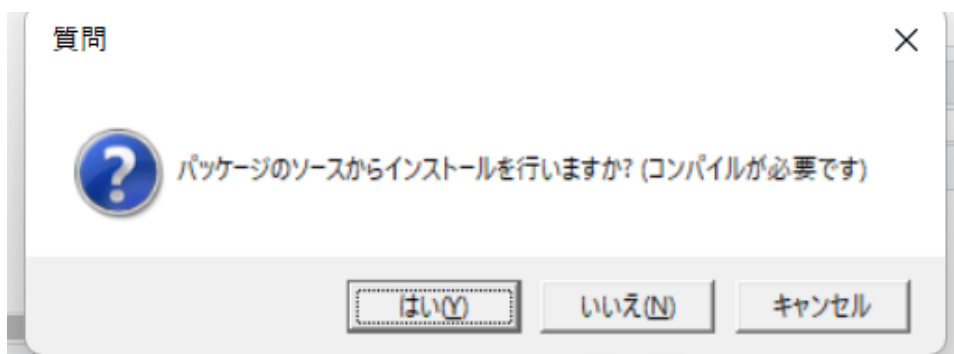


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ④ 1 から 5 行目を選択し、Run をクリックしてください。
補足) キーボードの Ctrl と Enter の同時押しでも動きます。
この操作によりパッケージのインストールが始まります (Console に進捗が表示)。

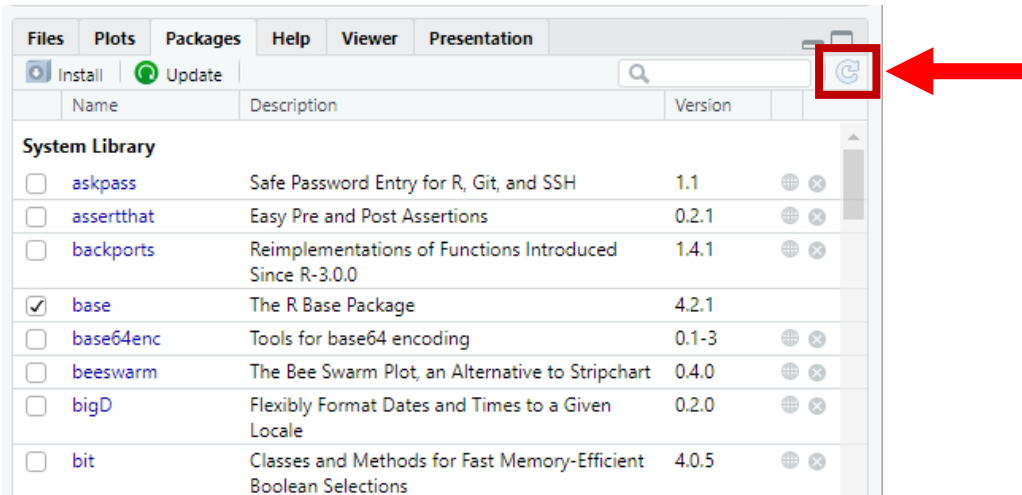


- ⑤ 下記画面が表示されたら「はい」を選択してください。
しばらくインストールに時間を要します。
Console が止まるまで待ちます。

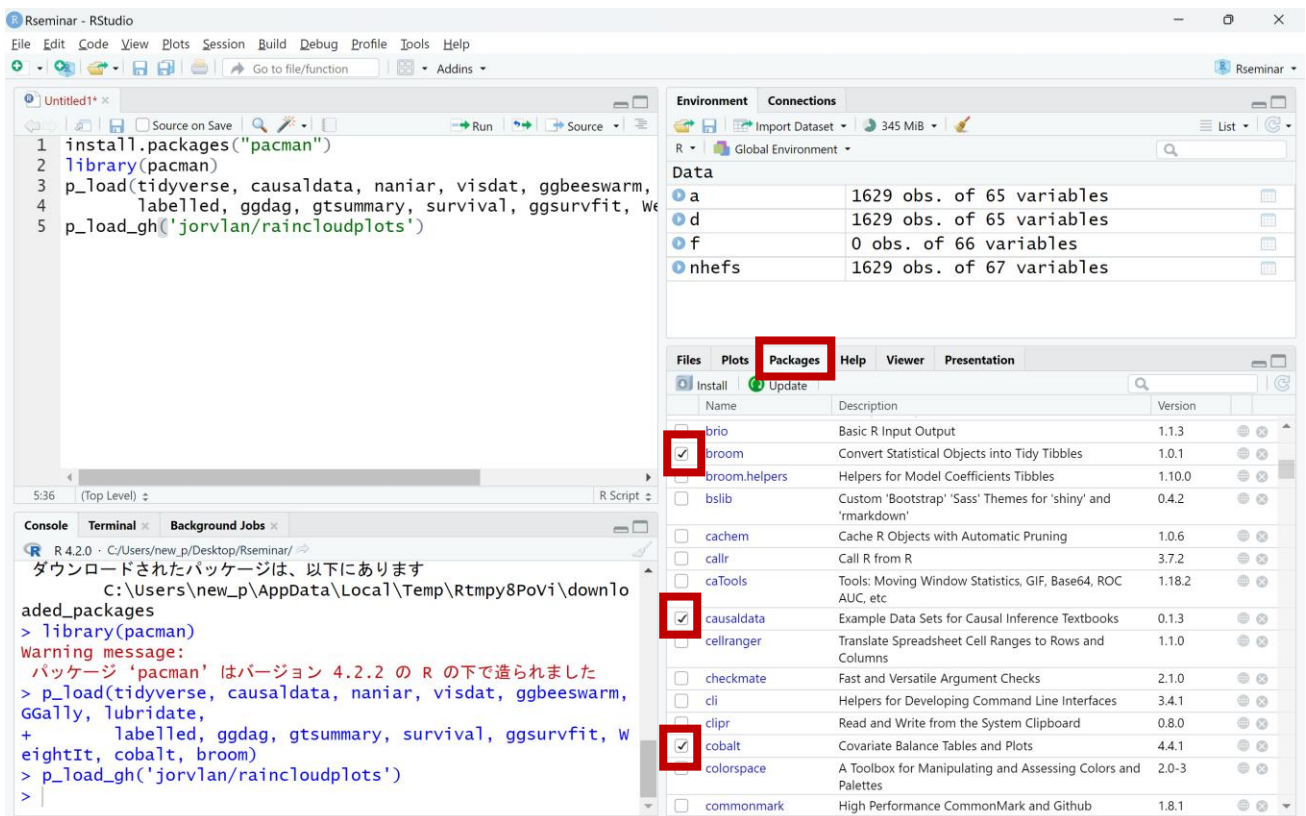


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

- ⑤ パッケージがインストールされていることを確認します。
右にあるリフレッシュボタンをクリックしてください。



- ⑥ 右下の Package をクリックしインストールしたパッケージに✓があることを確認します。

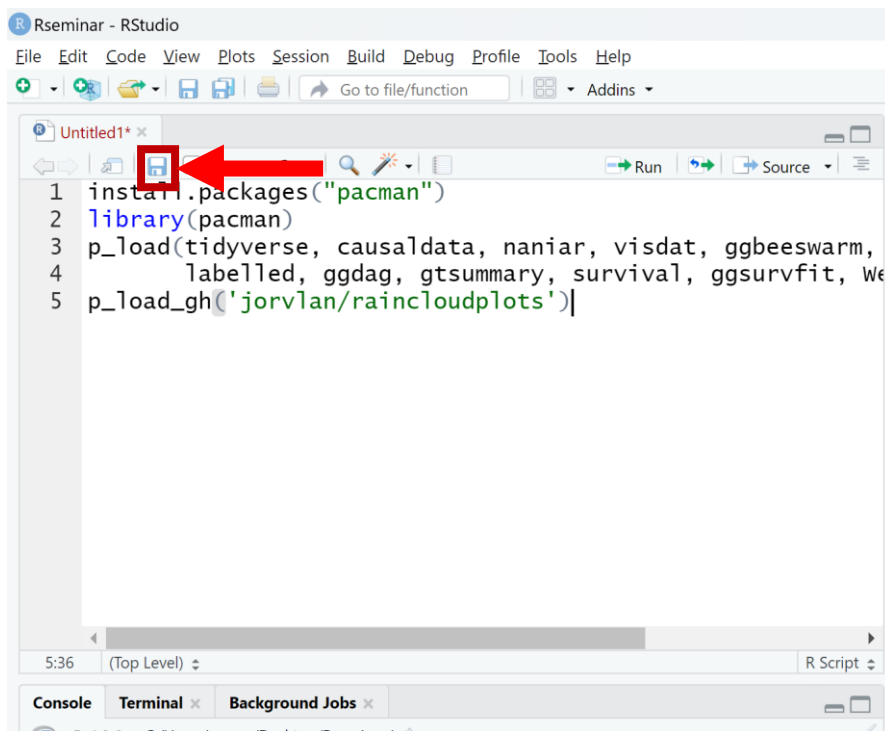


下記 16 種類のパッケージに✓があれば成功です。

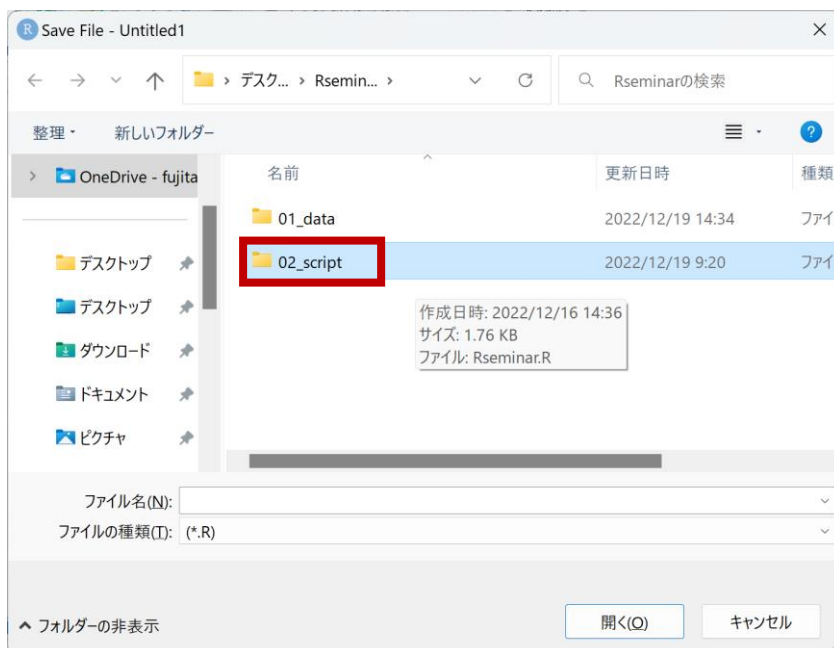
tidyverse	causaldata	naniar	visdat	ggbeeswarm	GGally
lubridate	labelled	ggdag	gtsummary	survival	ggsurvfit
WeightIt	cobalt	broom	raincloudplots		

8. Rscript の保存

- ① フロッピーマークをクリックします。

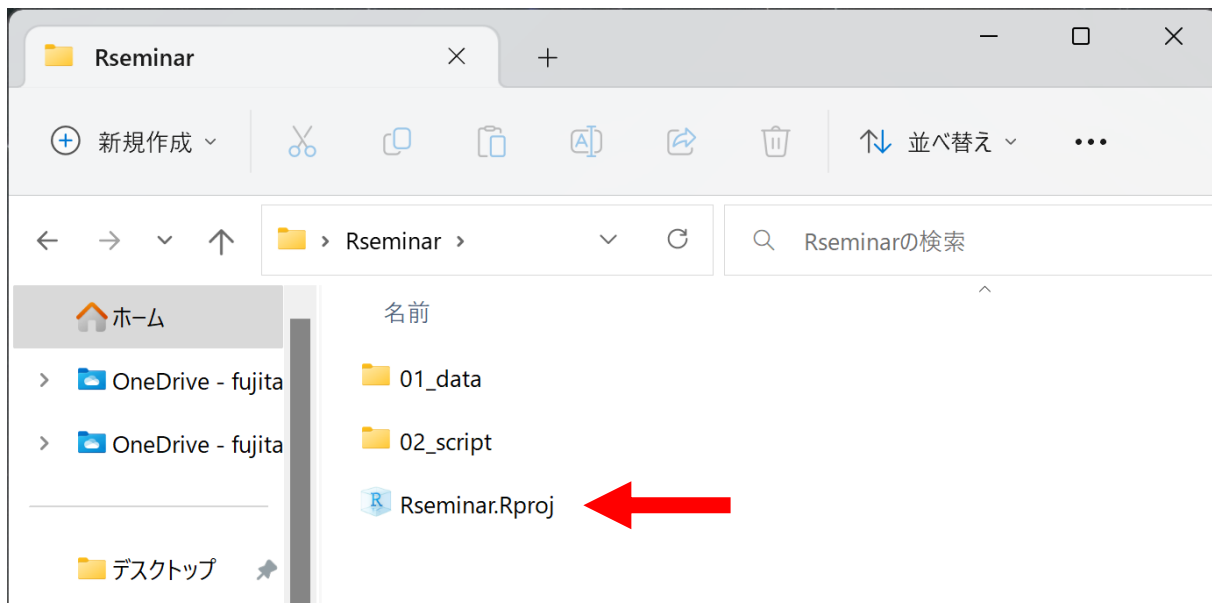


- ② 「Rseminar」とファイル名をつけて、「02_script」フォルダに保存してください。
保存が完了したら RStudio を閉じて大丈夫です。

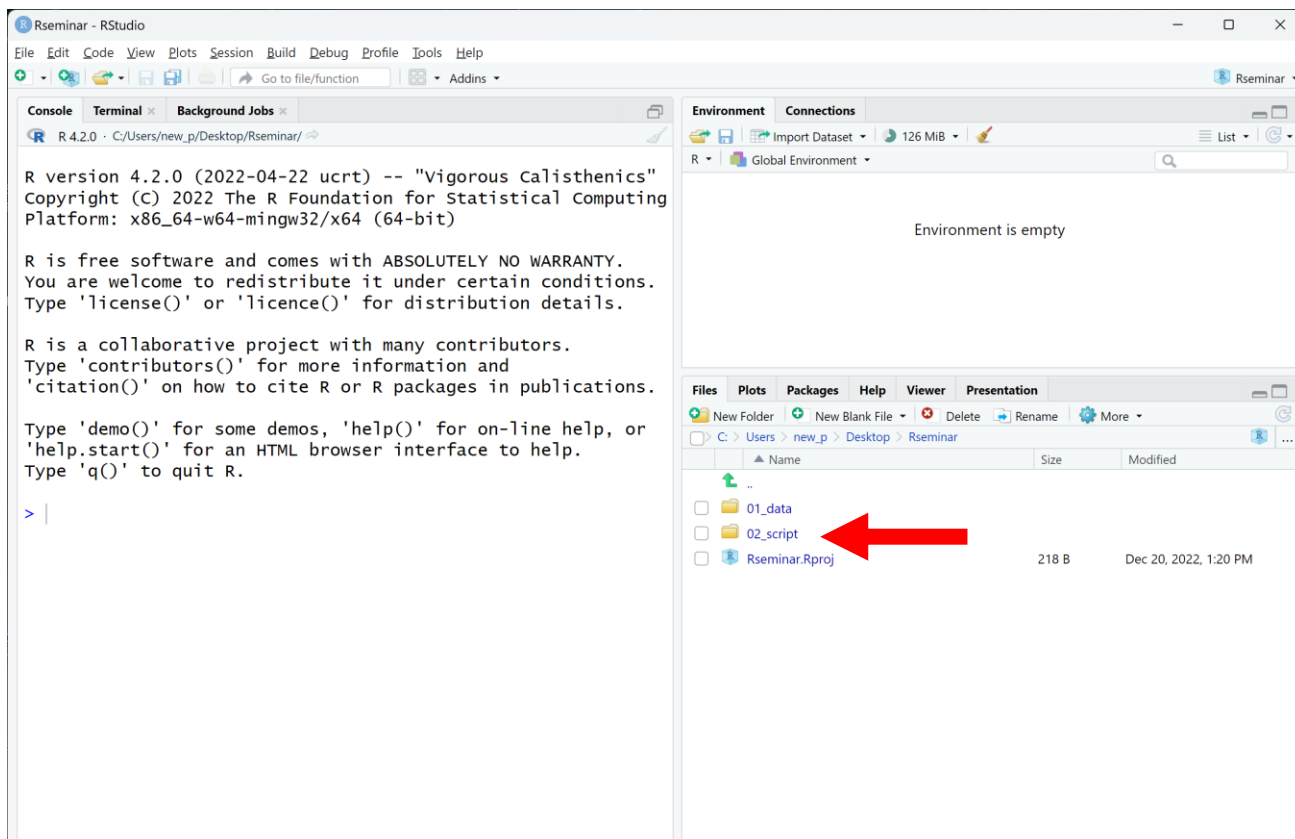


9. R プロジェクトと Rscript の起動

① Rseminar フォルダ内の「Rseminar.Rproj」をクリックします。

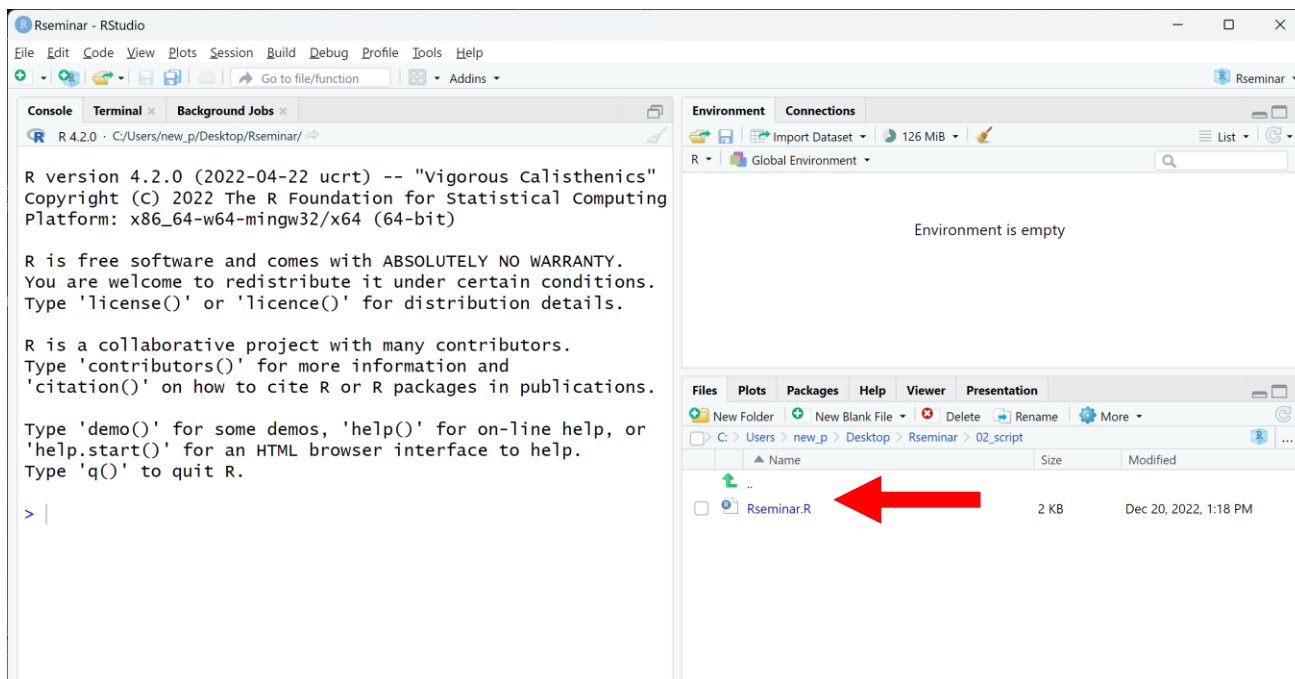


② RStudio が開いたら右下の「02_script」フォルダをクリックします。

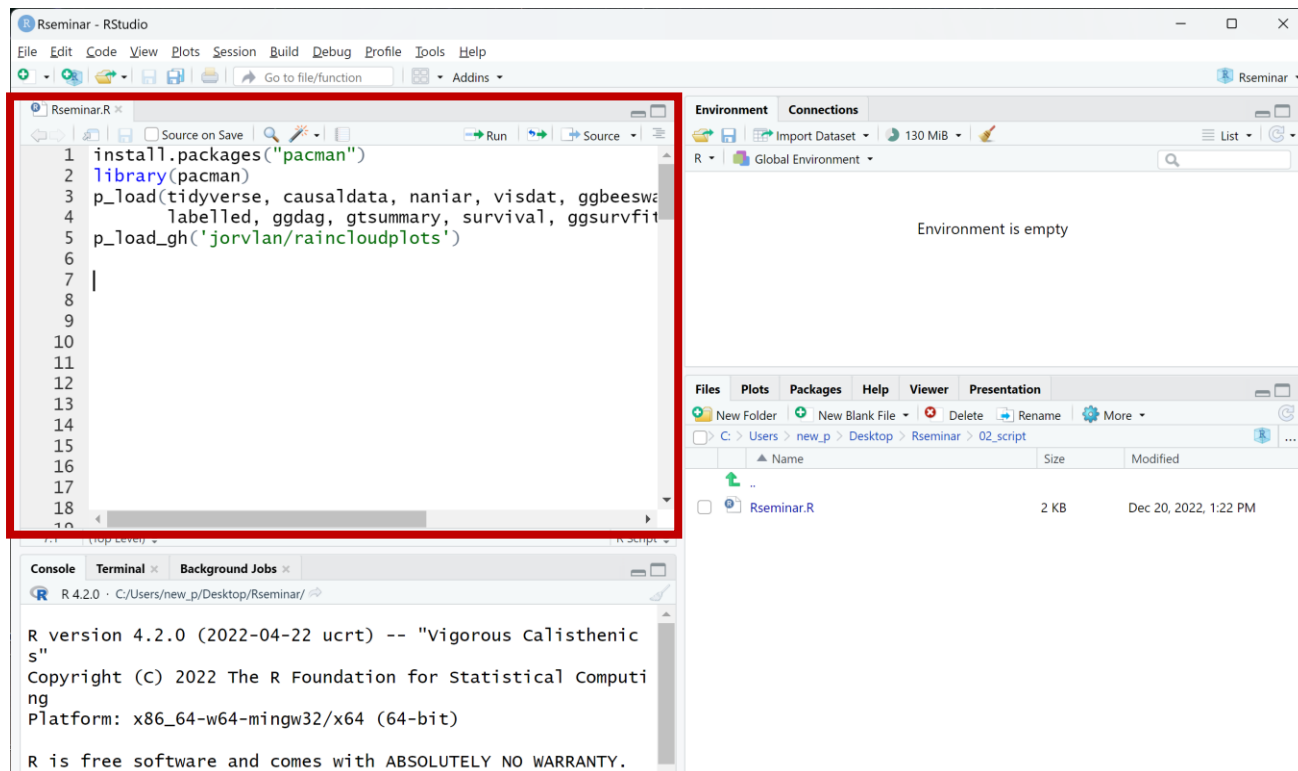


R と RStudio のインストール手順 ～Windows 版～

③ 「Rseminar.R」 ファイルをクリックします。



④ 「8. Rscript の保存」で保存したスクリプトファイルが開きます。



Mac版のインストール手順

1. Rのインストール

2. RStudioのインストール

3. 動作確認

4. 環境設定（ペインレイアウト）

5. Rプロジェクトの作成

6. パッケージのインストール

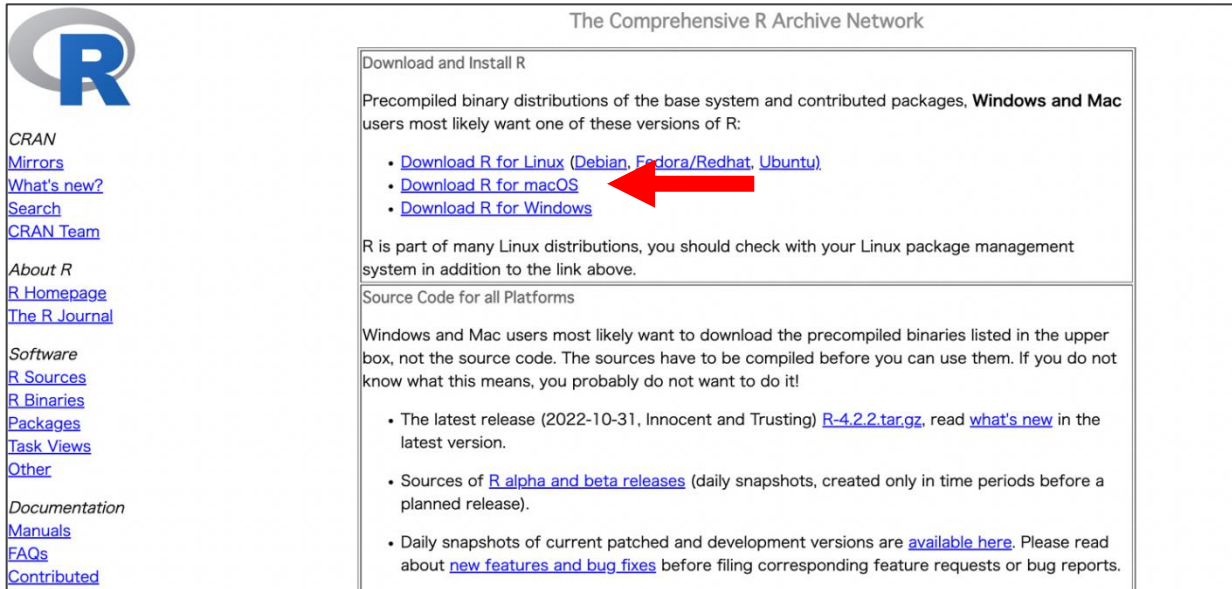
7. Rscriptの保存

8. RプロジェクトとRscriptの起動

R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

1. R のインストール

- ① ダウンロードサイトへアクセスする (<https://cran.ism.ac.jp/>)。
- ② 「Download R for macOS」をクリックする。



The Comprehensive R Archive Network

Download and Install R

Precompiled binary distributions of the base system and contributed packages, **Windows and Mac** users most likely want one of these versions of R:

- [Download R for Linux \(Debian, Fedora/Redhat, Ubuntu\)](#)
- [Download R for macOS](#)
- [Download R for Windows](#)

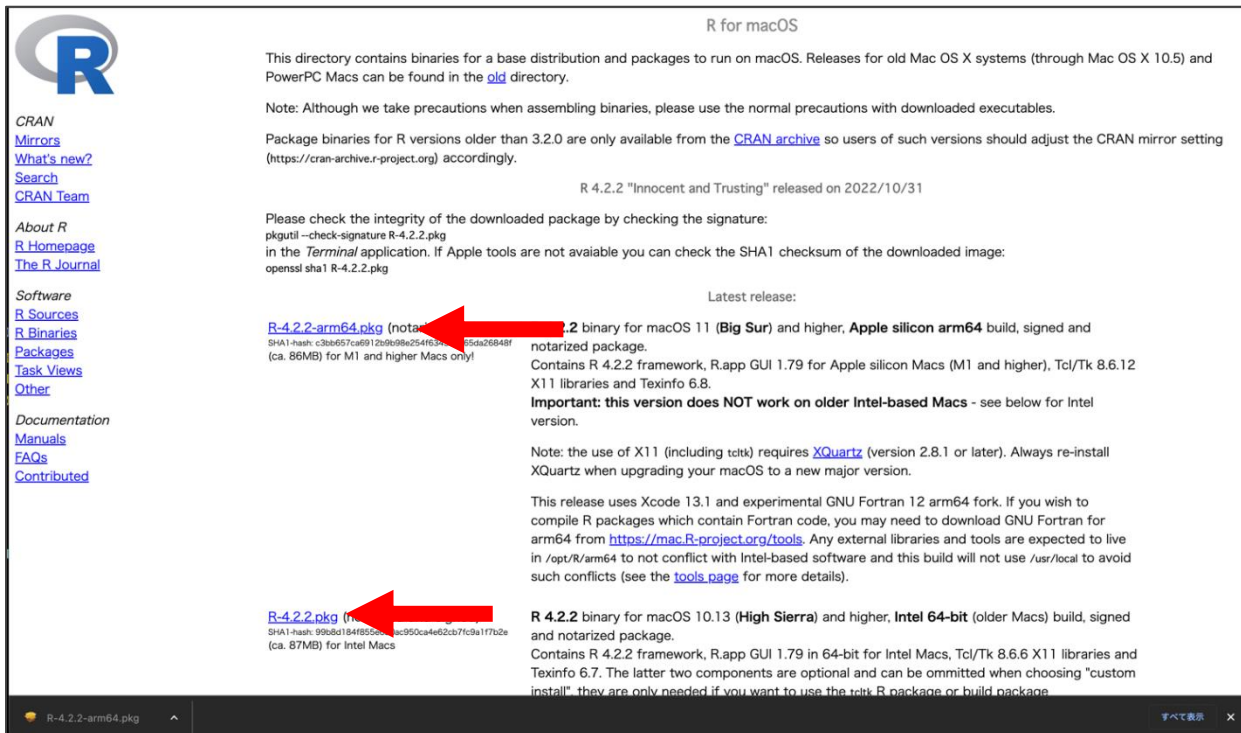
R is part of many Linux distributions, you should check with your Linux package management system in addition to the link above.

Source Code for all Platforms

Windows and Mac users most likely want to download the precompiled binaries listed in the upper box, not the source code. The sources have to be compiled before you can use them. If you do not know what this means, you probably do not want to do it!

- The latest release (2022-10-31, Innocent and Trusting) [R-4.2.2.tar.gz](#), read [what's new](#) in the latest version.
- Sources of [R alpha and beta releases](#) (daily snapshots, created only in time periods before a planned release).
- Daily snapshots of current patched and development versions are [available here](#). Please read about [new features and bug fixes](#) before filing corresponding feature requests or bug reports.

- ③ 「[R-4.2.2-arm64.pkg](#)」(M1 以上の方) または 「[R-4.2.2.pkg](#)」(Intel の方) をクリック (2022 年 11 月 15 日時点) する。クリックするとインストーラー ([R-4.2.2-arm64.pkg](#) または [R-4.2.2.pkg](#)) がダウンロードされます (画面左下)。
「4.2.2」は R のバージョン番号であり、随時更新されています。



R for macOS

This directory contains binaries for a base distribution and packages to run on macOS. Releases for old Mac OS X systems (through Mac OS X 10.5) and PowerPC Macs can be found in the [old](#) directory.

Note: Although we take precautions when assembling binaries, please use the normal precautions with downloaded executables.

Package binaries for R versions older than 3.2.0 are only available from the [CRAN archive](#) so users of such versions should adjust the CRAN mirror setting (<https://cran-archiver.r-project.org>) accordingly.

R 4.2.2 "Innocent and Trusting" released on 2022/10/31

Please check the integrity of the downloaded package by checking the signature:
pkgutil --check-signature R-4.2.2.pkg
in the *Terminal* application. If Apple tools are not available you can check the SHA1 checksum of the downloaded image:
openssl sha1 R-4.2.2.pkg

Latest release:

[R-4.2.2-arm64.pkg](#) (notarized package)
SHA1-hash: c3bb657ca6912e9f98e254f639f85da26848f
(ca. 86MB) for M1 and higher Macs only!

R 4.2.2 binary for macOS 11 (Big Sur) and higher, Apple silicon arm64 build, signed and notarized package.
Contains R 4.2.2 framework, R.app GUI 1.79 for Apple silicon Macs (M1 and higher), Tcl/Tk 8.6.12 X11 libraries and Texinfo 6.8.
Important: this version does NOT work on older Intel-based Macs - see below for Intel version.

Note: the use of X11 (including tcltk) requires [XQuartz](#) (version 2.8.1 or later). Always re-install XQuartz when upgrading your macOS to a new major version.

This release uses Xcode 13.1 and experimental GNU Fortran 12 arm64 fork. If you wish to compile R packages which contain Fortran code, you may need to download GNU Fortran for arm64 from <https://mac.R-project.org/tools>. Any external libraries and tools are expected to live in `/opt/R/arm64` to not conflict with Intel-based software and this build will not use `/usr/local` to avoid such conflicts (see the [tools page](#) for more details).

[R-4.2.2.pkg](#) (notarized package)
SHA1-hash: 99f6bd184f85555c949590ca4e62cb7fcb117b2e
(ca. 87MB) for Intel Macs

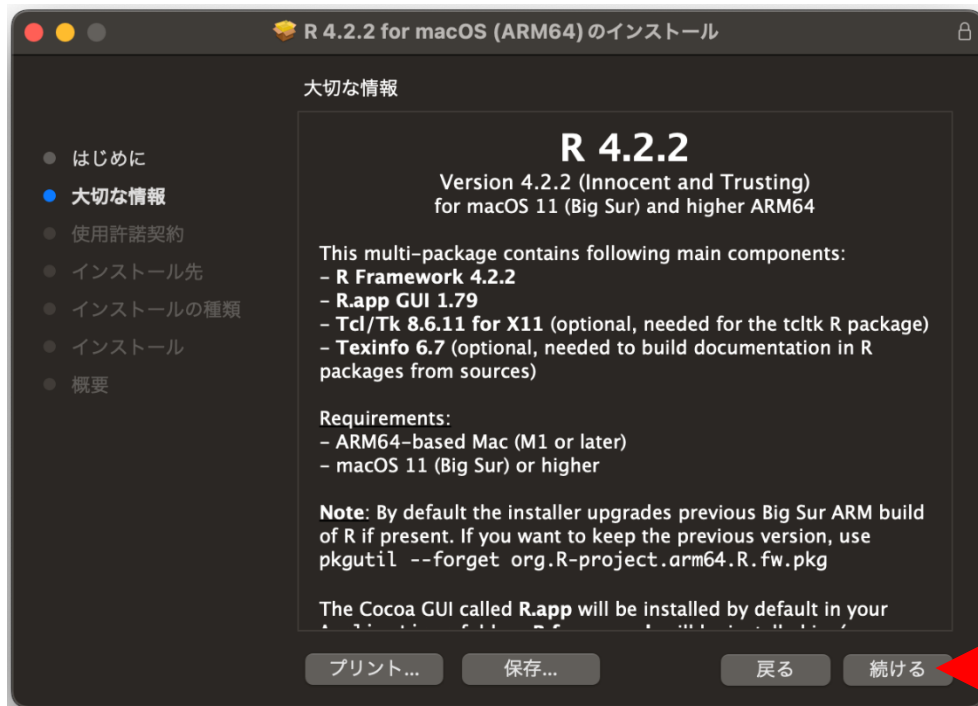
R 4.2.2 binary for macOS 10.13 (High Sierra) and higher, Intel 64-bit (older Macs) build, signed and notarized package.
Contains R 4.2.2 framework, R.app GUI 1.79 in 64-bit for Intel Macs, Tcl/Tk 8.6.6 X11 libraries and Texinfo 6.7. The latter two components are optional and can be omitted when choosing "custom install", they are only needed if you want to use the tcltk R package or build package.

R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

- ④ インストーラー（**R-4.2.2-arm64.pkg**）を起動し指示に従って進めます。
【はじめに】「**続ける**」をクリックする。

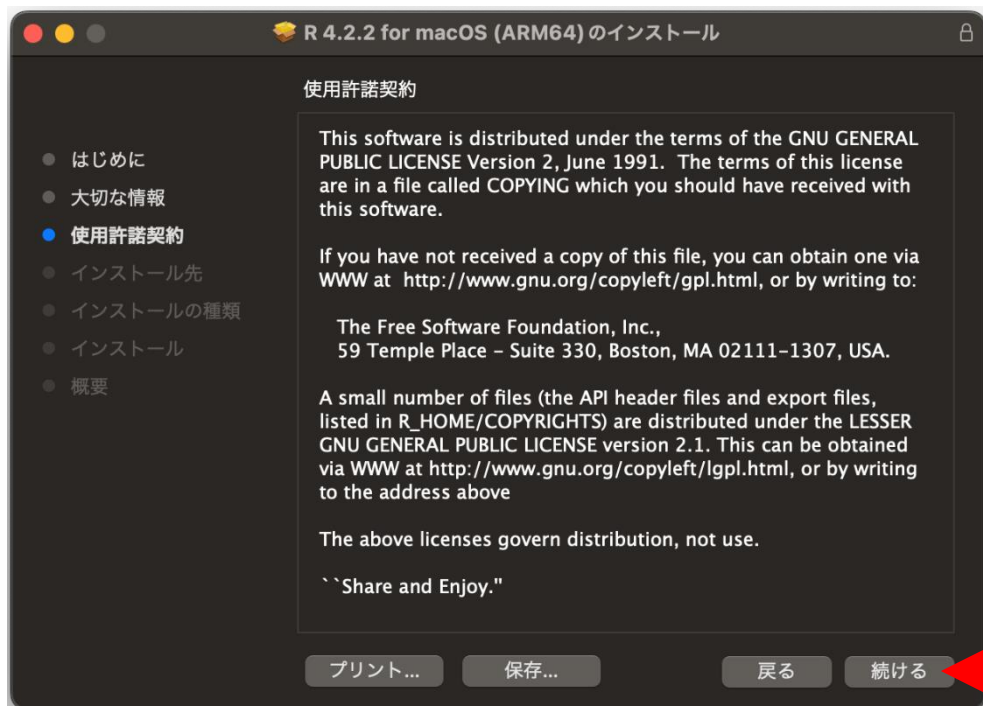


- ⑤ 【大切な情報】「**続ける**」をクリックする。

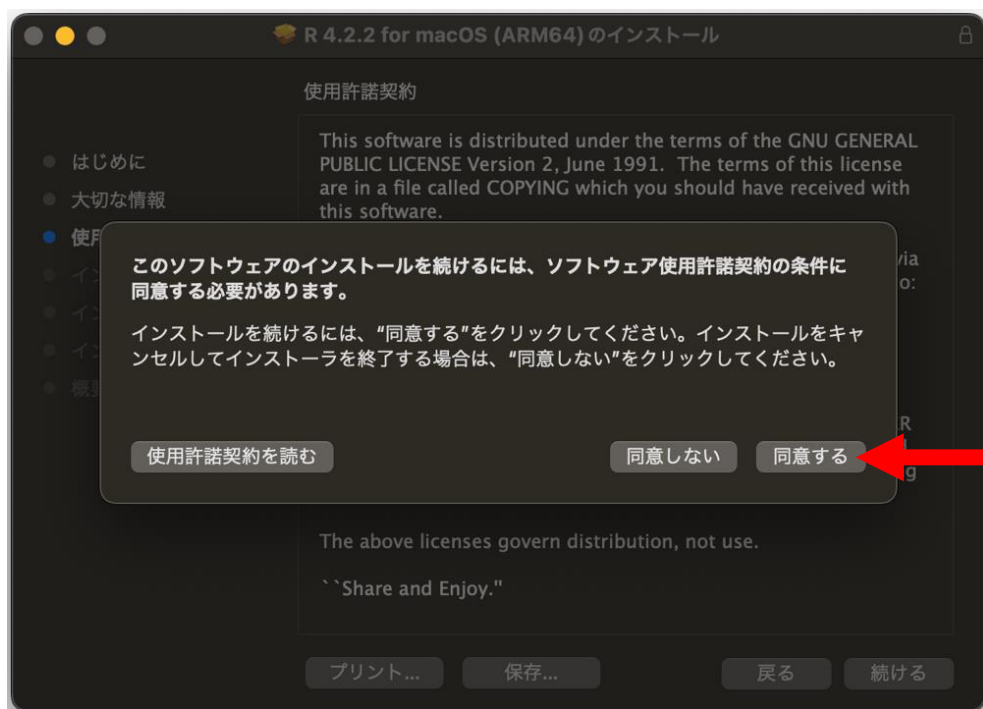


RとRStudioのインストール手順 ～Mac版～

- ⑥ 【使用許諾契約】「続ける」をクリックする。

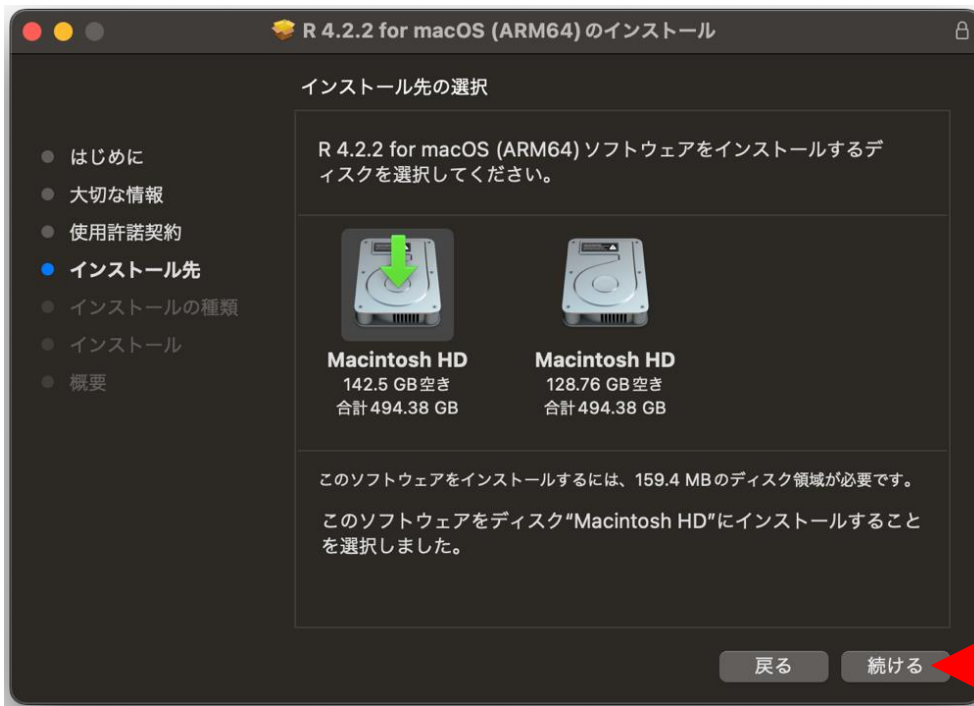


- ⑦ 【使用許諾契約】「同意する」をクリックする。
(同意しなければRが利用できませんのでご注意を)



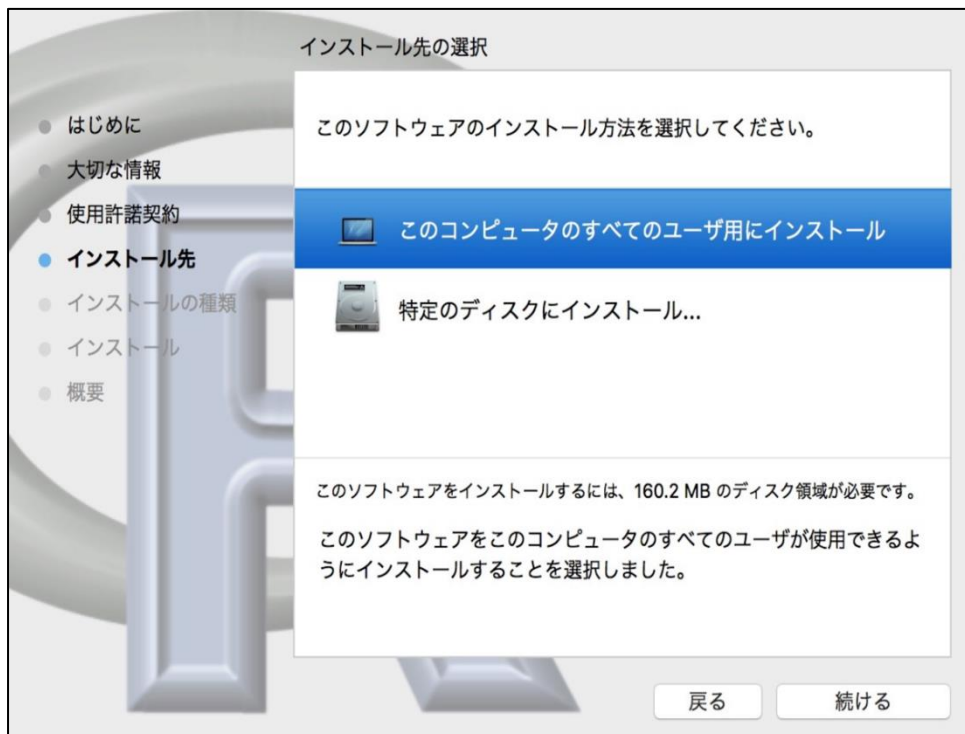
R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

⑧ 【インストール先】 インストール先を選択し「続ける」をクリックする。



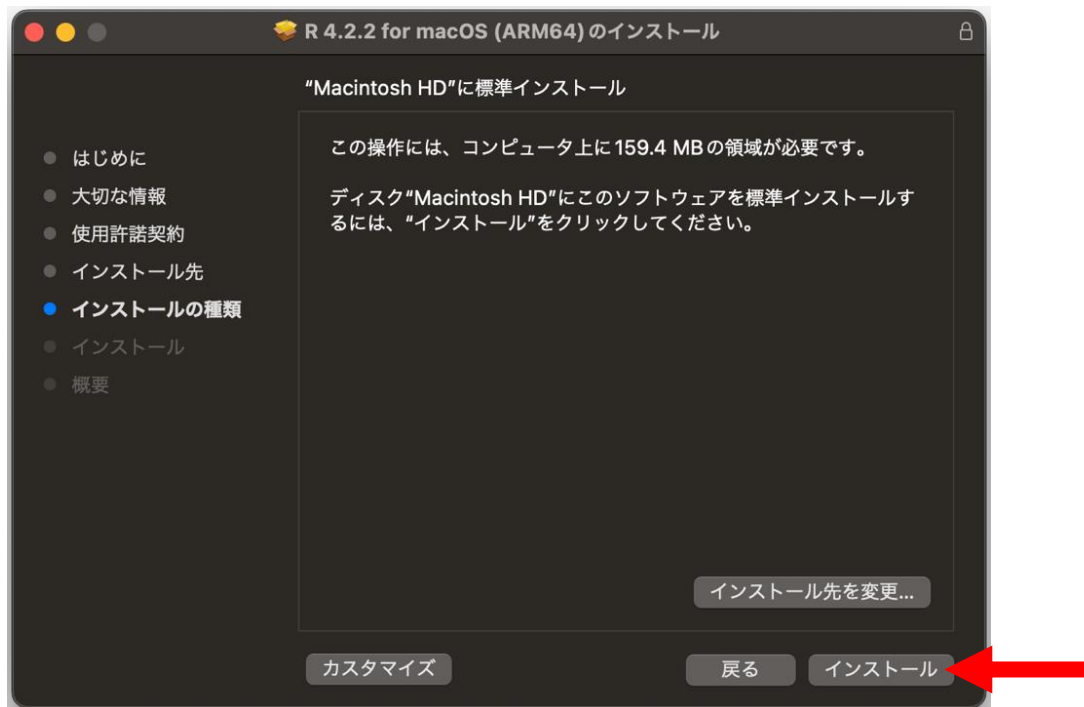
補足) 下図のように表示される方もいます。

すべてのユーザー用を選択しても問題ありません。

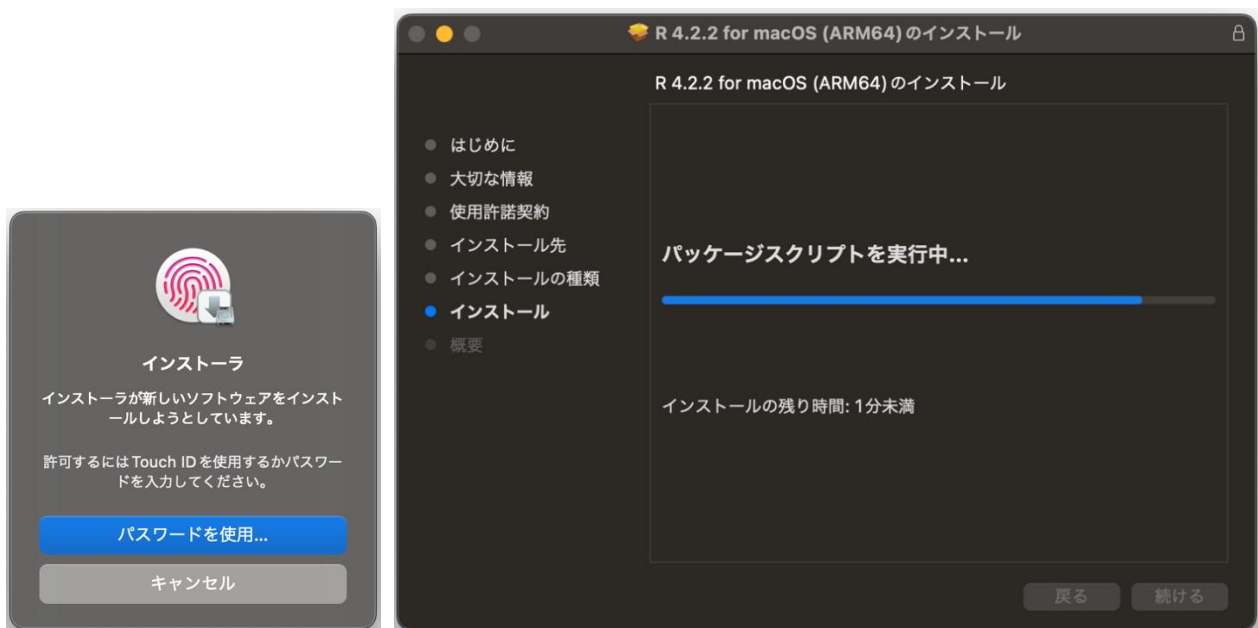


R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

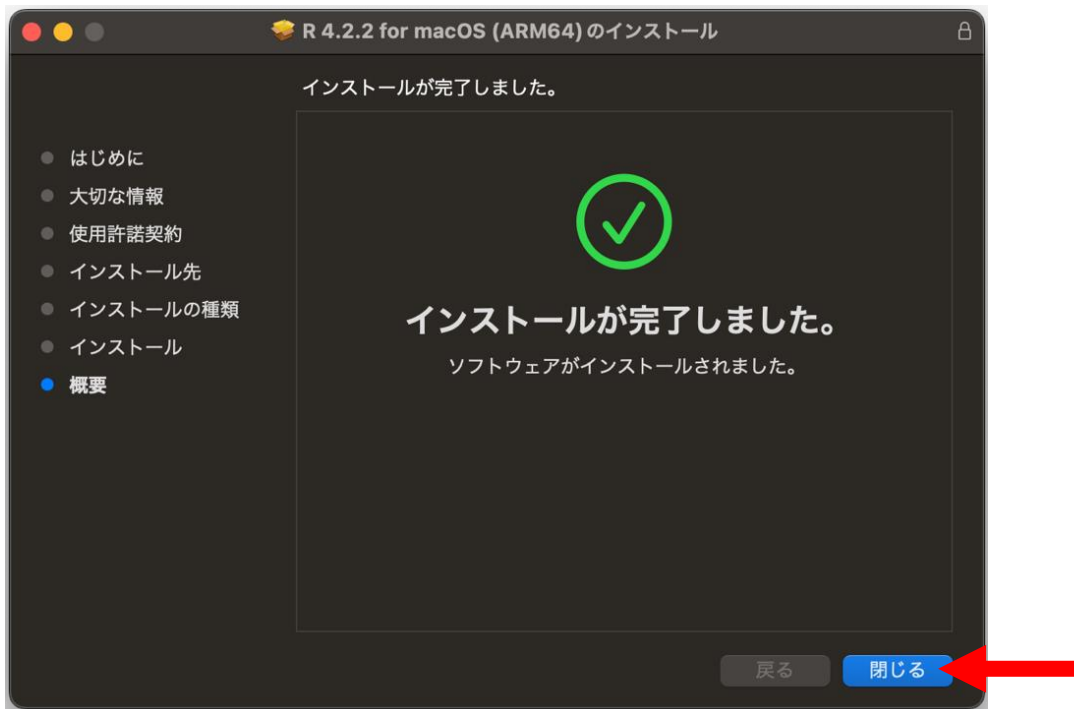
- ⑨ 【インストールの種類】「インストール」をクリックする。



- ⑩ Touch ID またはパスワードを入力するとインストールがスタートします。終了まで待ちます。



⑪ 「閉じる」をクリックする。



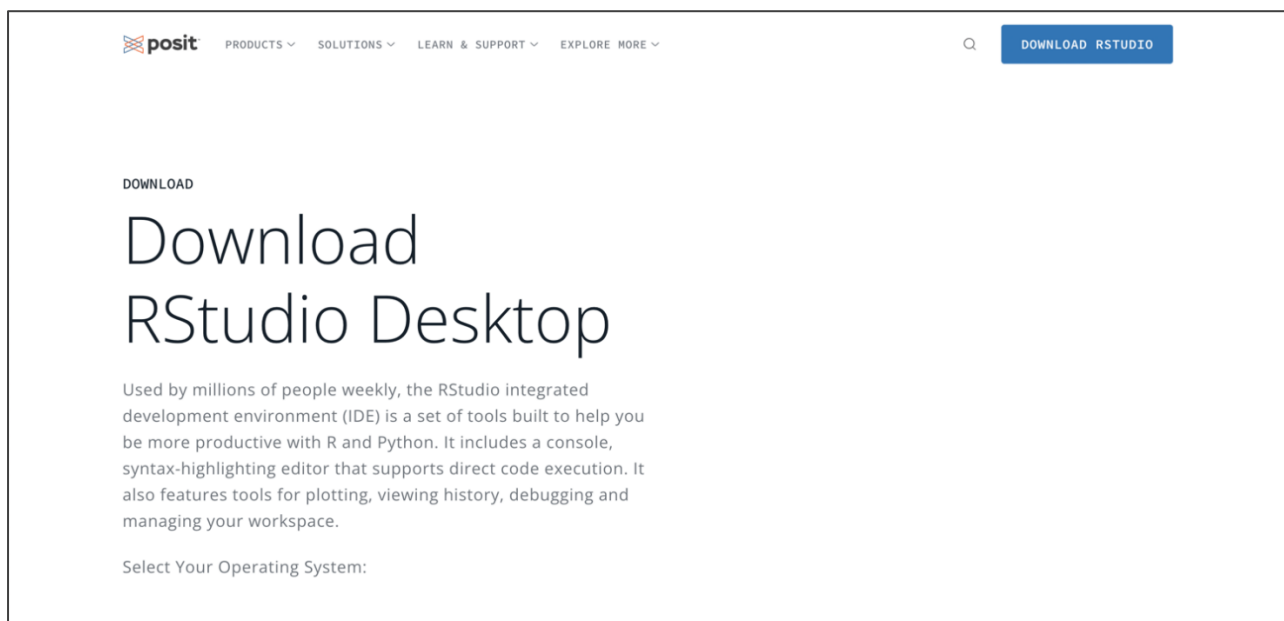
⑫ 「ゴミ箱に入れる」をクリックする。



R のインストールは完了です。

2. RStudio のインストール

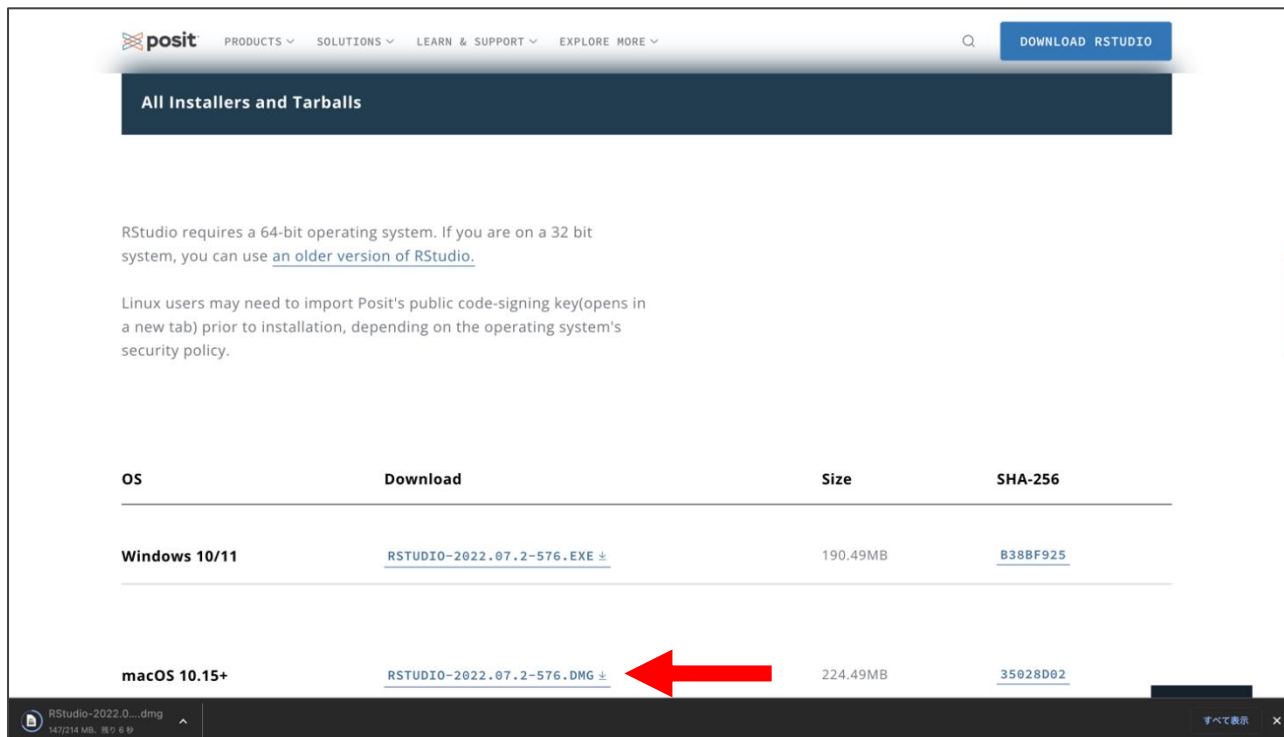
- ① ダウンロードサイトへアクセスする (<https://www.rstudio.com/products/rstudio/download/>)。



- ② 下にスクロールすると下記の画面が表示されます。

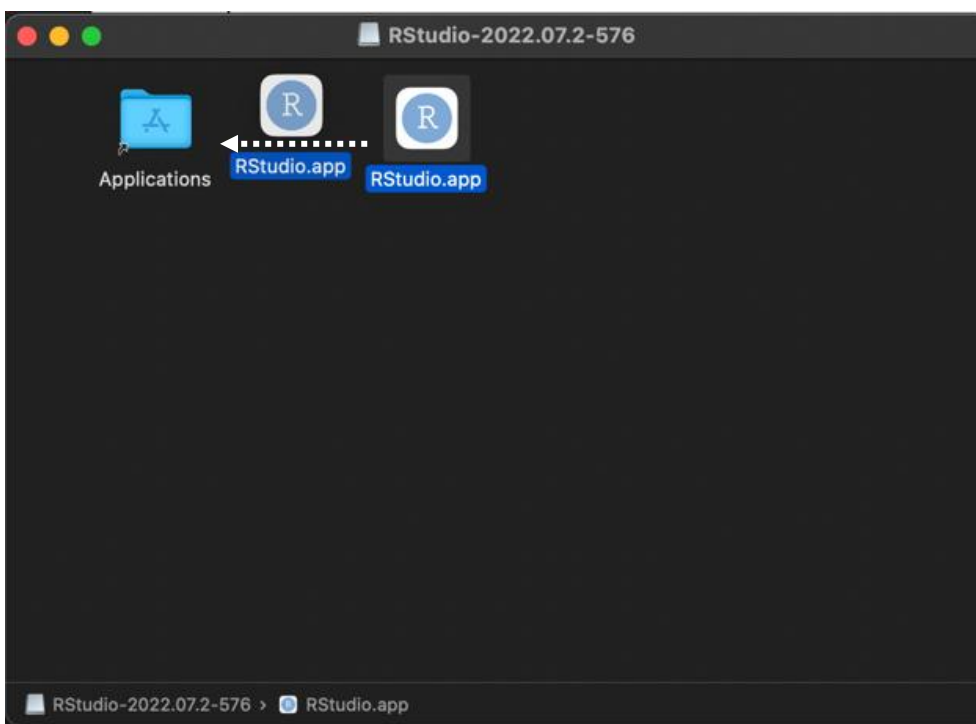
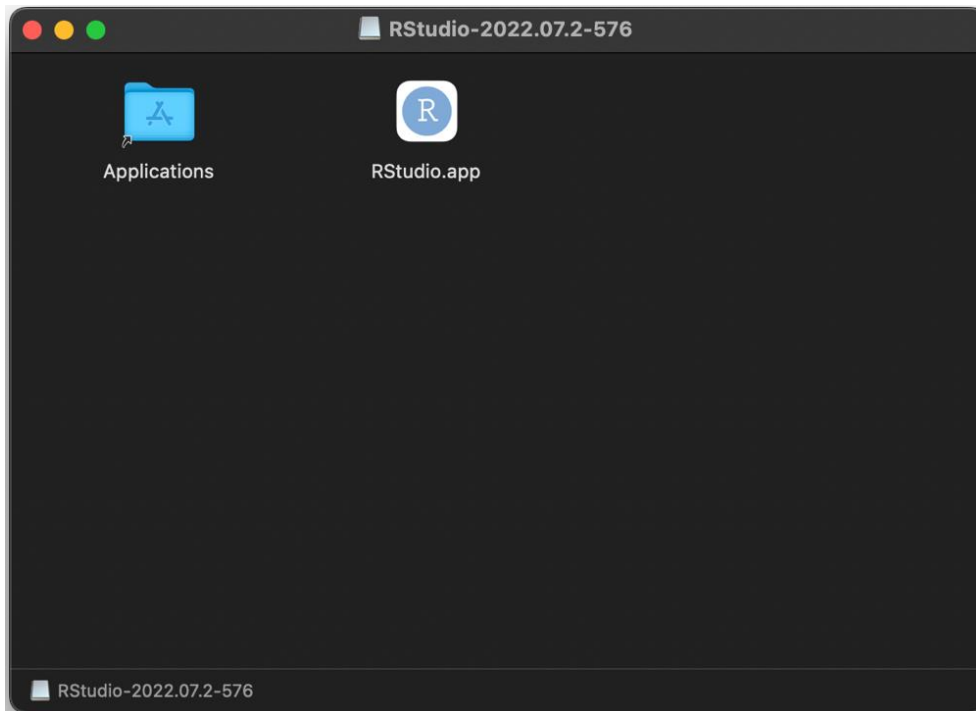
macOS 10.15+の「[RSTUDIO-2022.07.2-576.DMG](#)」をクリックする。

インストーラー (RSTUDIO-2022.07.2-576.DMG) がダウンロードされます (画面左下)。



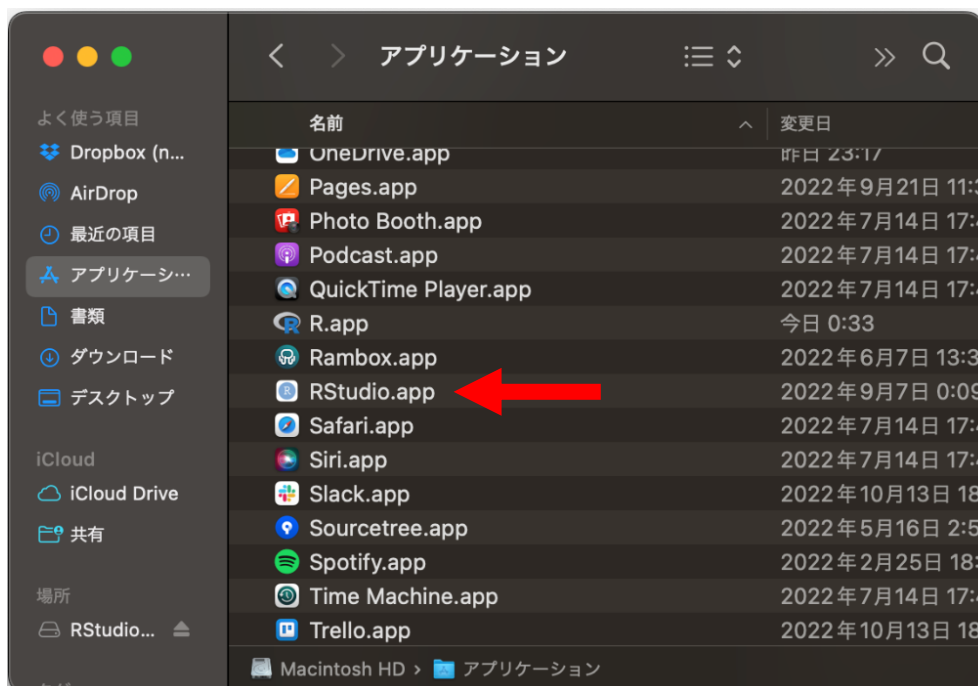
R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

- ③ インストーラーを起動すると下記の画面が表示されますのでドラッグして **RStudio.app** を **Applications** に入れます。



3. 動作確認

① アプリケーションより RStudio を起動する。

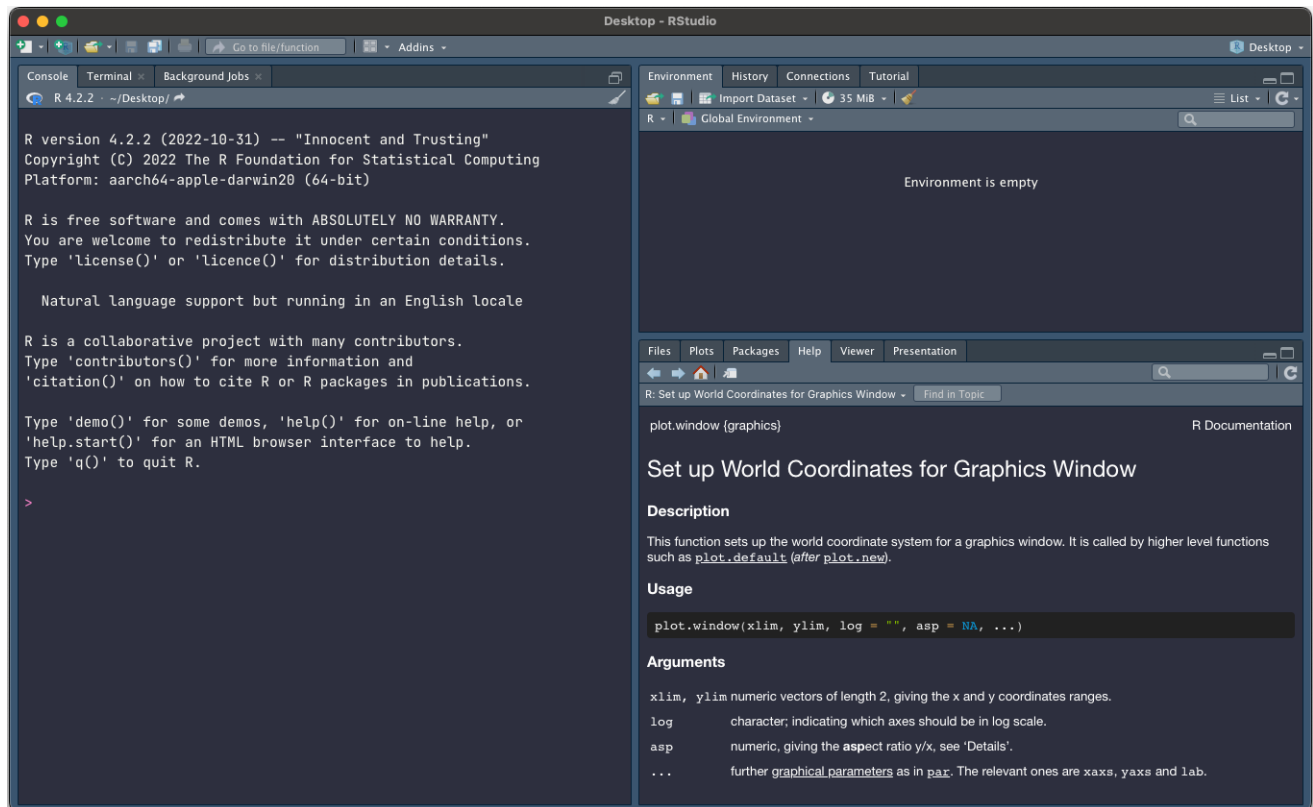


② 下記が表示されますので「開く」をクリックする。



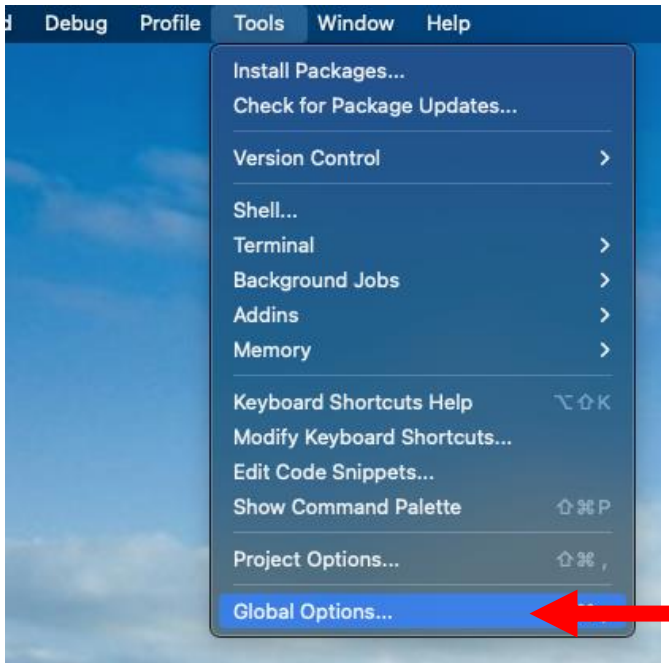
R と RStudio のインストール手順 ～Mac 版～

③ 下記と同じ画面を開くことができれば OK です。

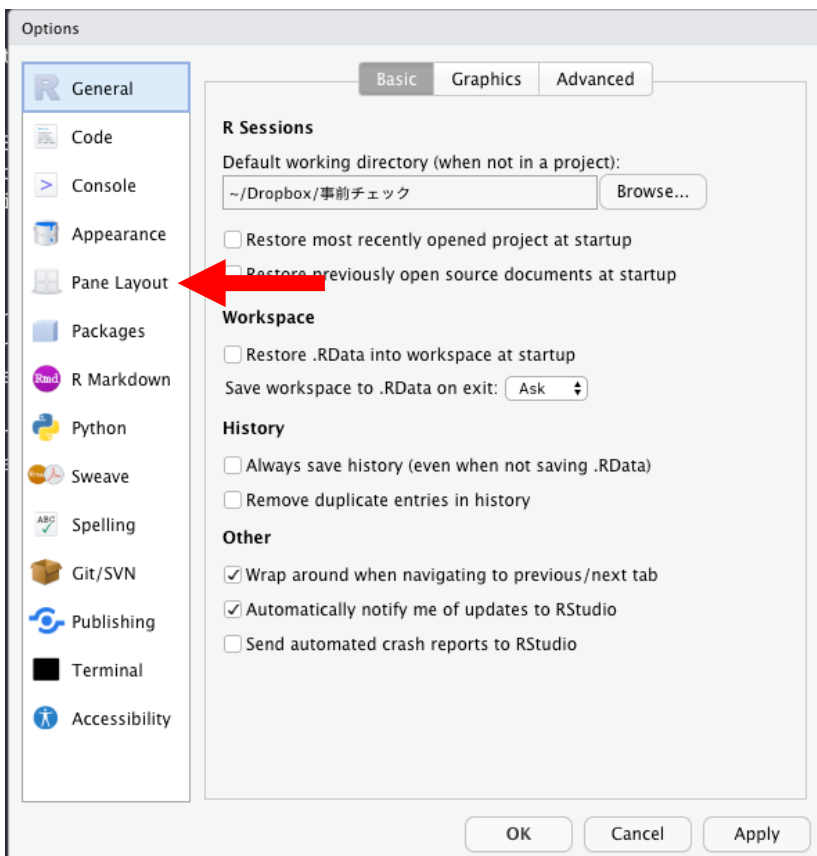


4. 環境設定（ペインレイアウト）

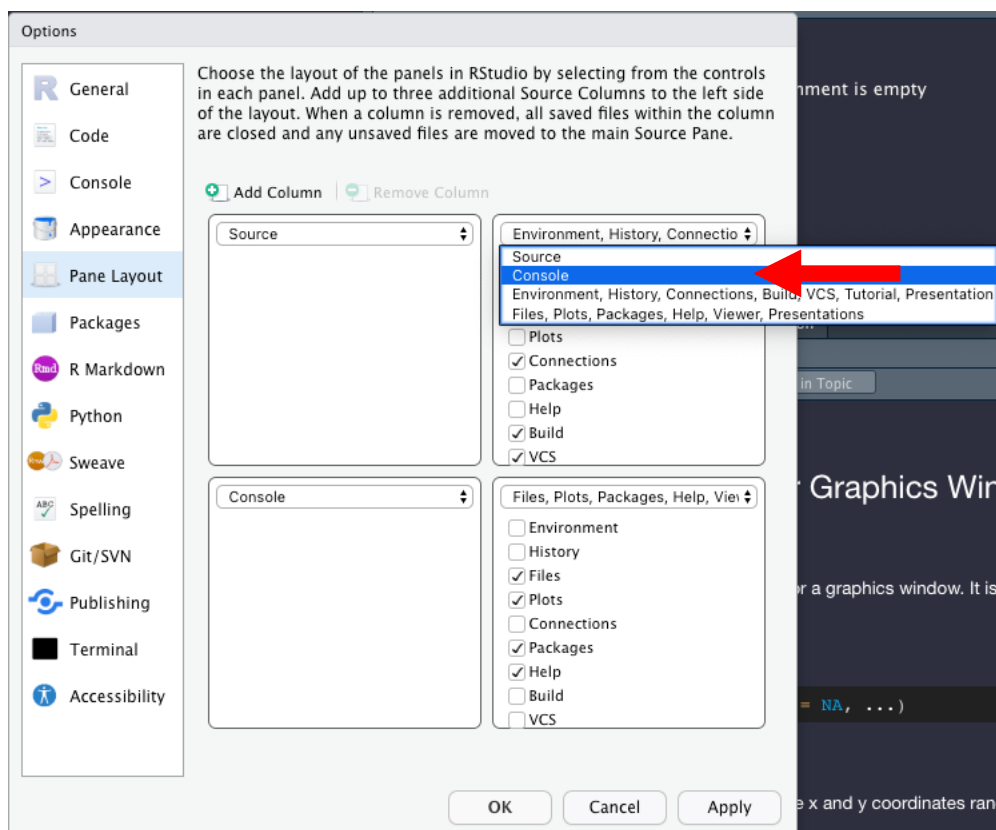
① 「Tools」の「Global Options...」をクリックします。



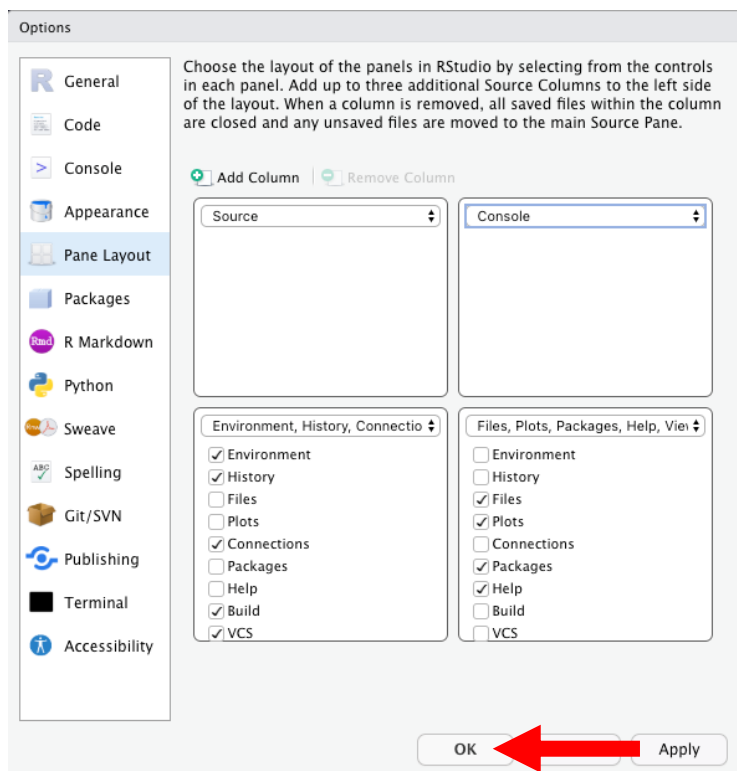
② 「Pane Layout」をクリックします。



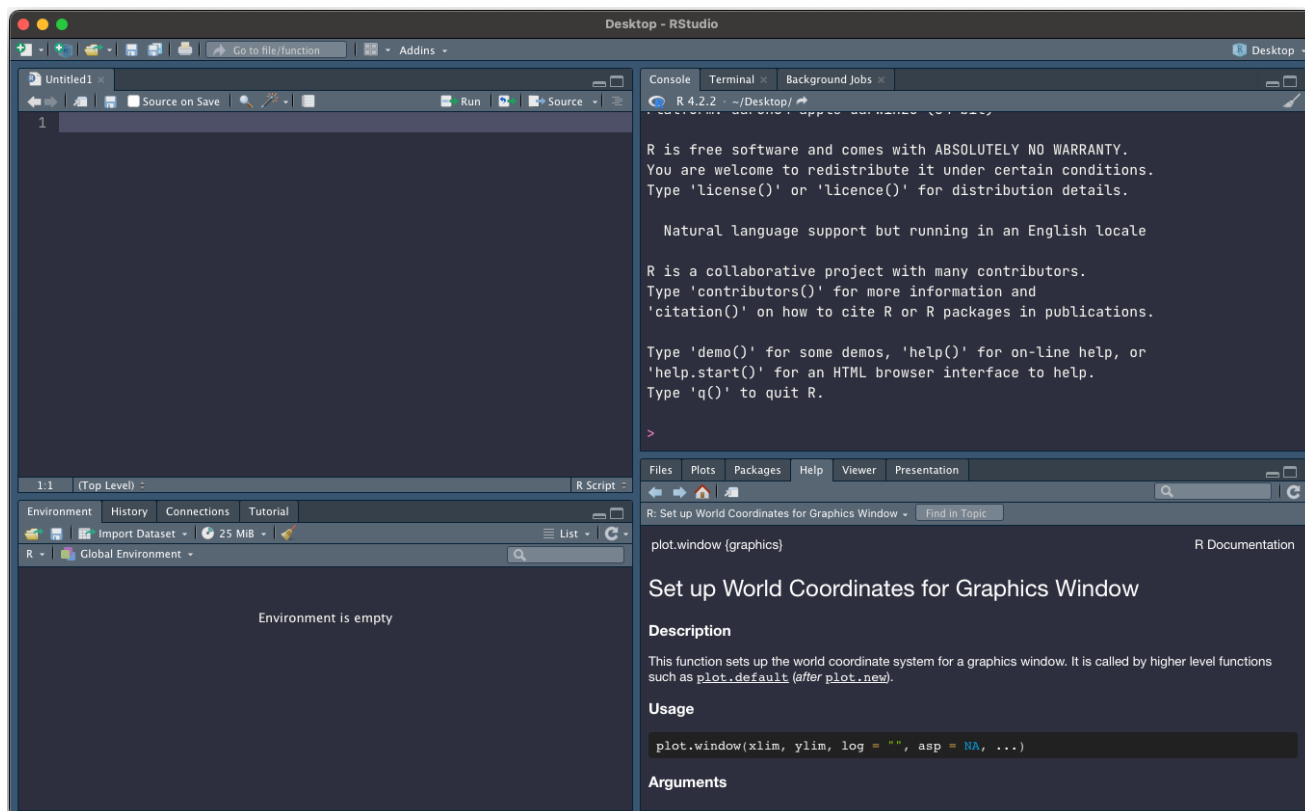
③ 右上のパネルを「Console」にしてください。



④ 右上を「Console」に変更すると、左下が自動的に「Environment, History…」に変更されます。「OK」をクリックしてください。



⑤ 以下の配置になっていれば OK です。

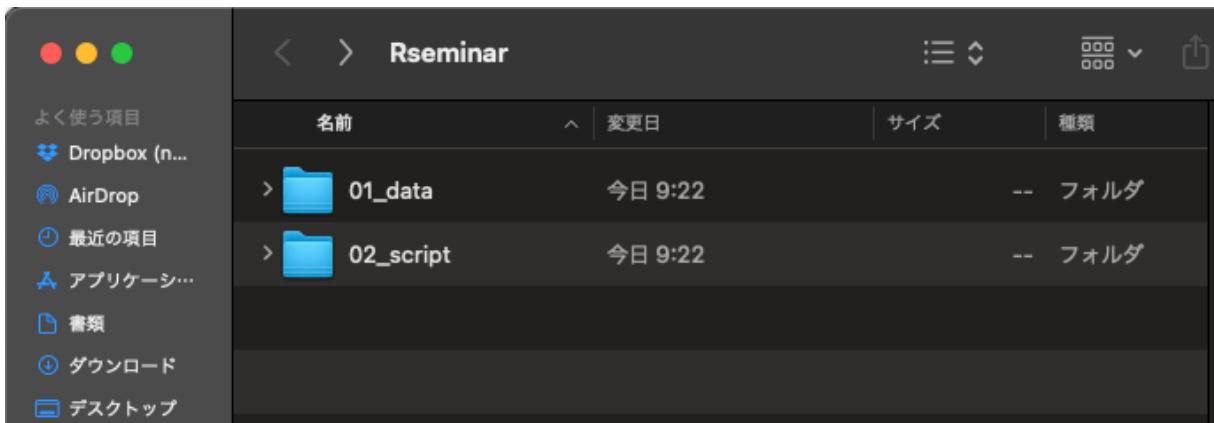


5. Rプロジェクトの作成

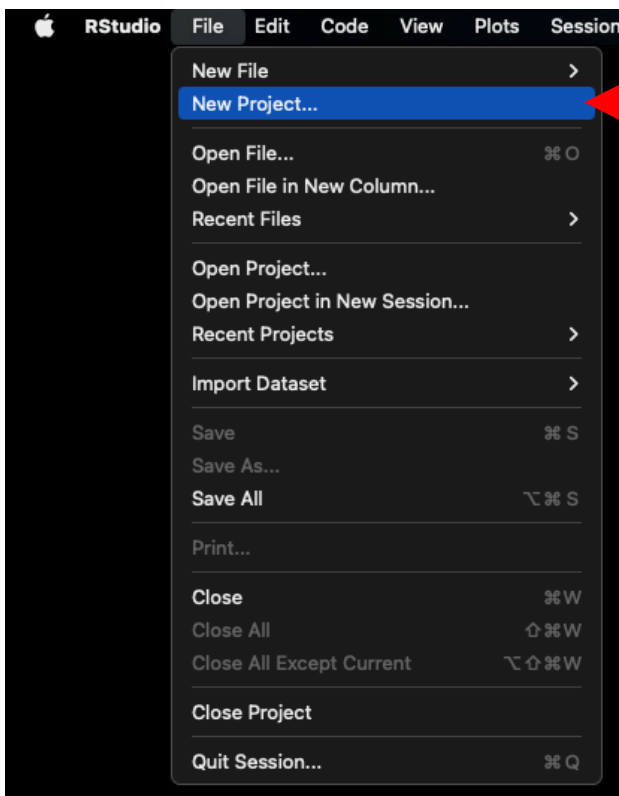
- ① デスクトップに本セミナー用に「Rseminar」フォルダを作成してください。



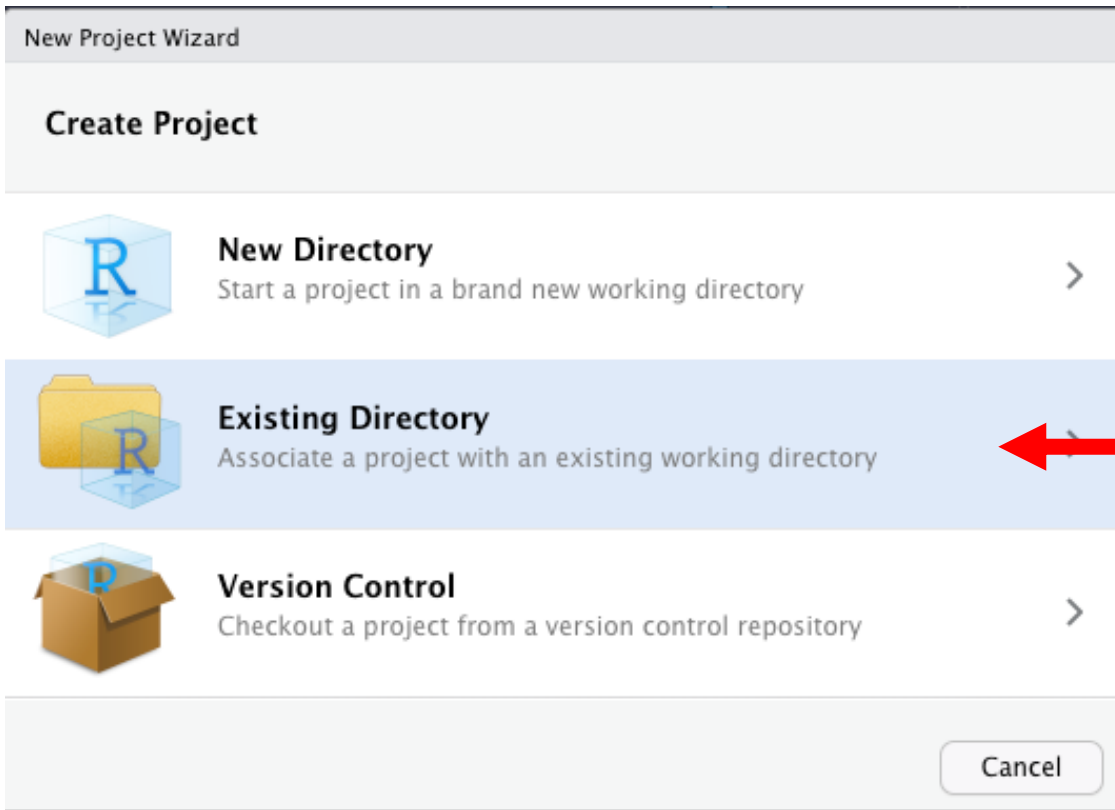
- ② ①で作成したフォルダの中に「01_data」フォルダと「02_script」フォルダを作成してください。



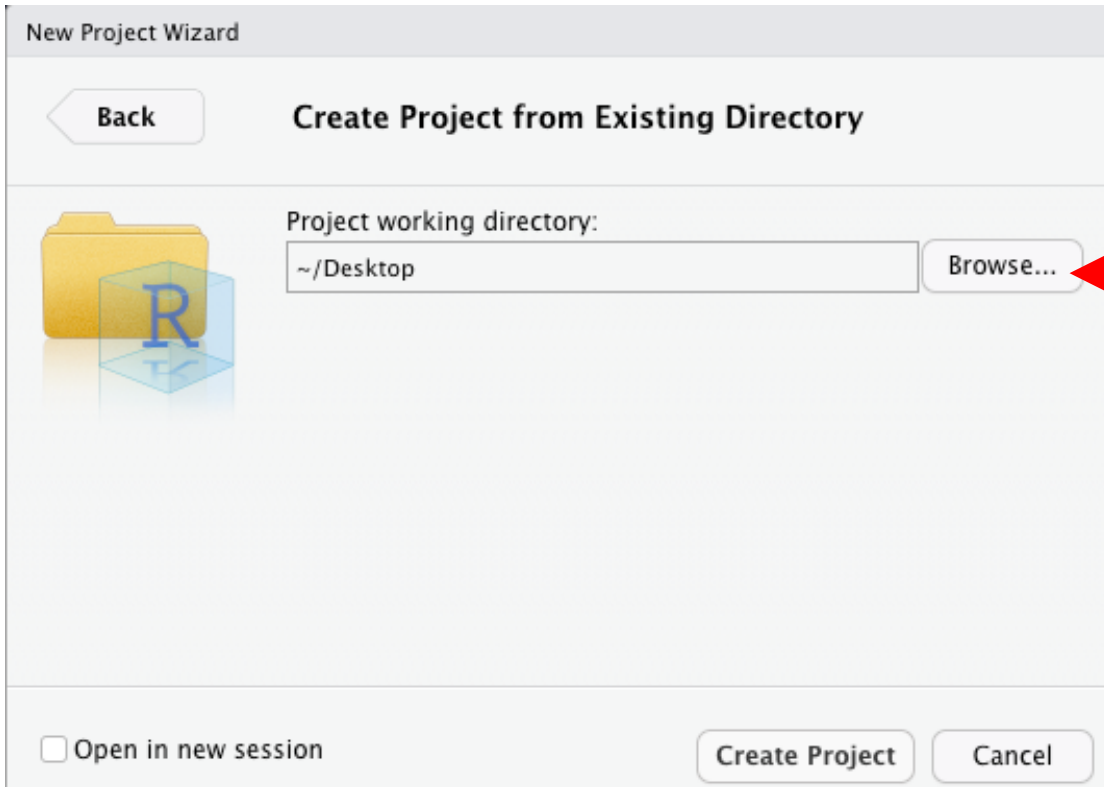
- ③ 「File」をクリックし、「New Project...」をクリックする。



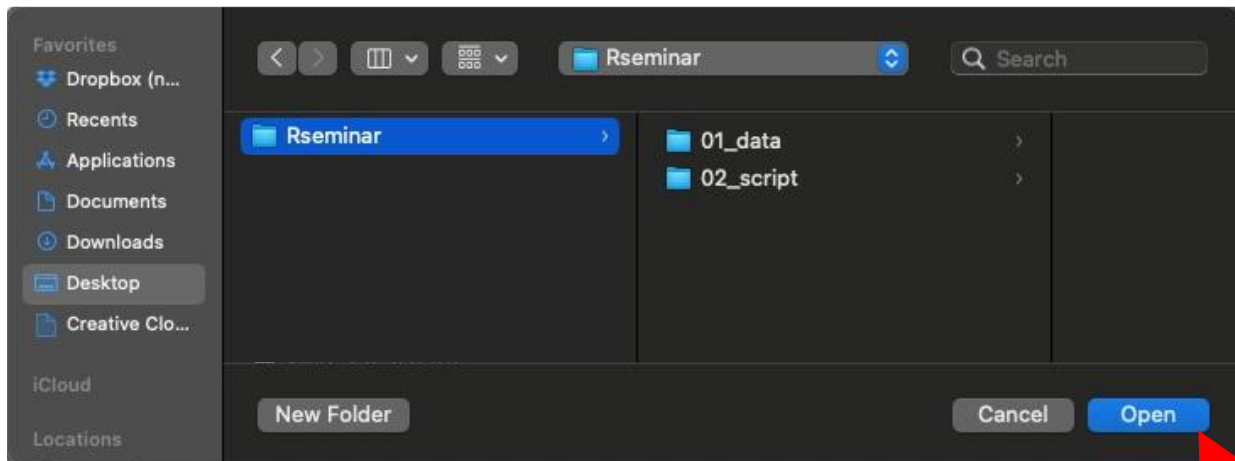
④ 「Existing Directory」をクリックする。



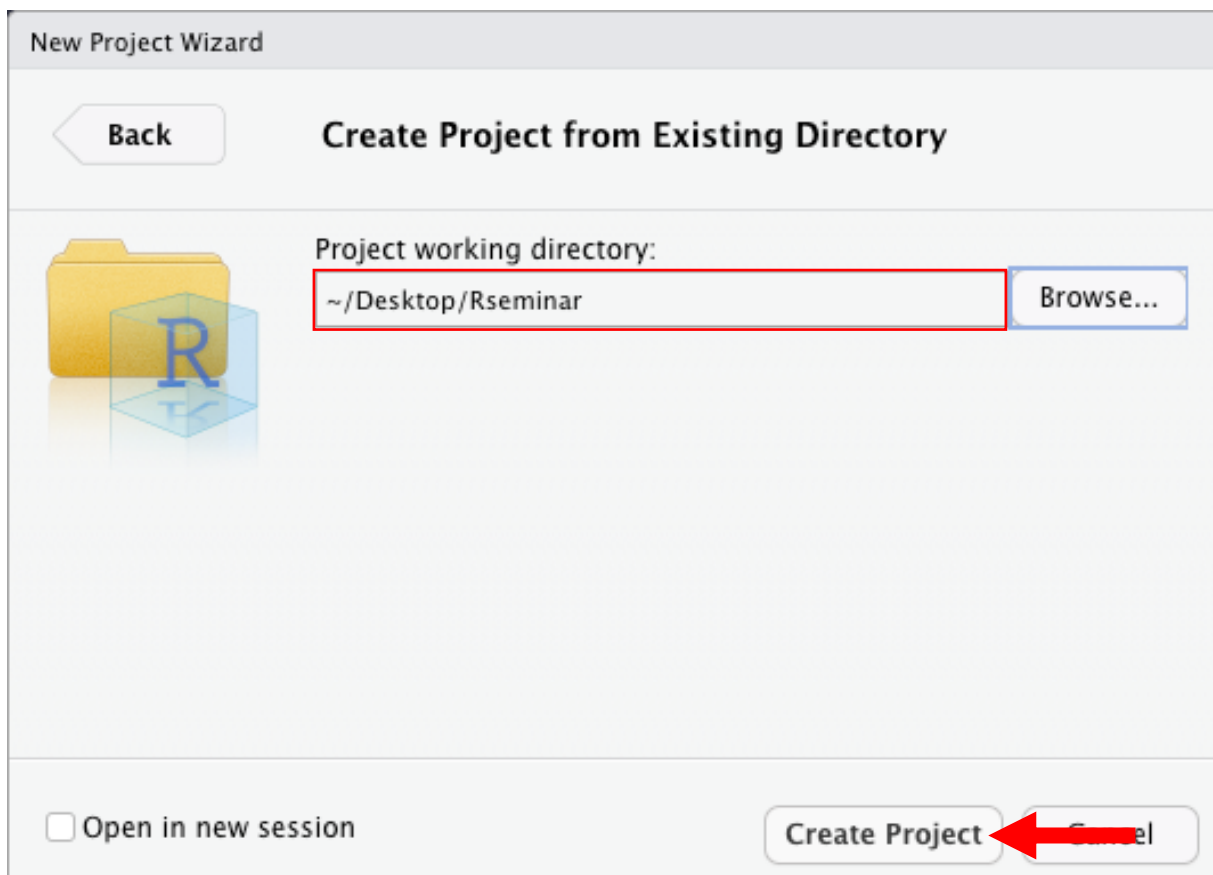
⑤ 「Browse...」をクリックする。



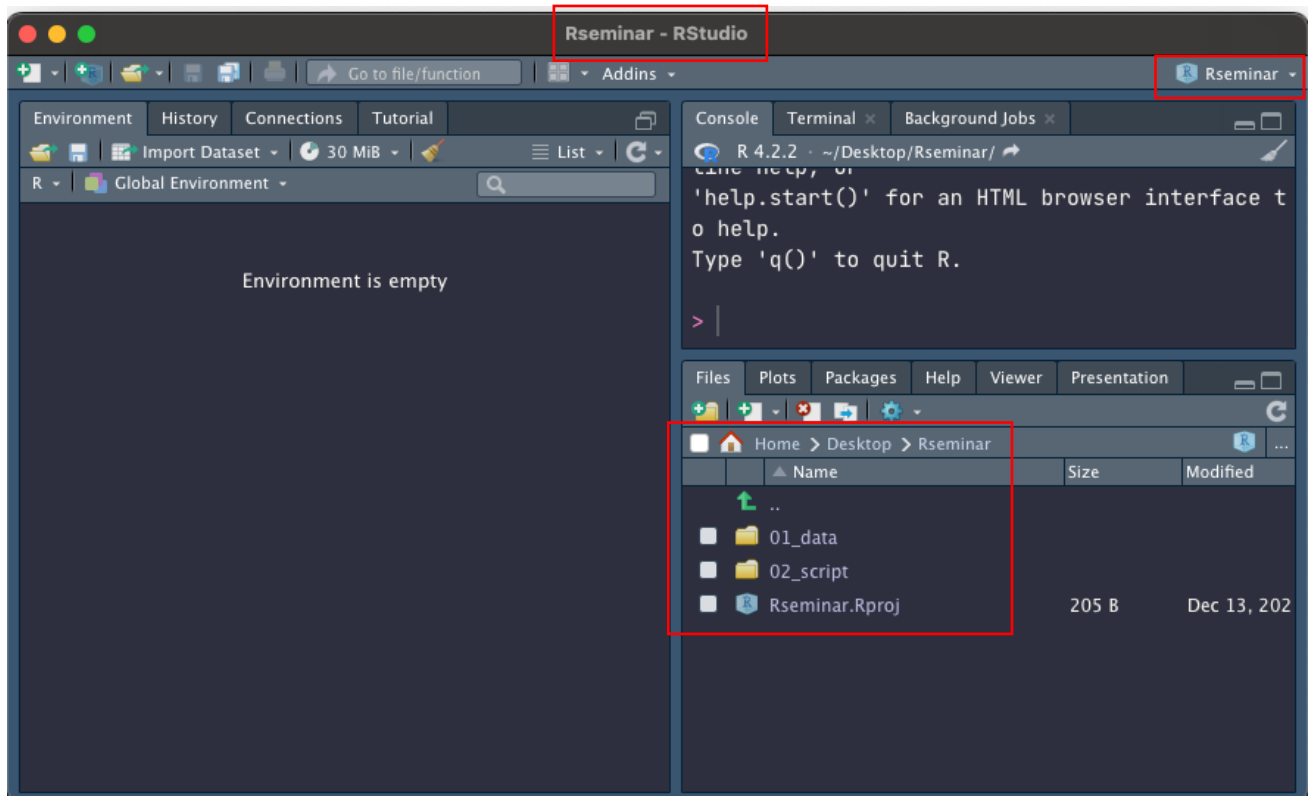
- ⑥ 「Rseminar」フォルダを選択し、「Open」をクリックする。



- ⑦ Project working directory: に①で作成した「Rseminar」フォルダが選択されていることを確認し、「Create Project」をクリックする。



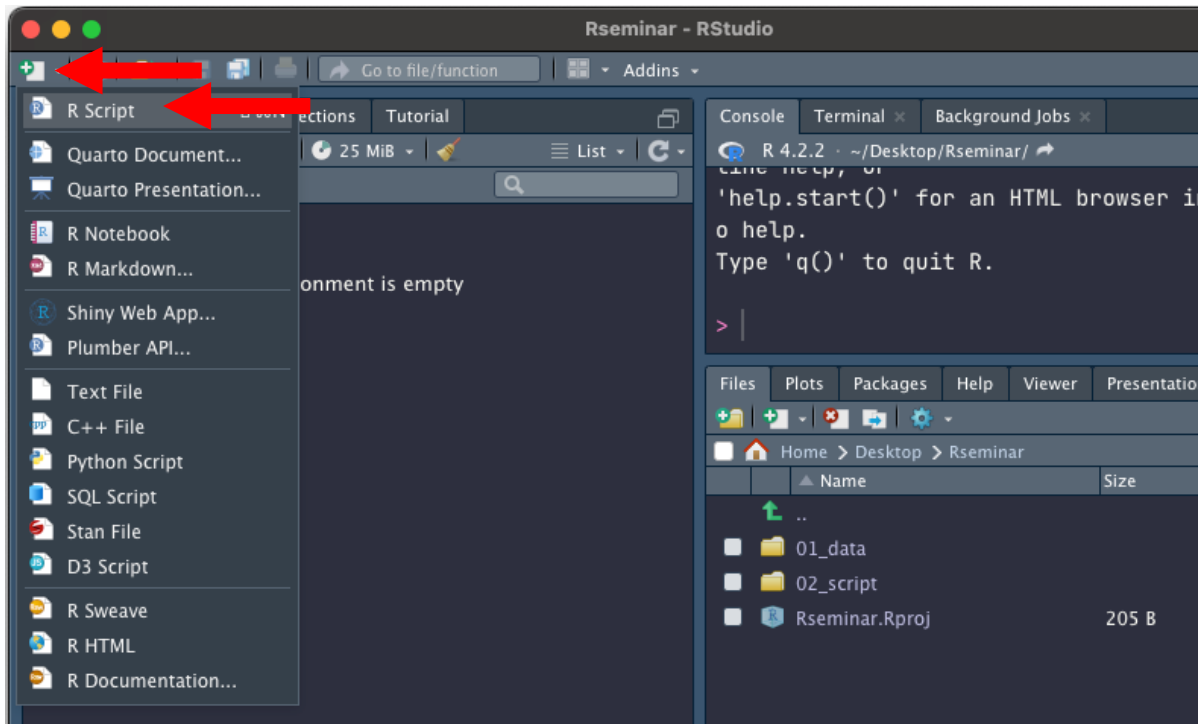
⑧ RStudio が「Rseminar」フォルダに紐付けられて開いていることを確認します。



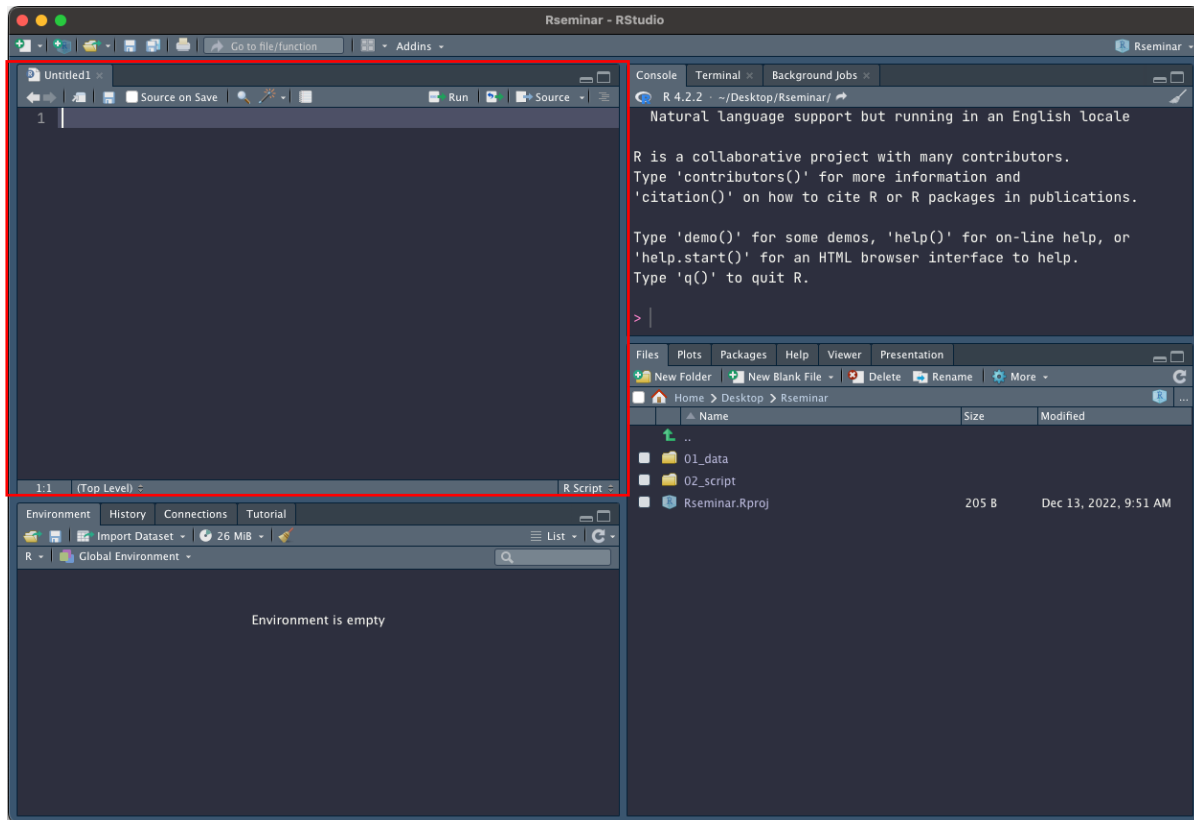
6. パッケージのインストール

本セミナーで利用するパッケージを予め準備しておきます。

① 「New File」をクリックし、「R Script」をクリックします。

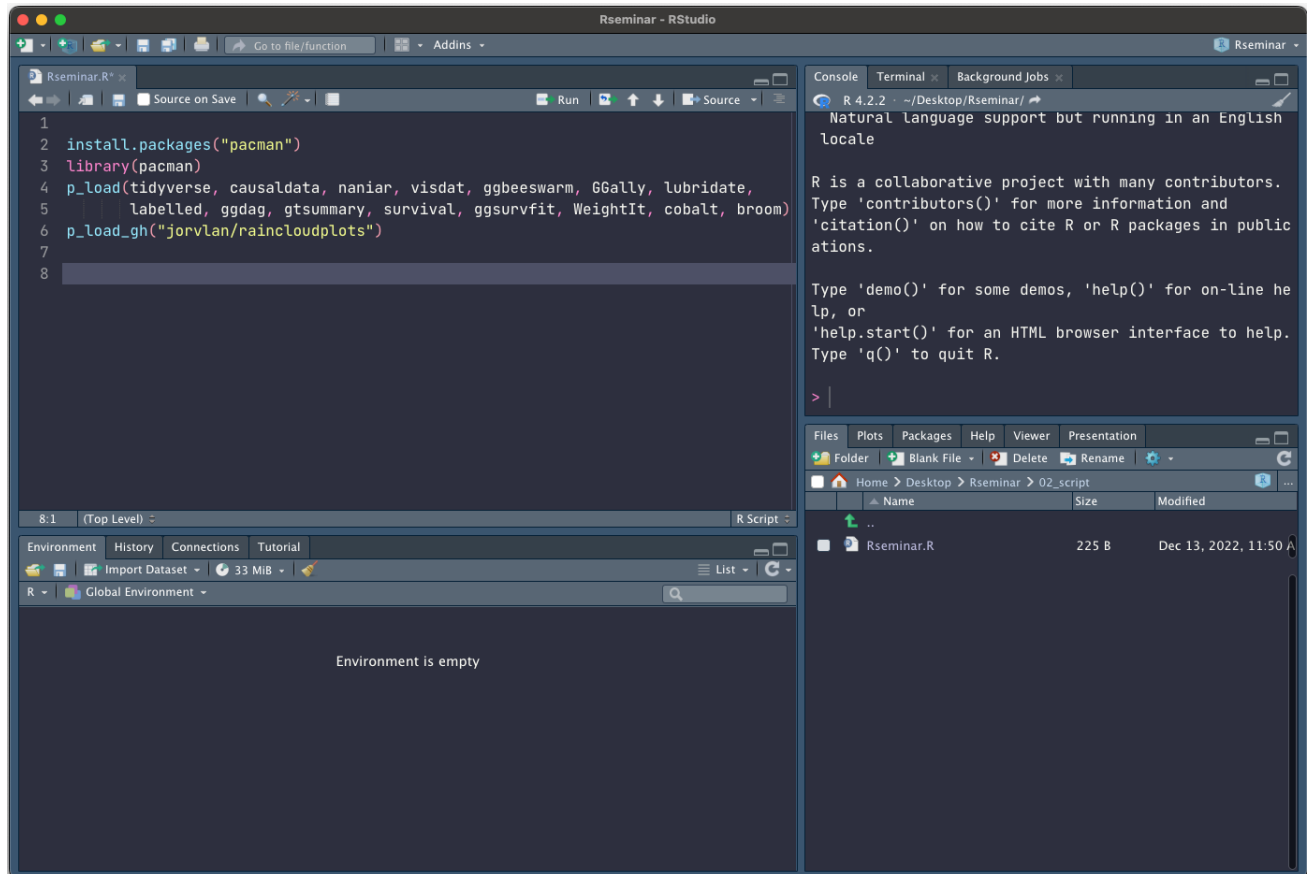


② Rscript が開きます。



③ Rscript に下記のコードを貼り付けてください。

```
install.packages("pacman")
library(pacman)
p_load(tidyverse, causaldata, naniar, visdat, ggbeeswarm, GGally, lubridate,
       labelled, ggdag, gtsummary, survival, ggsurvfit, WeightIt, cobalt, broom)
p_load_gh("jorvln/raincloudplots")
```

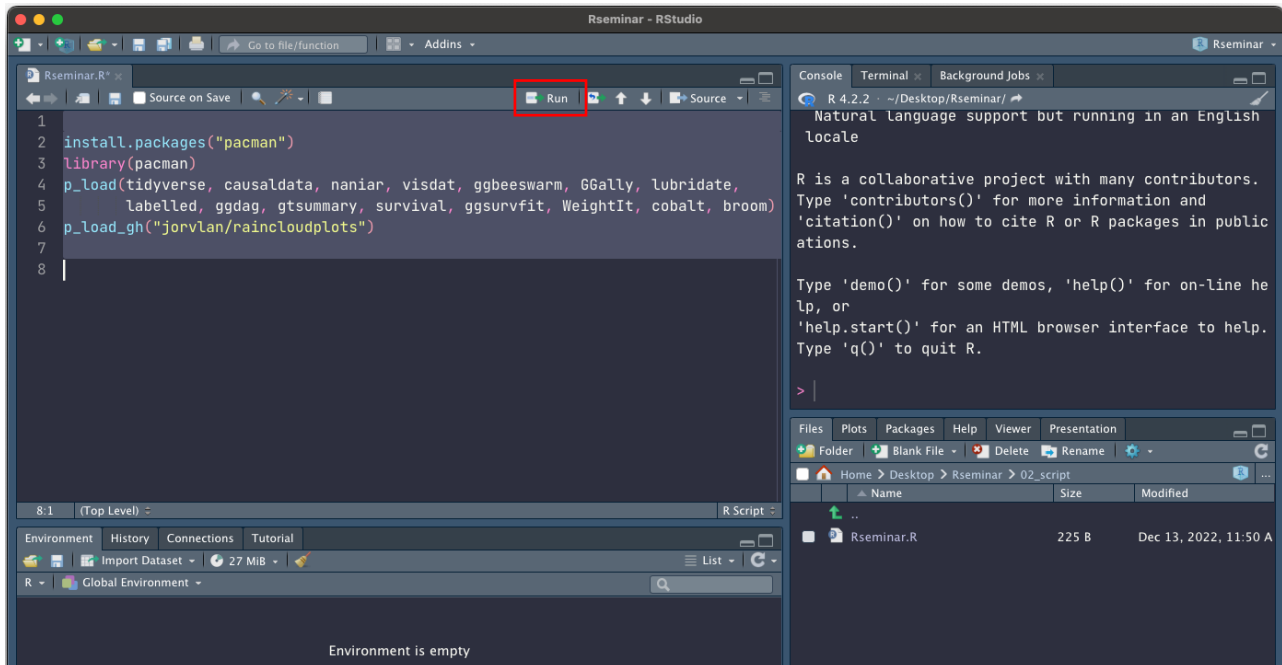
- ④ 1 から 5 行目を選択し、Run をクリックしてください。

この操作によりパッケージのインストールが始まります (Console に進捗が表示)。

補足) 上記の操作は下記の手順でも実行できます。

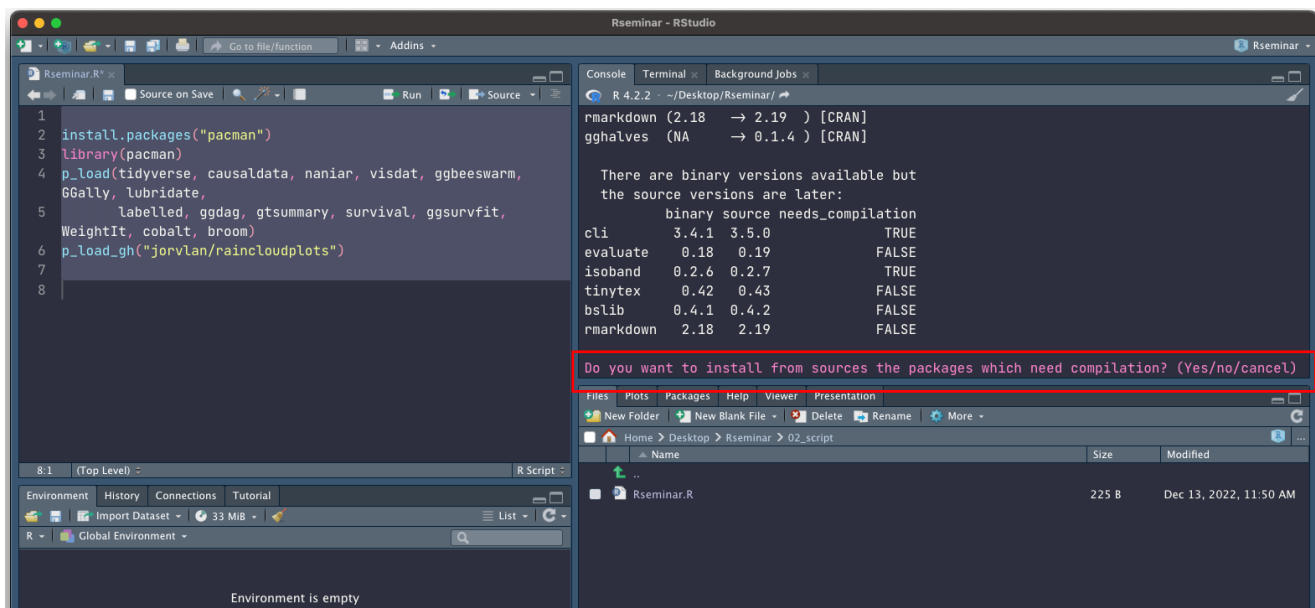
Rscript が選択されている状態で、「command + A キー」を押してください。

すべてのコードが選択されますので、その状態で「command + Enter キー」を押してください。



コードが実行され、右上の Console が動きます。

- ⑤ Console のパネルに下記のようなメッセージが出た場合は、Console に「Yes」と入力して「Enter キー」をクリックしてください。再び Console が動き出します。

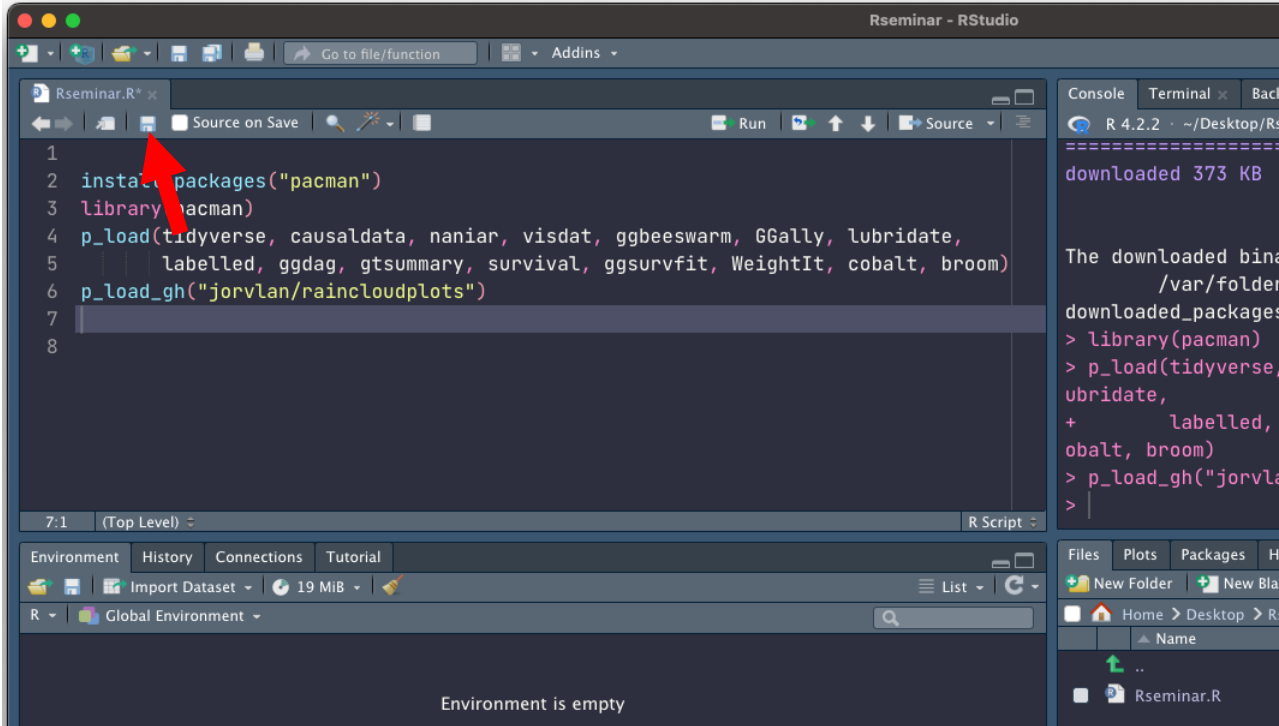


「Error」が出ずに Console の動作が終わりましたら完了です。

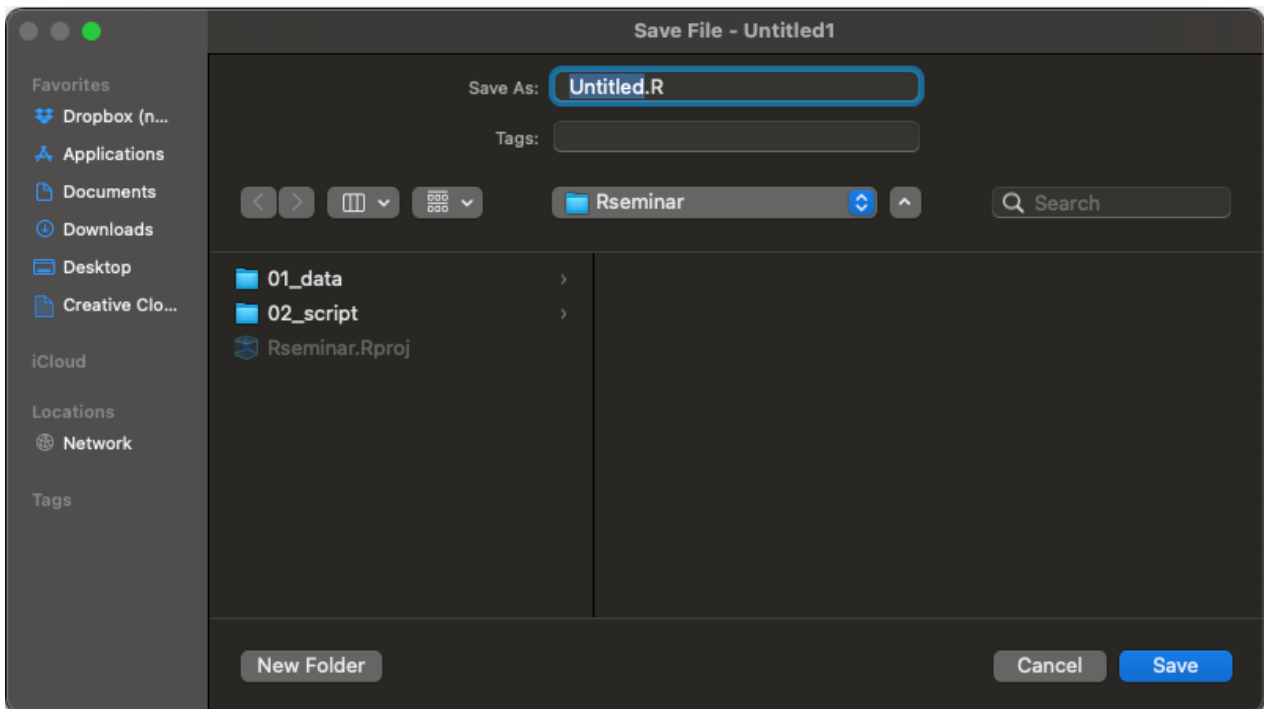
7. Rscript の保存

① フロッピーマークをクリックします。

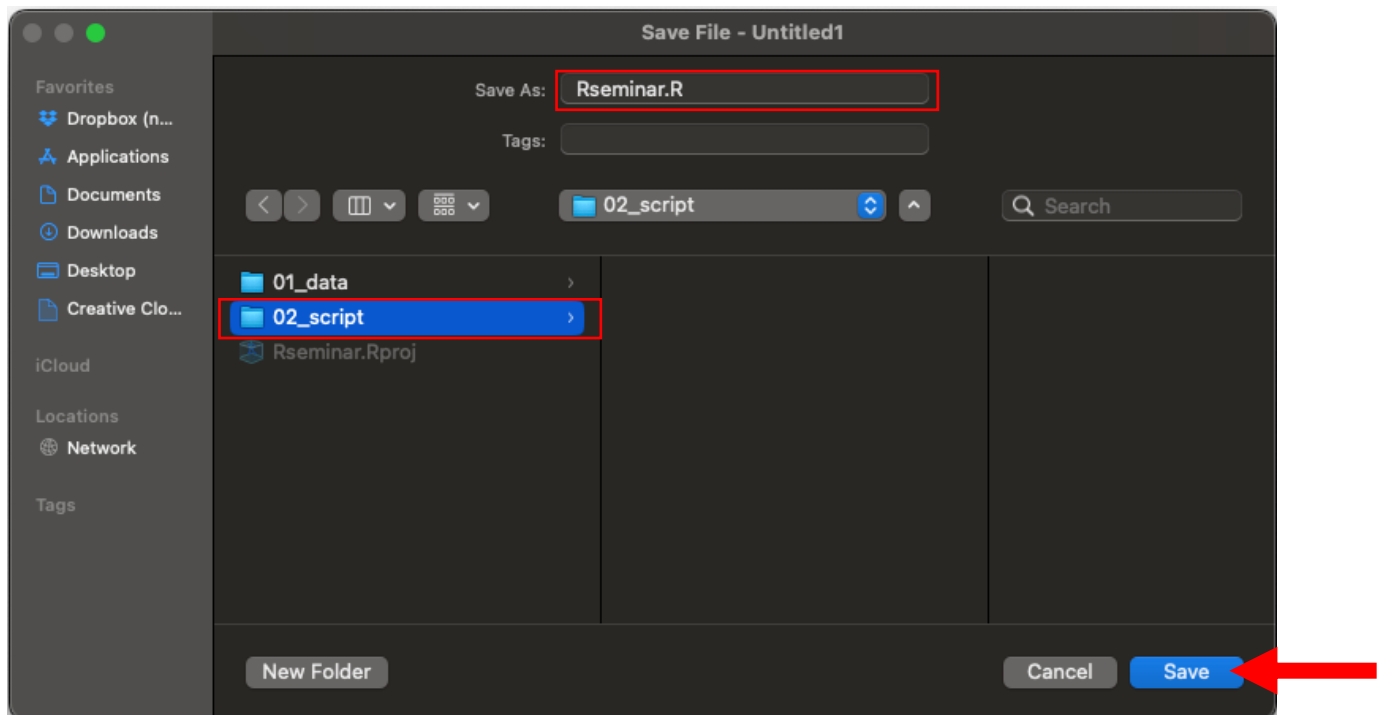
補足) Rscript が選択されている状態で、「command + S キー」を押すことでも可能です。



② 下記の画面が開きます。



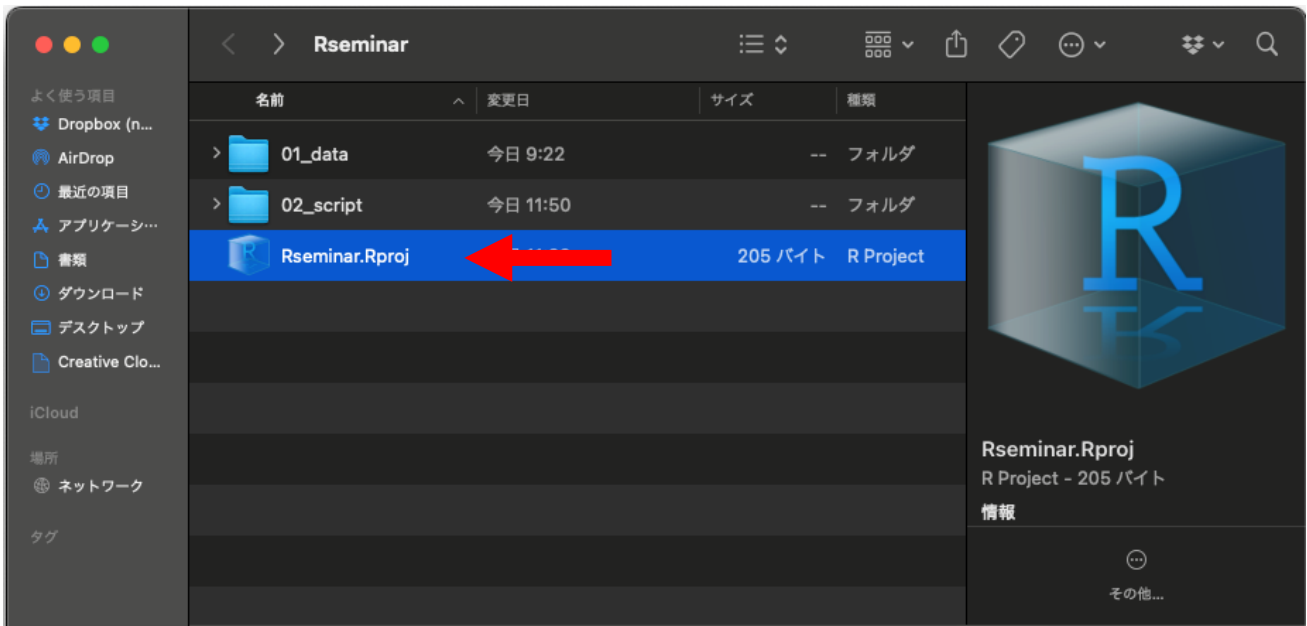
③ 「Rseminar」とファイル名をつけて、「02_script」フォルダに保存してください。



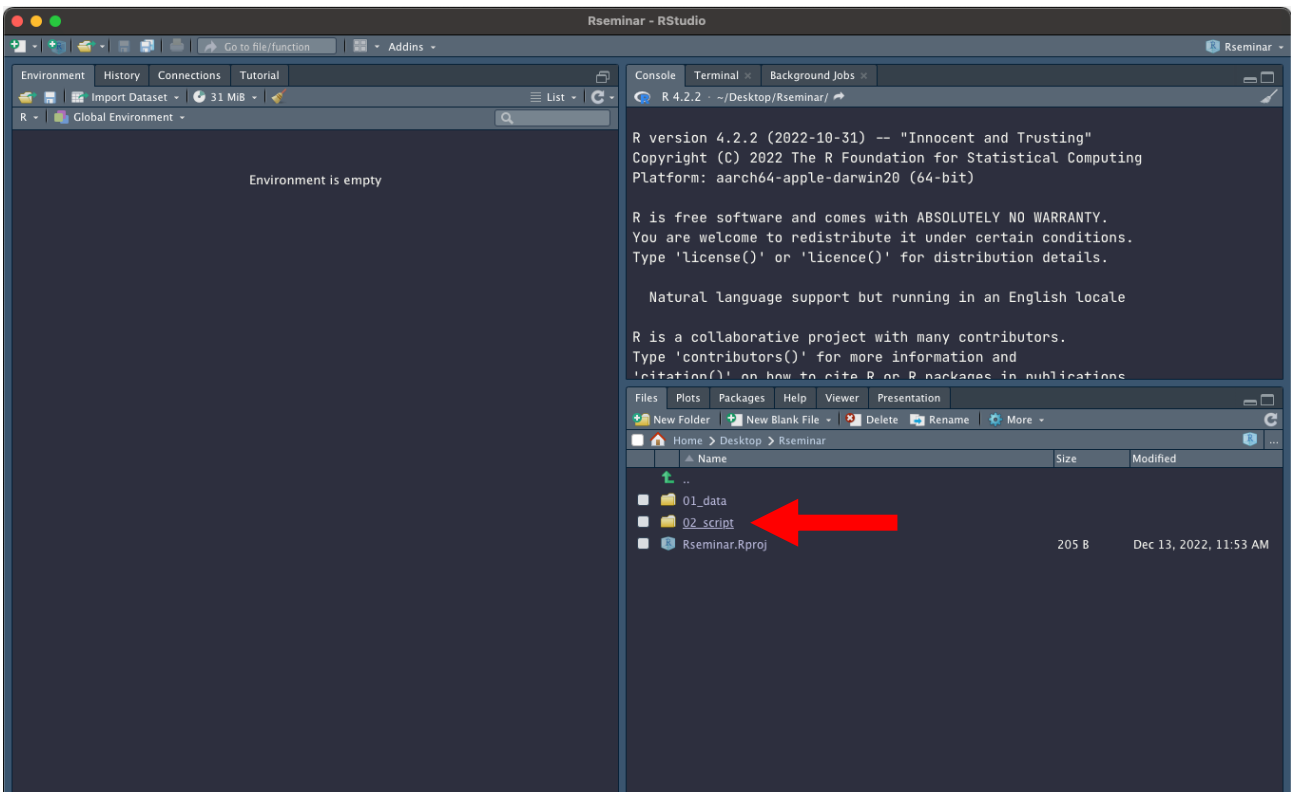
これで事前準備は完了です。お疲れ様でした！

8. R プロジェクトと Rscript の起動

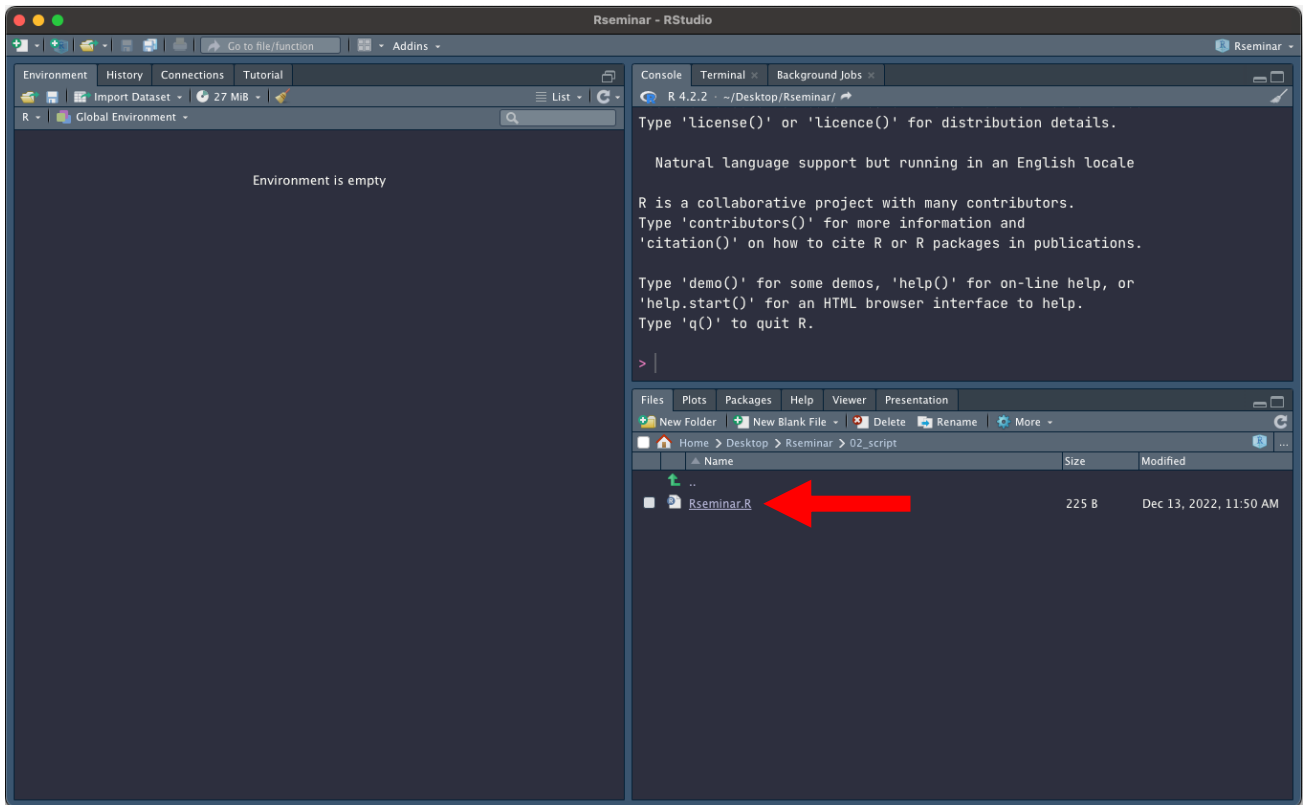
① Rseminar フォルダ内の「Rseminar.Rproj」をクリックします。



② 「02_script」フォルダをクリックします。



③ 「Rseminar.R」ファイルをクリックします。



④ 前項で保存したファイルが開きます。

